

<資料編>

4. 平成22年水質調査結果

4.1 近畿地方一級河川の水質調査地点

近畿地方整備局管内においては、近畿地方の一級水系河川の直轄管理区間延長約800kmに対し、水質調査を168地点で実施（一部地点は指定区間にて実施）している。

平成22年に水質調査を行った地点の内訳は、河川類型指定 102地点（河川97地点、ダム湖5地点）、湖沼類型指定 51地点（うち11地点は滋賀県調査）、類型未指定 15地点（河川11地点、ダム湖4地点）となっている。類型別及び水系別の水質調査地点数を表-4.1及び4.2に示す。

表 - 4.1 類型別水質調査地点数

	河川 類型指定	湖沼 類型指定	類型 未指定	計
河川	97	0	11	108
ダム	5	4	4	13
湖沼	0	47	0	47
計	102	51	15	168

表 - 4.2 水系別調査地点数

水系名	新宮川 <small>しんぐうがわ</small>	紀の川 <small>きのがわ</small>	大和川 <small>やまとがわ</small>	淀川 <small>よどがわ</small>	加古川 <small>かこがわ</small>	揖保川 <small>いほがわ</small>	九頭竜川 <small>くすりゅうがわ</small>	北川 <small>きたがわ</small>	由良川 <small>ゆらがわ</small>	円山川 <small>まるやまがわ</small>	合計
調査地点数	5	11	14	102	7	7	8	3	6	5	168

水質調査地点数についての経年変化を見てみると、昭和42年には39地点であったものが、翌年に43地点、3年後の昭和45年には46地点となりその後も増加し、平成13年には167地点となった。平成17年には大滝ダム湖ダムサイト（紀の川水系紀の川：河川A A類型）、古川橋（加古川水系東条川：類型未指定）、西脇橋（加古川水系万願寺川：類型未指定）の3箇所が増え、井原橋（加古川水系加古川：河川A類型）、船町（加古川水系加古川：河川B類型）の2箇所が減り、168地点にて水質調査を行っている。

また、水質の常時監視、水質事故対策、異常濁水等緊急時に対処することを目的として、昭和46年より水質自動監視装置による水質監視を行っており、現在、管内9水系30箇所に設置している。測定項目は、水温・pH・導電率・DO（溶存酸素）・濁度を全箇所で測定し、アンモニア・シアン・COD・クロロフィルa等、その他必要に応じて測定を行っている。また、30箇所のうち29箇所についてはテレメータ化しており、平成13年6月よりインターネット（<http://www.river.go.jp>）及び携帯サイト（<http://i.river.go.jp>）によりリアルタイムに速報値の情報を提供している。

4.2 生活環境の保全に関する環境基準の満足状況

類型指定区間内において河川指定102地点と湖沼指定12地点（琵琶湖については47地点のうち8地点で代表）の114地点に対するBOD75%値（またはCOD75%値）の満足状況は以下のとおり。

図-4.1に河川、図-4.2に湖沼の類型指定地点における類型別環境基準の満足状況を示す。

類型別に見ると、河川については、D類型の1地点を除いて、全ての地点で環境基準を満足した。AA類型では平成21年と同様、全3地点が環境基準を満足した。A類型は平成21年の55地点から2地点増えて全57地点が環境基準値を満足した（96%→100%、4ポイント増加）。B類型は平成21年の25地点から1地点増えて全26地点が環境基準値を満足した（96%→100%、4ポイント増加）。C類型は平成21年の12地点から1地点増えて全13地点が環境基準値を満足した（92%→100%、8ポイント増加）。D類型は環境基準を満足した地点数が平成21年と同様、2地点のうち1地点（50%）であった。E類型は平成21年と同様、環境基準を満足した。

河川全体では、平成22年に環境基準を満足した調査地点数の割合は、平成21年と比較して97地点から4地点増え101地点となった。（95%→99%、4ポイント増加）

湖沼については、AA類型の8地点とA類型の4地点のうち、A類型の1地点で環境基準を満足した。湖沼全体における環境基準を満足した調査地点数の割合は、平成21年と同様8%であった。

図-4.3に河川、図-4.4に湖沼の類型指定地点における水系別環境基準の満足状況を示す。

河川について水系別に見ると、紀の川、揖保川、九頭竜川、北川、由良川、円山川の6水系では昨年と同様、全調査地点において環境基準を満足した。新宮川水系（4地点）では平成21年の3地点から1地点増え、全地点において環境基準を満足した（25ポイント増加）。大和川水系（14地点）では平成21年の13地点から1地点増え、全地点において環境基準を満足した（7ポイント増加）。淀川水系（42地点）では平成21年の40地点から1地点増え、41地点において環境基準を満足した（3ポイント増加）。加古川水系（5地点）では平成21年の4地点から1地点増え、全地点において環境基準を満足した（20ポイント増加）。

湖沼について水系別で見ると、平成21年と同様であり、新宮川水系の1地点が環境基準を満足し、淀川水系の11地点では全ての地点で環境基準を満足していない。

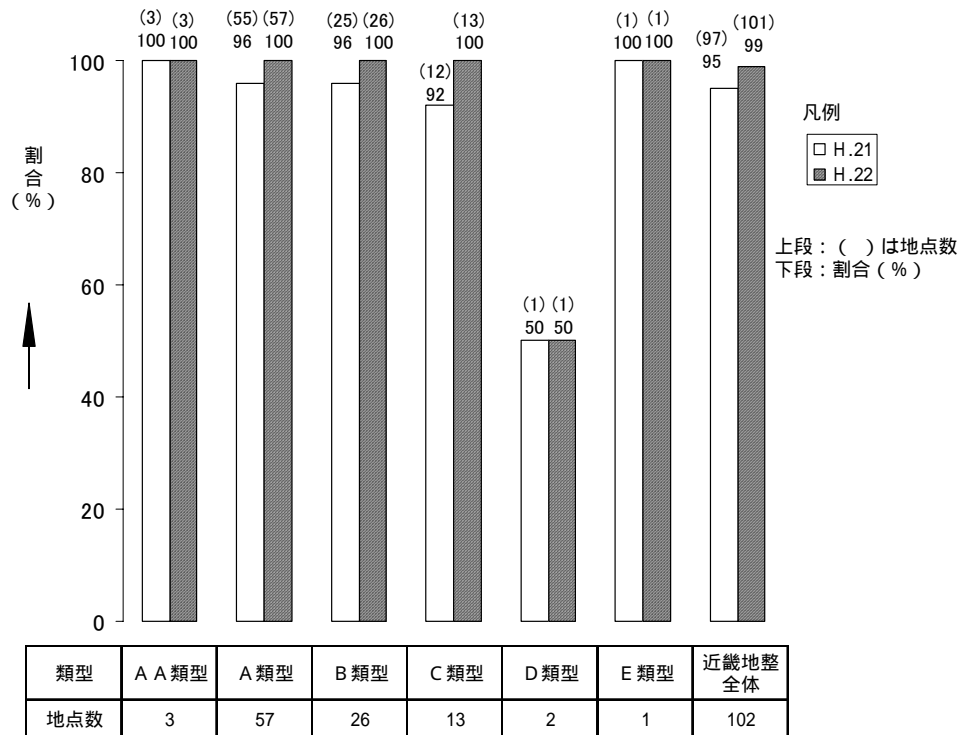


図 - 4.1 河川類型指定地点における類型別環境基準の満足状況 (H.21, H.22年) (BOD75%値)

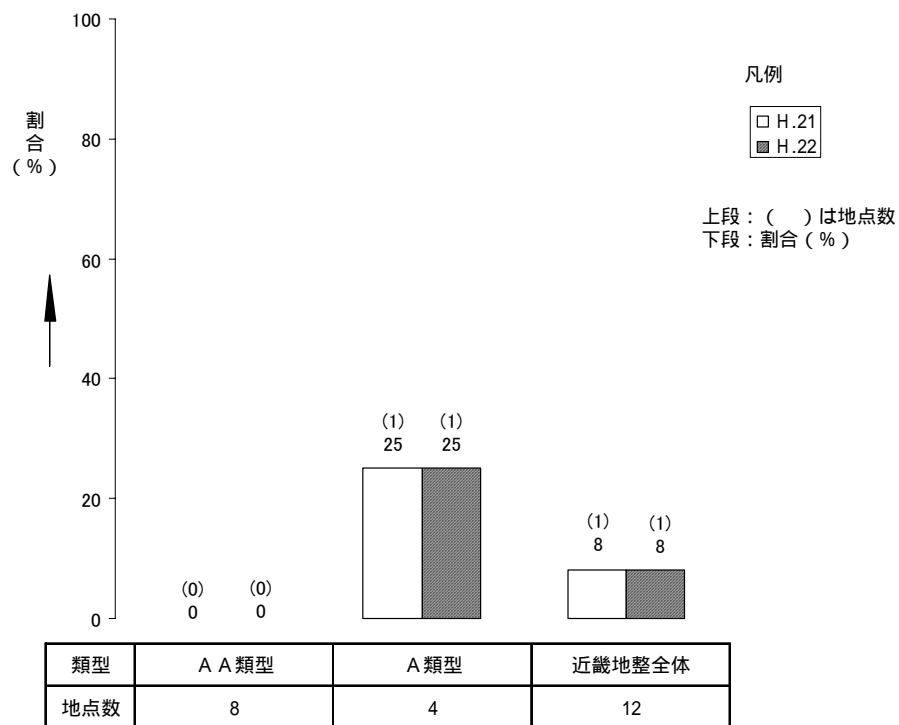


図 - 4.2 湖沼類型指定地点における類型別環境基準の満足状況 (H.21, H.22年) (COD75%値)

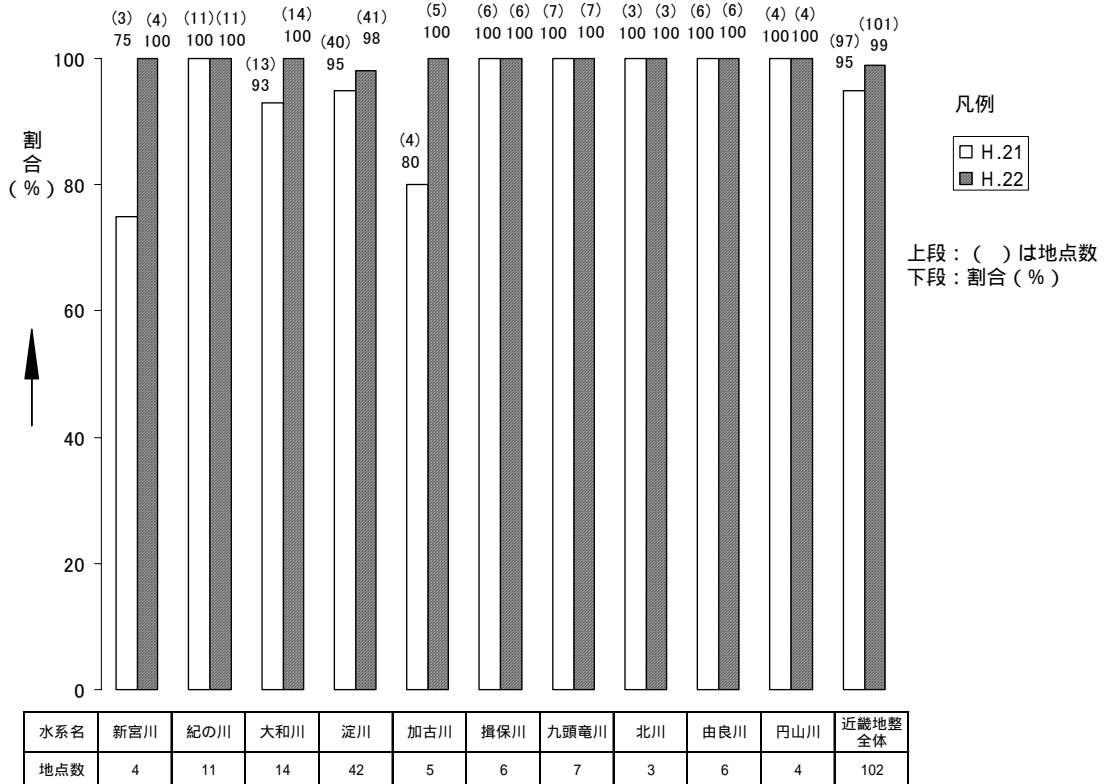


図 - 4.3 河川類型指定地点における水系別環境基準の満足状況 (H.21, H.22年) (BOD75%値)

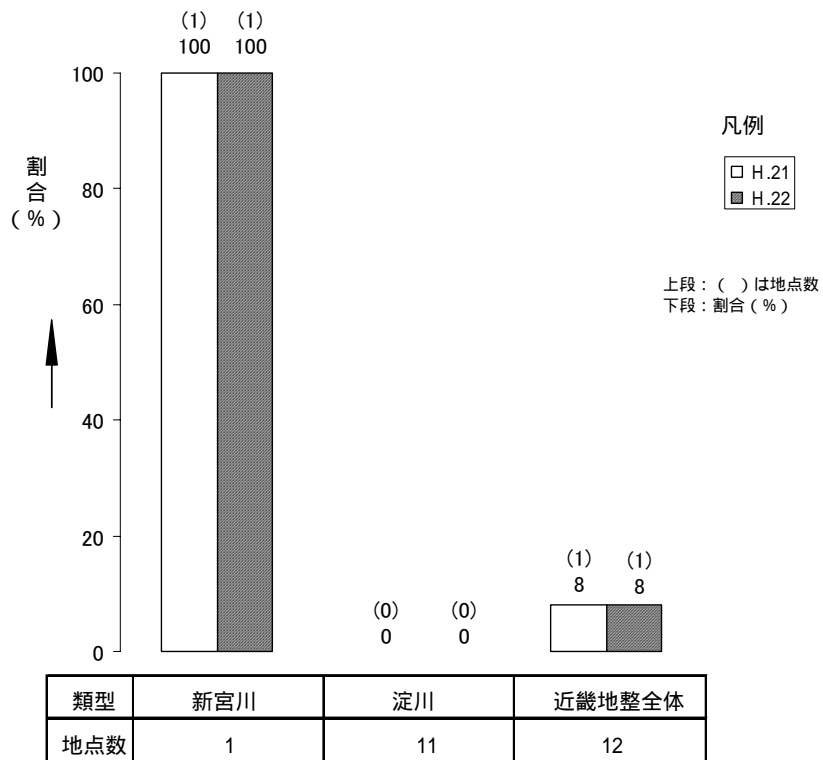


図 - 4.4 湖沼類型指定地点における水系別環境基準の満足状況 (H.21, H.22年) (COD75%値)

4.3 BOD75%値のランク別割合

平成22年の河川（ダム湖を除く）108調査地点におけるBOD75%値のランク別割合を図-4.5に示す。水道用水として利用でき、またサケやアユが生息できる良好な水準（BOD75%値が3.0mg/l以下）の水質を満足している地点の割合は全調査地点の88.9%であり、平成21年と比べて同値であった。

なお、水利用に望ましくないとされる水質（BOD75%値が8.1mg/l以上）の地点の割合は平成21年と同じく0.9%であった。

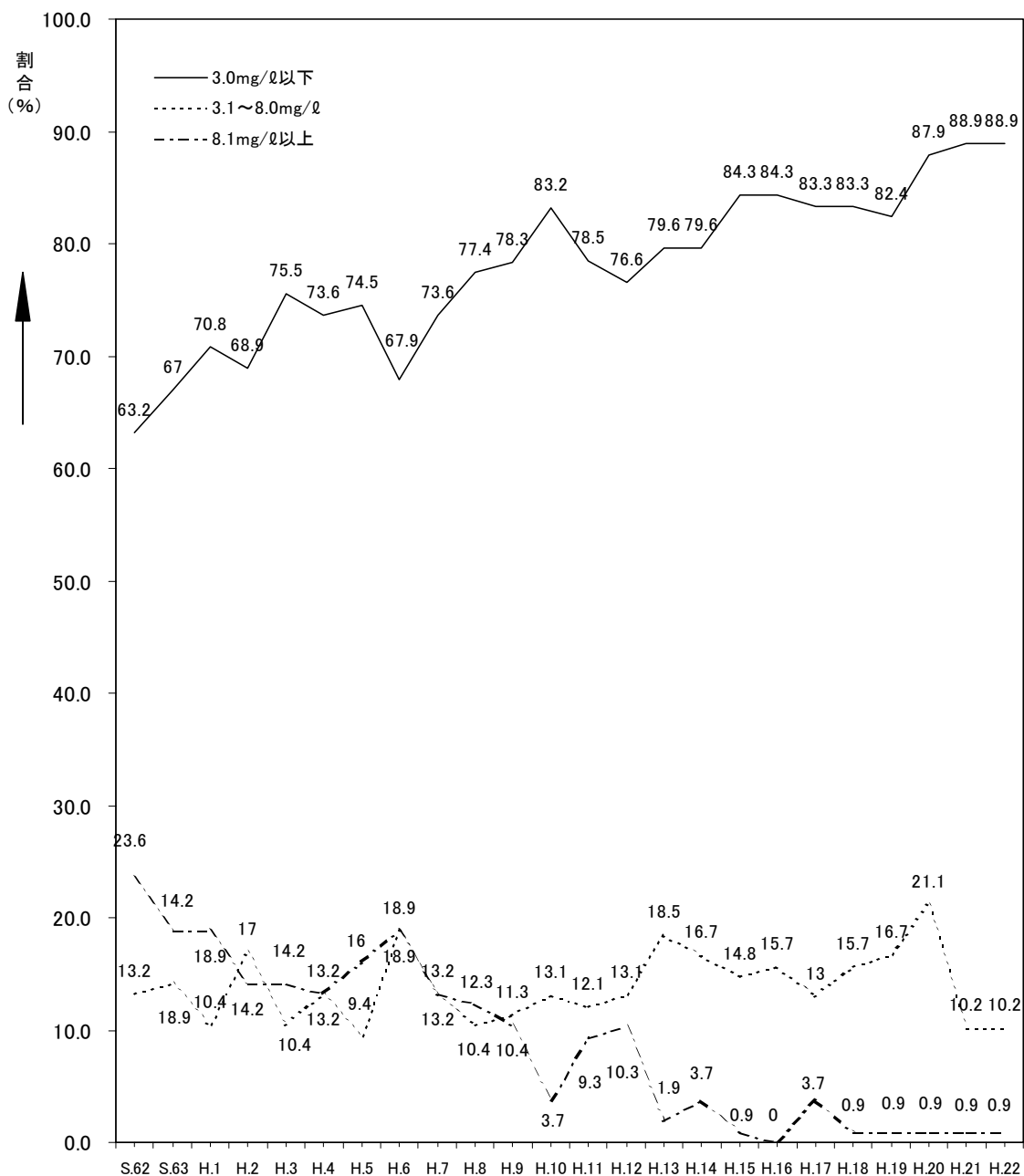


図 - 4.5 BOD75%値ランク別割合経年変化（108地点）

河川（ダム湖を除く）108地点におけるBOD75%値のランク別割合のH21年、H22年比較を

図-4.6に示す。

平成22年における8.1mg/l以上の地点は、平成21年と同じくの淀川水系猪名川利倉地点の1地点のみであった。

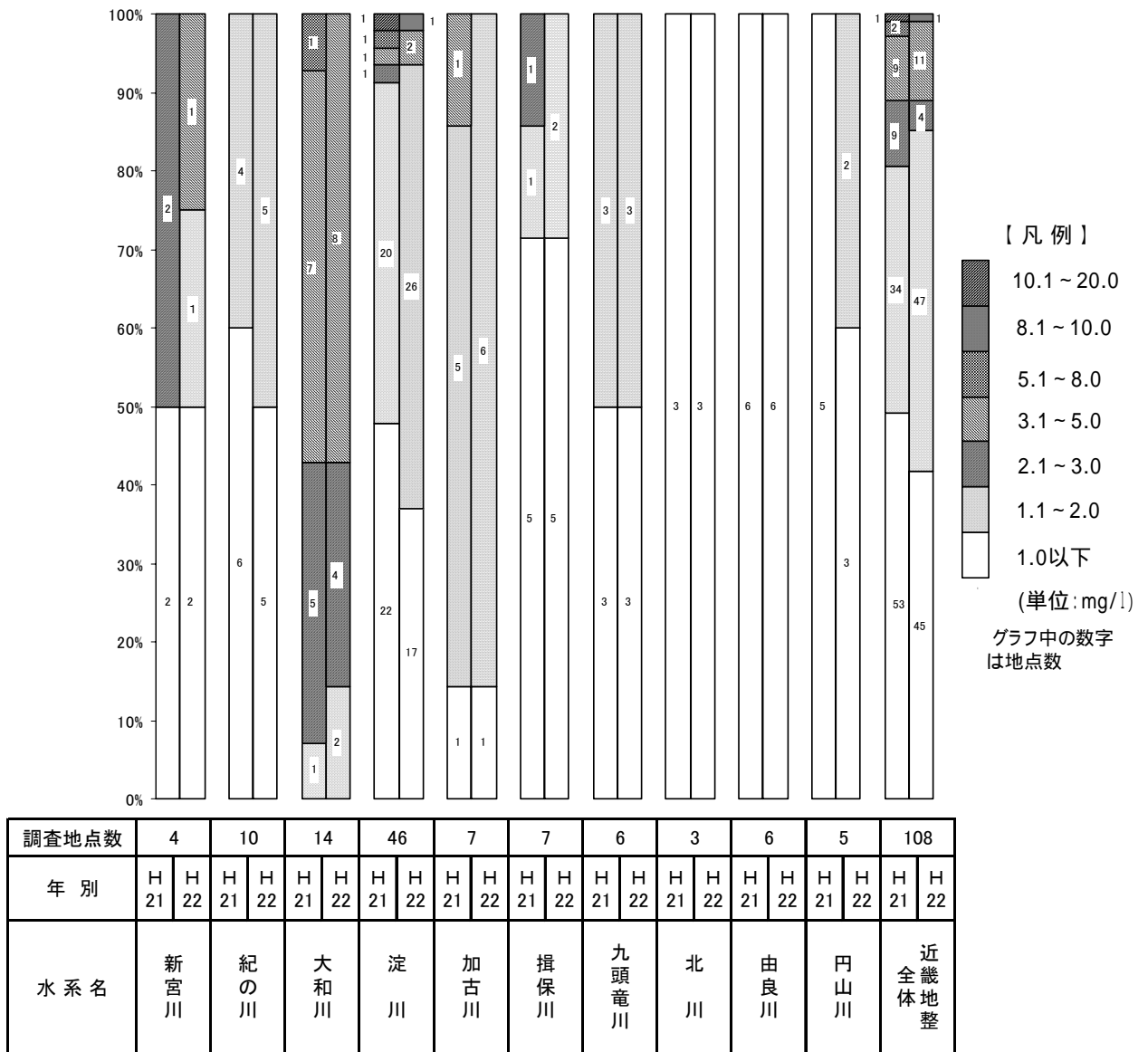
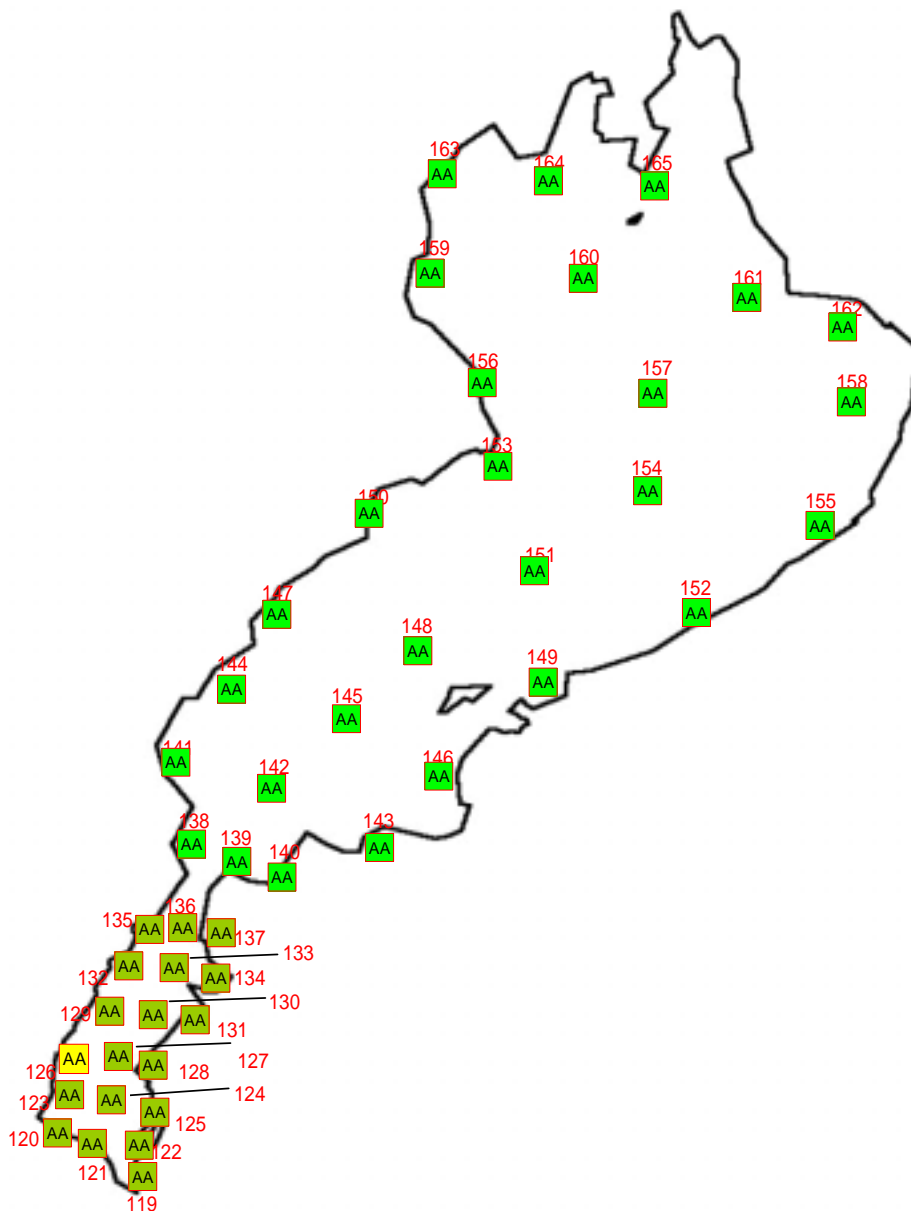


図 - 4.6 水系別BOD75%値のランク別割合 (H.21, H.22年) (108地点)



色	ランク(COD)
青	1.0以下(mg/L)
緑	1.1～3.0
黄緑	3.1～5.0
黄	5.1～8.0
オレンジ	8.1以上

類型	湖沼(COD)
AA	1mg/L以下
A	3mg/L以下
B	5mg/L以下
C	8mg/L以下
-	類型未指定

1. □は湖沼水質(COD75%値)
2. □内の記号は、環境基準の類型である。
3. □(赤囲い)は、環境基準値を満足していない地点である。
4. 数字: 表-4.9～4.10に示す調査地点

図 - 4.8 琵琶湖における水質状況(COD75%値)

河川毎のBOD年平均値での汚濁状況を、数値の高い順にまとめ表-4.3に示す。平成22年については、猪名川、大和川に次いで加古川の順となっている。

表 - 4.3 平成22年一級河川のBOD年平均値

上段 : 平成22年
下段 () : 平成21年 単位:mg/l

順位		河川名	調査地点		BOD年平均値	BOD年平均値の範囲	各地点のBOD年平均値
平成21年	平成22年		地点数	府県名			
2	1	※猪名川	3	大阪・兵庫	3.3 (3.1)	0.8~8.1	呉服橋 0.8 軍行橋 0.9 利倉 8.1
1	2	大和川	8	奈良・大阪	2.8 (3.2)	1.8~4.0	上吐田 3.0 太子橋 4.0 御幸大橋 2.9 藤井 3.1 国豊橋 2.7 河内橋 2.1 浅香新取水口 1.8 遠里小野橋 2.4
3	3	加古川	4	兵庫	1.4 (1.7)	1.2~1.5	大住橋 1.2 国包 1.5 池尻 1.4 相生橋 1.4
6	4	※日野川	2	福井	1.2 (1.2)	1.0~1.4	深谷 1.0 日光橋 1.4
7	5	※木津川	8	三重・京都	1.2 (1.0)	0.9~1.4	大野木橋 1.0 長田橋 1.2 岩倉橋 1.2 島ヶ原大橋 1.4 笹瀬橋 1.4 加茂恭仁大橋 0.9 玉水橋 1.0 木津川御幸橋 1.1
8	6	紀の川	9	奈良・和歌山	1.2 (1.0)	0.7~2.5	大川橋 0.7 御蔵橋 0.8 恋野橋 0.9 岸上橋 0.8 三谷橋 0.8 藤崎井堰 1.3 船戸 1.3 新六ヶ井堰 2.0 紀の川大橋 2.5
5	7	淀川	10	滋賀・京都・大阪	1.1 (1.2)	0.9~1.9	洗堰下 1.0 宇治橋 0.9 隠元橋 0.9 観月橋 0.9 宇治川大橋 0.9 宇治川御幸橋 1.1 枚方大橋 1.0 鳥飼大橋 1.0 柴島 1.0 伝法大橋 1.9
8	8	※桂川	5	京都	1.1 (1.0)	0.8~1.5	渡月橋 0.8 西大橋 1.0 久世橋 1.0 羽束師橋 1.5 宮前橋 1.2
4	9	熊野川	2	和歌山	1.1 (1.5)	0.6~1.6	熊野大橋 0.6 熊野川河口 1.6
16	10	円山川	4	兵庫	1.0 (0.6)	0.6~1.4	府市場 0.6 立野 0.8 結和橋 1.4 港大橋 1.2
8	11	※名張川	4	三重・京都	1.0 (1.0)	0.8~1.2	新夏見橋 0.8 名張 1.0 家野橋 1.1 高山ダム下流 1.2
8	12	※宇陀川	4	三重・奈良	0.9 (1.0)	0.8~1.0	高倉橋 1.0 辻堂橋 0.9 安部田 0.8 室生路橋 0.9
13	12	九頭竜川	4	福井	0.9 (0.8)	0.6~1.0	中角 0.6 布施田 0.9 高屋橋 1.0 九頭竜川河口 1.0
14	14	※野洲川	2	滋賀	0.7 (0.7)	0.6~0.7	石部 0.7 服部 0.6
15	14	由良川	5	京都	0.7 (0.6)	0.6~0.9	以久田橋 0.6 音無瀬橋 0.8 管巻橋 0.9 波美橋 0.7 由良川橋 0.7
12	16	揖保川	6	兵庫	0.7 (0.8)	0.6~1.2	曲里 0.6 山崎 0.6 髯崎 0.7 龍野 0.6 上川原 0.7 本町橋 1.2
16	17	北川	3	福井	0.6 (0.6)	0.5~0.6	上中橋 0.6 高塚 0.5 西津橋 0.6

備考：※印は主要支川（直轄管理区間延長が概ね10km以上、かつ水質調査地点が2地点以上ある河川）

順位はBOD年平均値の大きい順。BOD年平均値が同じ場合、BOD75値により評価。BOD75値も同じ場合は同順位。

表 - 4.4 一級河川の主要地点水質状況

注：◎印は環境基準地点
 地点番号は図-4.7に示す。
 地点名のアンダーラインは滋賀県調査

地点番号	河川名	地点名	類型 指定	BOD (mg/ℓ)					
				平均値		75%値		最大値	
				H.21	H.22	H.21	H.22	H.21	H.22
新 宮 川 (水系)									
1	川原樋川	◎川原樋川取水口	AA	0.6	0.7	0.7	0.7	1.0	1.4
2	熊野川	◎熊野大橋	A	0.5	0.6	0.5	0.7	0.5	0.8
3	市田川	◎市田川河口	E	2.3	3.2	2.8	3.7	4.4	6.0
4	熊野川	熊野川河口	A	2.5	1.6	2.7	1.5	3.0	3.6
紀 の 川 (水系)									
5	紀の川	◎大川橋	A	0.7	0.7	0.8	0.8	0.9	1.2
6	〃	御蔵橋	A	0.8	0.8	0.9	0.9	1.3	1.2
7	〃	◎恋野橋	A	0.8	0.9	0.9	0.9	1.1	2.1
8	〃	岸上橋	A	1.1	0.8	0.9	0.9	2.1	1.4
9	〃	三谷橋	A	0.7	0.8	0.8	0.9	0.8	1.3
10	〃	◎藤崎井堰	A	0.9	1.3	0.9	1.7	1.7	2.4
11	貴志川	高島橋	A	1.2	1.1	1.3	1.2	1.7	1.3
12	紀の川	◎船戸	A	1.0	1.3	1.1	1.2	1.5	2.9
13	〃	新六ヶ井堰	A	1.4	2.0	1.6	1.5	1.7	4.7
14	〃	紀の川大橋	A	1.2	2.5	1.1	1.1	1.8	7.8
15	〃	大滝ダム湖ダムサイト	AA	0.8	0.8	0.9	0.8	1.8	2.4
大 和 川 (水系)									
16	佐保川	井筒橋	C	3.2	3.4	3.3	3.8	3.8	4.0
17	初瀬川	上吐田	C	3.6	3.0	4.2	3.6	4.6	4.6
18	大和川	太子橋	C	4.4	4.0	4.6	4.4	8.3	5.0
19	曾我川	◎小柳橋	C	3.0	2.4	2.8	2.8	9.0	5.7
20	〃	保橋	C	3.9	2.9	5.6	3.2	7.0	3.4

表 - 4.5 一級河川の主要地点水質状況

地点 番号	河 川 名	地 点 名	類 型 指 定	BOD (mg/ℓ)					
				平 均 値		7 5 % 値		最 大 値	
				H. 21	H. 22	H. 21	H. 22	H. 21	H. 22
21	大 和 川	御 幸 大 橋	C	3.6	2.9	3.9	3.0	7.7	5.3
22	〃	◎藤 井	C	3.6	3.1	3.4	3.4	7.9	5.8
23	〃	国 豊 橋	C	3.0	2.7	3.0	3.1	5.4	5.8
24	石 川	◎石 川 橋	B	1.4	1.1	1.7	1.2	2.3	1.7
25	大 和 川	◎河 内 橋	C	2.5	2.1	2.7	2.0	4.3	3.8
26	〃	◎浅香新取水口	C	2.3	1.8	2.7	2.1	4.2	3.0
27	〃	◎遠里小野橋	D	2.7	2.4	2.9	2.6	4.1	4.5
28	佐 保 川	◎額 田 部 高 橋	C	3.9	3.2	4.3	3.8	5.6	4.5
29	〃	郡 界 橋	C	3.5	2.7	4.0	3.4	4.3	3.5
淀 川 (水系)									
30	瀬 田 川	洗 堰 下	A	1.0	1.0	1.2	1.3	1.6	1.5
31	〃	◎唐 橋 流 心	A	0.9	0.8	1.1	0.9	1.4	1.5
32	野 洲 川	石 部	A	0.8	0.7	0.9	0.8	1.8	1.2
33	〃	◎服 部	A	0.6	0.6	0.7	0.7	0.9	1.0
34	宇 治 川	大 峰 橋 (天ヶ瀬ダム)	A	1.0	1.1	1.0	1.1	2.3	2.2
35	〃	宇 治 橋	A	1.0	0.9	1.1	0.8	1.3	1.4
36	〃	◎隠 元 橋	A	0.9	0.9	1.1	1.1	1.3	1.4
37	山 科 川	中 野 橋	未指定	4.7	4.5	5.1	4.2	5.8	6.9
38	宇 治 川	観 月 橋	B	0.9	0.9	0.9	0.9	1.3	1.2
39	東 高 瀬 川	三 栖 橋	未指定	1.1	1.3	1.2	1.5	1.4	1.6
40	宇 治 川	宇 治 川 大 橋	B	1.0	0.9	1.0	1.0	1.3	1.2
41	〃	◎宇 治 川 御 幸 橋	B	1.1	1.1	1.2	1.3	1.5	1.5
42	木 津 川	◎大 野 木 橋	A	0.8	1.0	0.9	1.1	1.1	1.3
43	〃	長 田 橋	A	1.0	1.2	1.0	1.4	1.6	1.5
44	服 部 川	◎伊 賀 上 野 橋	A	0.8	1.3	0.9	1.3	1.3	2.4
45	木 津 川	◎岩 倉 橋	A	1.0	1.2	1.1	1.5	1.4	1.6

表 - 4.6 一級河川の主要地点水質状況

地点番号	河川名	地点名	類型 指定	BOD (mg/ℓ)					
				平均値		75%値		最大値	
				H.21	H.22	H.21	H.22	H.21	H.22
46	木津川	◎島ヶ原大橋	A	1.1	1.4	1.4	1.6	1.6	2.4
47	〃	◎笹瀬橋	A	1.1	1.4	1.3	1.7	1.6	2.0
48	青蓮寺川	青蓮寺ダム湖	未指定	1.4	1.0	1.8	1.4	3.1	1.6
49	名張川	新夏見橋	A	0.9	0.8	0.8	0.8	1.3	1.2
50	宇陀川	安部田	未指定	0.9	0.8	0.9	1.0	1.0	1.2
51	名張川	名張	A	1.0	1.0	0.9	1.1	1.3	1.2
52	〃	◎家野橋	A	1.1	1.1	1.1	1.1	1.7	1.6
53	〃	比奈知ダム湖	A	1.5	1.2	2.2	1.3	2.8	2.2
54	〃	高山ダム湖	未指定	1.4	1.2	1.6	1.2	3.7	3.5
55	〃	高山ダム下流	未指定	0.9	1.2	1.1	1.2	1.1	1.8
56	宇陀川	◎高倉橋	A	1.1	1.0	1.2	1.0	1.9	2.0
57	〃	◎辻堂橋	A	0.9	0.9	1.0	1.0	1.5	1.2
58	〃	室生路橋	A	0.9	0.9	1.0	1.1	1.1	1.2
59	木津川	◎加茂恭仁大橋	A	0.9	0.9	1.0	1.0	1.3	1.3
60	〃	◎玉水橋	A	0.9	1.0	1.1	1.1	1.4	1.2
61	〃	◎木津川御幸橋	A	0.8	1.1	1.0	1.1	1.1	3.8
62	桂川	貯水池基準点 (日吉ダム)	A	1.5	0.8	1.4	1.0	5.2	1.5
63	〃	◎渡月橋	A	0.7	0.8	0.8	1.0	1.2	1.3
64	〃	◎西大橋	B	0.9	1.0	1.0	1.0	1.3	1.9
65	〃	久世橋	B	0.9	1.0	0.9	1.2	1.2	1.2
66	〃	羽束師橋	B	1.2	1.5	1.2	1.6	1.6	1.6
67	〃	◎宮前橋	B	1.1	1.2	1.2	1.4	1.8	2.0
68	淀川	◎枚方大橋	B	1.0	1.0	1.2	1.1	1.4	1.5
69	〃	◎鳥飼大橋	B	1.0	1.0	1.2	1.2	1.7	1.9
70	〃	◎柴島	B	1.2	1.0	1.5	1.1	2.4	1.6
71	〃	◎伝法大橋	C	2.8	1.9	3.8	3.2	6.2	3.8
72	芥川	◎鷺打橋	A	0.9	0.8	1.0	0.9	1.5	1.1
73	一庫大路次川	一庫ダム	未指定	1.6	1.7	2.2	1.9	3.8	4.8
74	猪名川	◎銀橋	A	0.9	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3
75	〃	呉服橋	A	0.7	0.8	0.8	0.9	1.0	1.0

表 - 4.7 一級河川の主要地点水質状況

地点番号	河川名	地点名	類型指定	BOD (mg/ℓ)					
				平均値		75%値		最大値	
				H.21	H.22	H.21	H.22	H.21	H.22
76	最明寺川	最明寺川流末	未指定	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.1
77	猪名川	◎軍行橋	A	0.8	0.9	0.9	1.0	1.2	1.3
78	内川	内川流末	未指定	2.0	2.1	2.7	1.7	3.0	4.4
79	駄六川	駄六川流末	未指定	1.1	1.1	1.2	1.2	1.5	1.2
80	猪名川	◎利倉	D	7.9	8.1	10.2	8.4	14.6	23.5
81	藻川	◎中園橋	B	1.3	1.4	1.5	1.6	2.6	2.6
加古川 (水系)									
82	加古川	◎板波	B	0.9	1.0	1.1	1.0	1.8	2.3
83	〃	大住橋	B	1.0	1.2	1.0	1.3	1.1	1.5
84	〃	国包	B	1.7	1.5	1.9	1.5	4.1	3.5
85	〃	◎池尻	B	1.5	1.4	1.7	1.5	3.5	2.2
86	〃	相生橋	B	2.6	1.4	3.3	1.4	3.4	2.1
87	東条川	古川橋	未指定	1.1	1.2	1.3	1.4	1.4	1.4
88	万願寺川	西脇橋	未指定	1.4	1.6	1.7	1.3	1.7	2.7
揖保川 (水系)									
89	揖保川	曲里	A	0.5	0.6	<0.5	0.5	0.5	0.7
90	〃	◎山崎	A	0.6	0.6	0.7	0.6	0.8	0.7
91	〃	鶯崎	A	0.7	0.7	0.7	0.6	1.0	1.0
92	〃	◎龍野	A	0.7	0.6	0.9	0.7	1.1	0.8
93	〃	◎上川原	B	0.8	0.7	0.8	0.8	1.2	1.0
94	〃	本町橋	B	1.7	1.2	2.2	1.2	3.5	1.8
95	林田川	構	未指定	1.2	1.0	1.3	1.1	2.2	1.5

表 - 4.8 一級河川の主要地点水質状況

地点番号	河川名	地点名	類型 指定	BOD (mg/ℓ)					
				平均値		75%値		最大値	
				H.21	H.22	H.21	H.22	H.21	H.22
九頭竜川 (水系)									
96	九頭竜川	◎九頭竜ダム湖	AA	1.0	0.9	0.9	0.9	3.6	2.0
97	真名川	真名川ダム湖	未指定	0.8	0.9	1.0	1.0	1.7	1.4
98	九頭竜川	◎中角	A	0.8	0.6	0.9	0.8	1.2	1.1
99	〃	高屋橋	A	0.7	1.0	0.7	1.0	0.9	1.2
100	日野川	◎深谷	B	1.1	1.0	1.2	1.3	1.7	2.4
101	〃	日光橋	B	1.2	1.4	1.1	1.7	1.7	1.8
102	九頭竜川	◎布施田	B	0.9	0.9	1.2	1.1	1.5	1.5
103	〃	九頭竜川河口	B	0.8	1.0	0.7	0.9	1.2	1.6
北川 (水系)									
104	北川	上中橋	A	0.5	0.6	0.5	0.5	0.6	0.8
105	〃	◎高塚	A	0.6	0.5	0.6	0.5	0.8	0.9
106	〃	西津橋	A	0.6	0.6	<0.5	0.5	0.7	0.9
由良川 (水系)									
107	土師川	◎土師橋	A	0.6	0.7	0.6	0.7	0.9	1.1
108	由良川	◎以久田橋	A	0.6	0.6	0.7	0.5	0.8	0.8
109	〃	◎音無瀬橋	A	0.6	0.8	0.7	0.9	0.9	1.3
110	〃	筈巻橋	A	0.7	0.9	0.8	0.9	1.0	1.1
111	〃	◎波美橋	A	0.7	0.7	0.8	0.8	1.1	1.0
112	〃	◎由良川橋	A	0.6	0.7	0.6	0.9	0.9	1.0
円山川 (水系)									
113	円山川	◎府市場	A	0.5	0.6	0.5	0.6	0.8	0.8
114	出石川	弘原	未指定	0.5	0.6	<0.5	0.6	0.6	0.7
115	円山川	◎立野	B	0.5	0.8	0.5	0.6	0.7	2.8
116	〃	結和橋	B	0.7	1.4	0.5	1.9	1.4	2.5
117	〃	港大橋	B	0.6	1.2	<0.5	1.5	0.8	1.5

表 - 4.9 一級河川（湖沼）の主要地点水質状況

注：◎ 印は環境基準地点

○ 印は環境基準地点（N・P）

地点番号は図-4.7および図-4.8に示す。

地点名のアンダーラインは滋賀県調査

地点番号	河川名	地点名	類型指定	COD (mg/l)					
				平均値		75%値		最大値	
				H.21	H.22	H.21	H.22	H.21	H.22
新 宮 川 (水系)									
118	熊野川	◎猿谷ダム湖中央	A	2.0	1.7	2.3	2.0	2.7	2.2
淀 川 (水系)									
119	琵琶湖(南湖)	栗津沖中央	AA	3.5	3.3	3.6	3.4	3.8	3.8
120	〃	三保ヶ崎沖	AA	3.4	3.3	3.6	3.4	4.1	4.5
121	〃	◎ <u>浜大津沖</u>	AA	3.3	3.8	3.5	3.5	3.9	9.3
122	〃	浜大津沖中央	AA	3.1	3.1	3.2	3.3	3.5	3.5
123	〃	柳ヶ崎沖	AA	3.4	3.2	3.6	3.4	4.3	3.8
124	〃	柳ヶ崎沖中央	AA	3.1	2.9	3.1	3.2	3.7	3.5
125	〃	山田港沖	AA	3.7	3.5	3.7	3.4	5.8	5.3
126	〃	○唐崎沖	AA	4.3	4.6	4.6	5.3	9.1	10.4
127	〃	◎ <u>唐崎沖中央</u>	AA	3.1	3.3	3.2	3.4	3.3	5.1
128	〃	伊佐々川沖	AA	3.8	3.6	4.1	3.9	4.8	5.0
129	〃	大宮川沖	AA	3.3	3.1	3.5	3.3	4.1	3.5
130	〃	大宮川沖中央	AA	3.0	3.1	3.1	3.1	3.2	3.7
131	〃	志那沖	AA	3.7	3.3	3.7	3.2	7.9	4.1
132	〃	雄琴沖	AA	3.1	3.1	3.2	3.3	3.6	3.5
133	〃	雄琴沖中央	AA	3.1	3.2	3.2	3.4	4.0	3.7
134	〃	◎ <u>杉江沖</u>	AA	4.8	4.1	5.7	4.4	7.8	5.3
135	〃	堅田沖	AA	3.2	3.1	3.4	3.3	4.0	3.7
136	〃	◎ <u>堅田沖中央</u>	AA	3.1	3.0	3.3	3.1	3.5	3.5
137	〃	木ノ浜沖	AA	3.2	3.3	3.4	3.5	4.2	4.0
南湖平均				3.4	3.4	3.6	3.5	4.7	4.7
138	琵琶湖(北湖)	丹出川沖	AA	2.9	2.6	2.9	2.8	4.7	3.1
139	〃	丹出川沖中央	AA	3.0	2.7	2.9	2.9	4.5	3.3
140	〃	吉川港沖	AA	2.9	2.9	3.2	3.0	3.4	3.4
141	〃	ほうらい沖	AA	3.0	2.7	2.9	2.8	5.7	2.9

表 - 4.10 一級河川（湖沼）の主要地点水質状況

地点 番号	河 川 名	地 点 名	類 型 指 定	COD (mg/ℓ)					
				平 均 値		75 % 値		最 大 値	
				H. 21	H. 22	H. 21	H. 22	H. 21	H. 22
142	琵琶湖（北湖）	ほうらい沖中央	AA	2.7	2.6	2.9	2.8	3.4	2.9
143	〃	日野川沖	AA	2.9	2.8	3.1	3.0	3.5	3.1
144	〃	南比良沖	AA	2.9	2.6	2.8	2.7	5.9	2.9
145	〃	○南比良沖中央	AA	2.8	2.7	2.9	2.9	3.9	3.1
146	〃	長命寺沖	AA	2.8	2.7	2.9	2.9	3.2	3.4
147	〃	◎北小松沖	AA	2.6	2.5	2.8	2.8	2.9	2.9
148	〃	北小松沖中央	AA	2.9	2.5	2.9	2.6	6.1	2.8
149	〃	◎愛知川沖	AA	2.8	2.7	2.8	2.9	3.7	3.1
150	〃	大溝沖	AA	2.6	2.5	2.9	2.6	3.1	2.8
151	〃	大溝沖中央	AA	2.6	2.5	2.9	2.6	3.1	2.7
152	〃	石寺沖	AA	2.8	2.6	3.0	2.7	3.3	3.1
153	〃	安曇川沖	AA	2.6	2.5	2.9	2.6	3.1	2.8
154	〃	○安曇川沖中央	AA	2.7	2.6	2.8	2.7	3.8	3.4
155	〃	彦根港沖	AA	2.7	2.7	2.9	2.8	3.2	3.0
156	〃	外ヶ浜沖	AA	2.6	2.5	3.0	2.6	3.2	2.8
157	〃	外ヶ浜沖中央	AA	2.7	2.5	2.8	2.6	3.2	2.8
158	〃	天野川沖	AA	2.6	2.6	3.0	2.7	3.1	3.1
159	〃	◎今津沖	AA	2.6	2.5	2.8	2.7	3.3	3.0
160	〃	○今津沖中央	AA	2.6	2.5	2.7	2.7	3.1	2.8
161	〃	姉川沖	AA	2.6	2.5	2.8	2.7	3.1	2.8
162	〃	◎長浜沖	AA	2.7	2.7	3.0	2.9	3.6	3.2
163	〃	知内川沖	AA	2.6	2.4	2.8	2.5	3.0	2.7
164	〃	知内川沖中央	AA	2.6	2.5	2.8	2.6	3.2	2.8
165	〃	早崎港沖	AA	2.6	2.5	2.9	2.6	3.1	2.8
北湖平均				2.7	2.6	2.9	2.7	3.7	3.0
166	布目川	◎布目ダム	A	3.6	3.7	3.8	4.0	3.9	4.6
167	宇陀川	◎室生ダム湖	A	5.0	3.3	6.1	4.0	6.4	4.6
168	〃	◎県営水道取水口付近	A	4.0	3.2	4.2	3.5	11.3	5.5

4.5 主要河川の水質経年変化

熊野川

熊野川では、BOD年平均值 1.0mg/l前後で推移している。

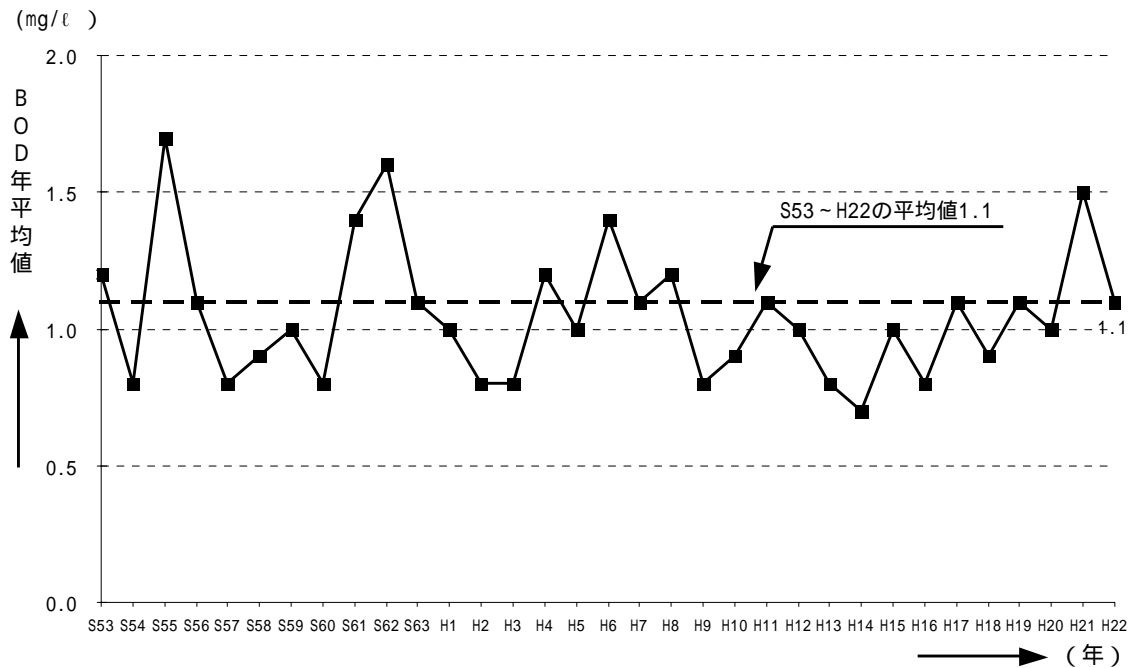


図 - 4.9 熊野川の水質経年変化 (BOD年平均值)

紀の川

紀の川では、平成6年を除いてBOD年平均值 1.0~2.0mg/lの間で推移している。

平成15年以降は1.0 mg/lをやや上回る程度で推移している。

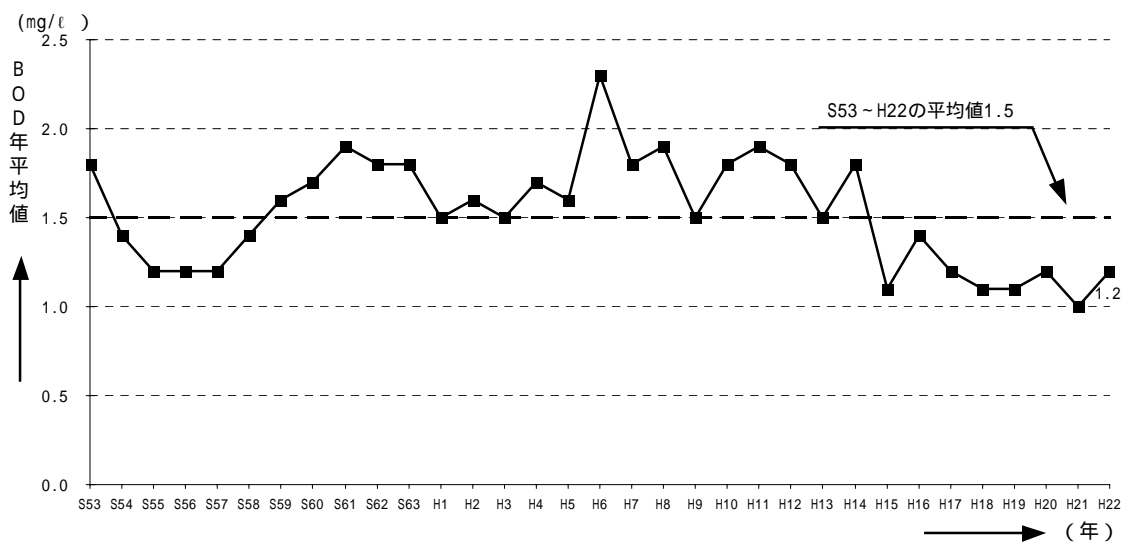


図 - 4.10 紀の川の水質経年変化 (BOD年平均值)

大和川

大和川では、二期にわたる「水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンス21、Ⅱ）」における河川浄化事業、下水道の整備や、啓発活動等の効果により近年着実に水質が改善され、平成16年にはBOD年平均値が初めて5.0mg/lを下回った。平成17年には6.4mg/lとなったが、平成18年以降は再び5.0mg/lを下回り、平成22年は2.8mg/lとなっている。

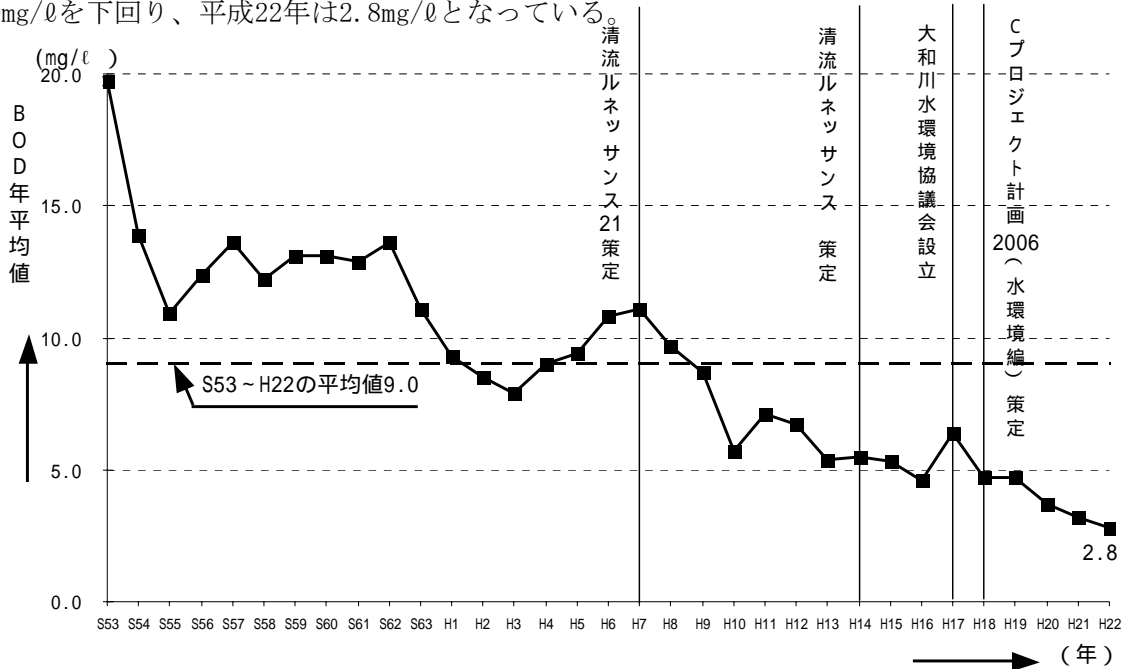


図 - 4.11 大和川の水質経年変化 (BOD年平均値)

淀川

淀川本川（三川合流点上流）では、昭和60年代までBOD年平均値は2.0 mg/l前後であったが、平成元年以降は低下して平成9年以降には概ね1.0 mg/l程度で推移している。

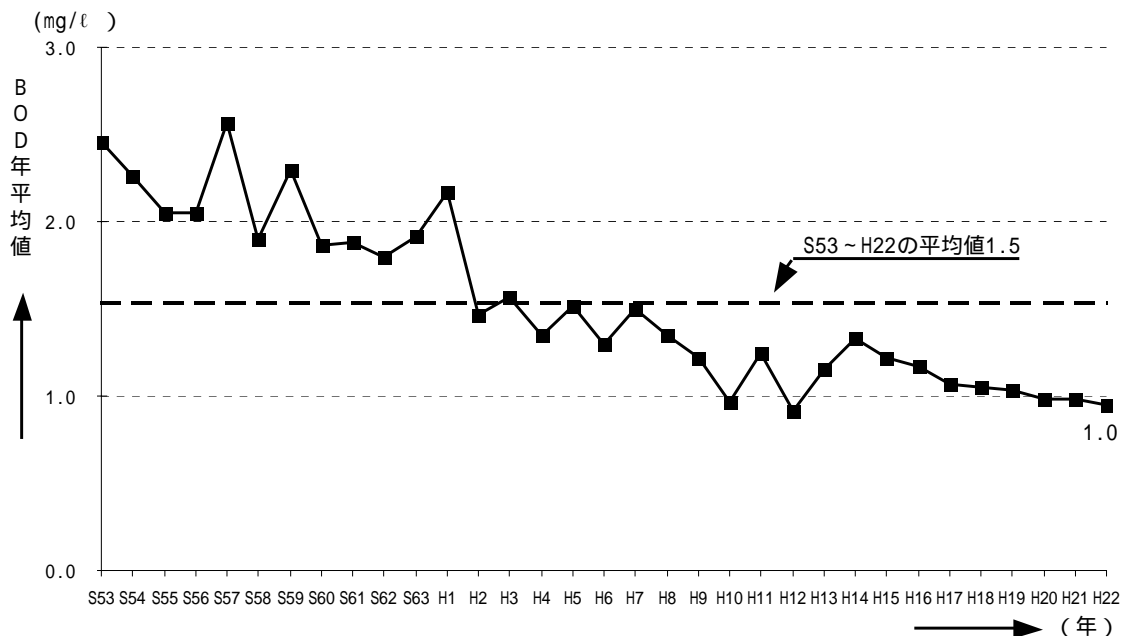


図 - 4.12 淀川本川（三川合流点上流：洗堰下、宇治橋、隠元橋、観月橋、宇治川大橋、宇治川御幸橋）平均水質の経年変化

淀川本川（三川合流点下流）では、桂川の水質改善等により、平成に入って水質が改善されてきており、平成15年以降はBOD年平均値2.0mg/ℓ以下で推移している。

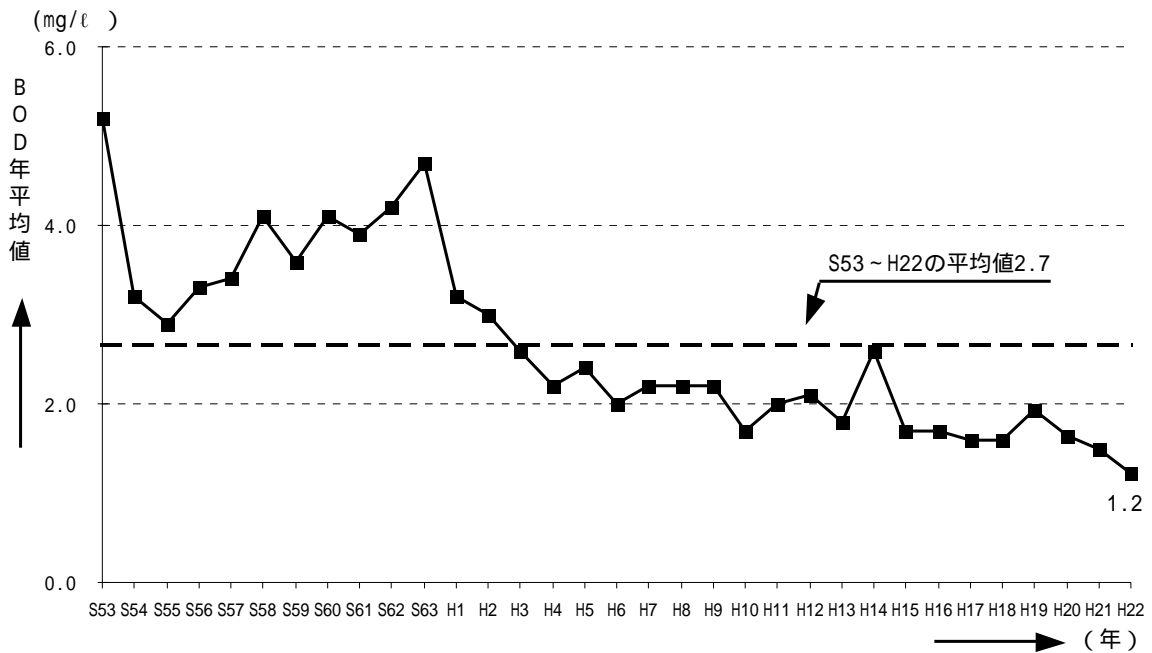


図 - 4.13 淀川本川（三川合流点下流：^{ひらかたおおほし}枚方大橋・^{とりかいおおほし}鳥飼大橋・^{くにしま}柴島・^{でんぼうおおほし}伝法大橋）平均水質の経年変化

桂川では、下水道事業及び河川浄化事業等の水質保全対策により、水質が改善されている。^{みやまえはし}宮前橋（B類型）のBOD75%値は、平成8年以降、環境基準（3.0mg/ℓ）を満足する水質を維持しており、平成22年は1.4mg/ℓとなっている。

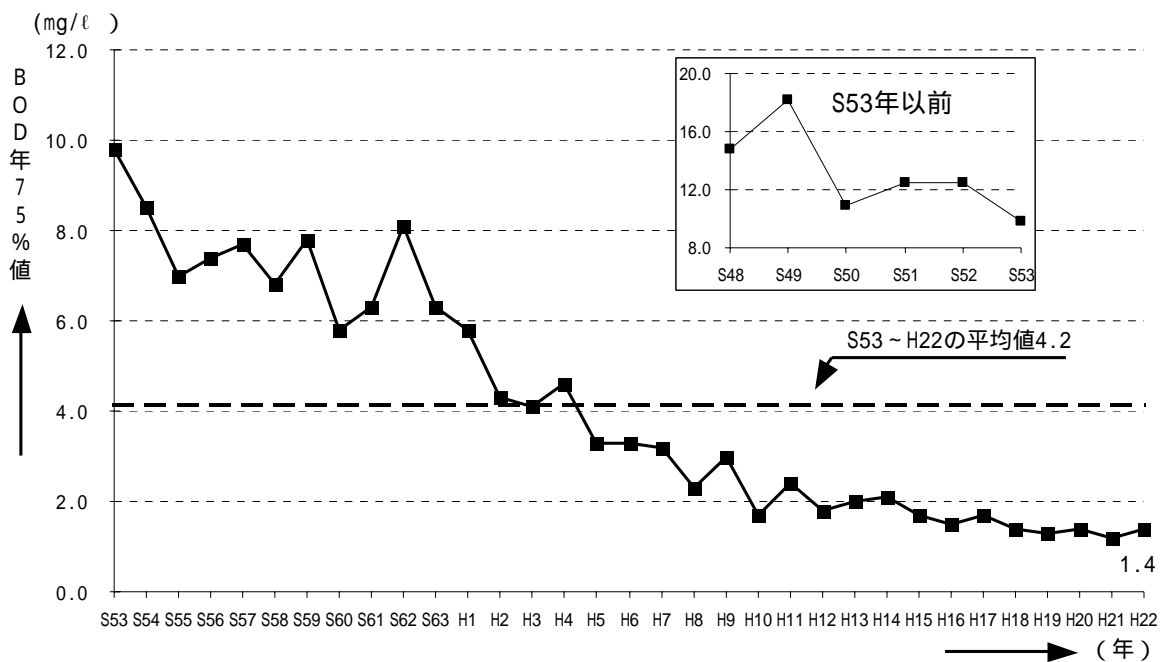


図 - 4.14 淀川水系桂川 ^{みやまえはし}宮前橋地点における水質の経年変化

野洲川

野洲川では、平成元年から平成11年までBOD年平均値が1.0mg/l以下であった。平成12年以降、1.0mg/lをやや上回る程度で推移していたが、平成18年以降は1.0mg/l以下で推移している。

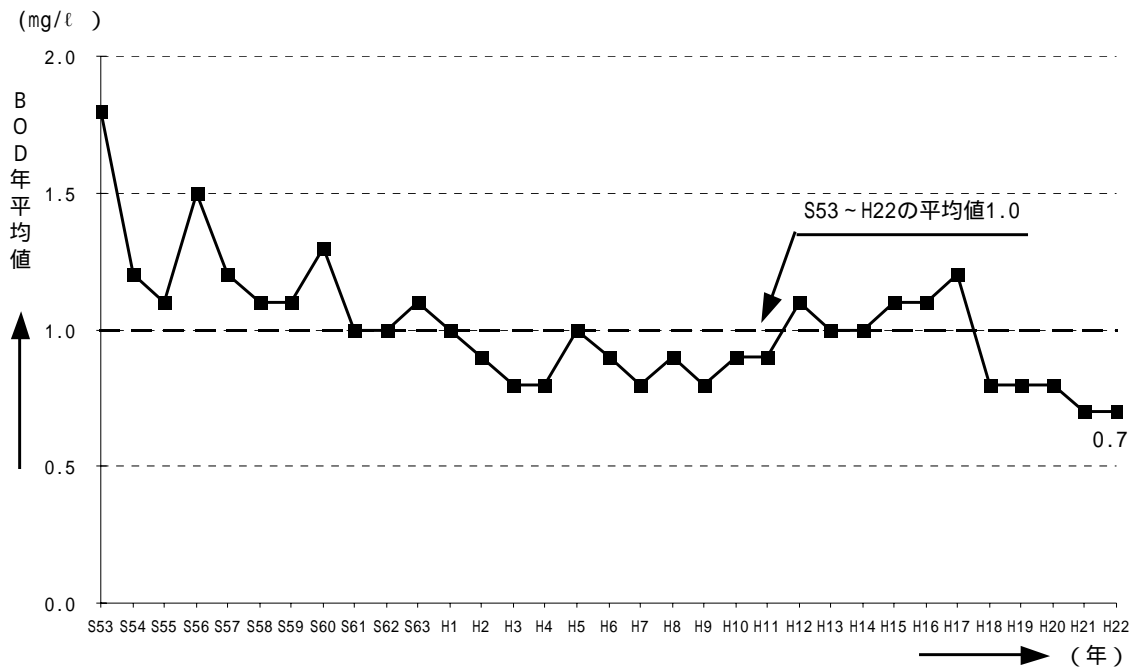


図 - 4.15 野洲川の水質経年変化 (BOD年平均値)

桂川

桂川では、昭和53年にはBOD年平均値は6.4mg/lであったが、着実に低下しており、平成8年以降は、1.0~2.0mg/lの間で推移し、平成22年は1.1mg/lとなっている。

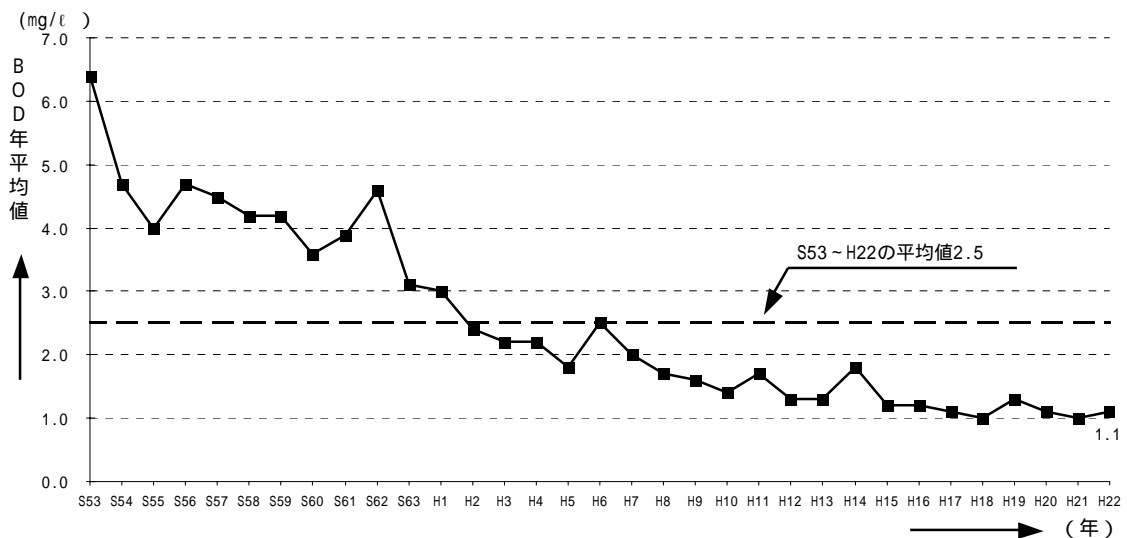


図 - 4.16 桂川の水質経年変化 (BOD年平均値)

宇陀川

宇陀川では、昭和50年代、60年代にはBOD年平均値は2.0mg/ℓ前後であったが、平成7年以降低下して平成10年以降は1.0mg/ℓ前後で推移し、平成22年は0.9mg/ℓとなっている。

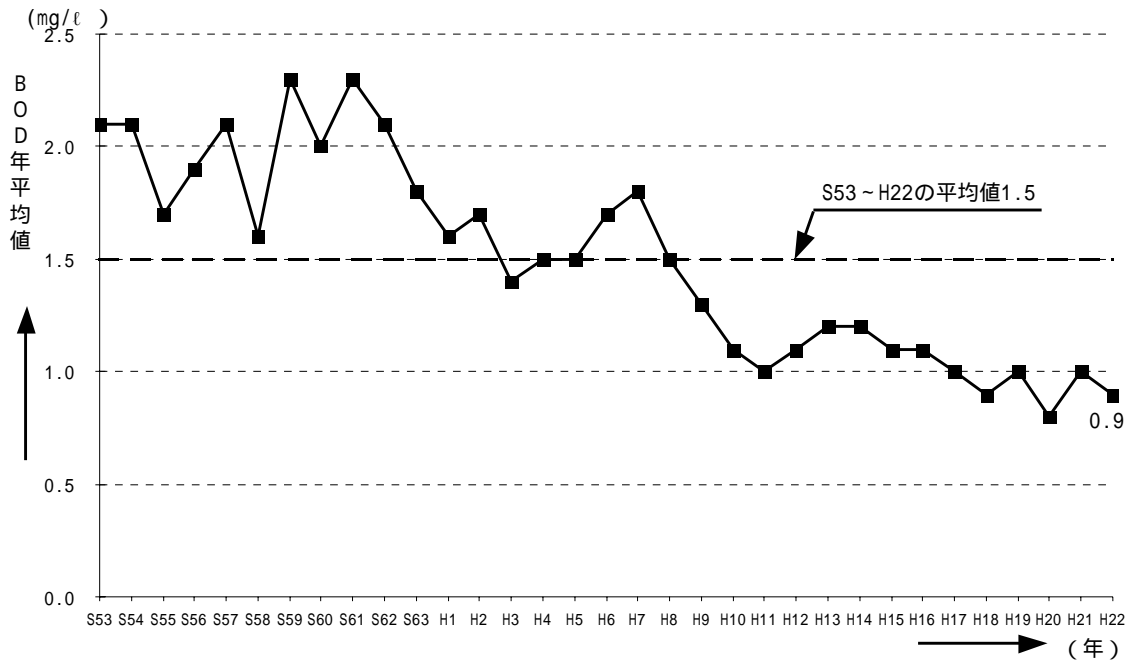


図 - 4.17 宇陀川の水質経年変化 (BOD年平均値)

名張川

名張川では、BOD年平均値は1.0~2.0mg/ℓの間で推移している。

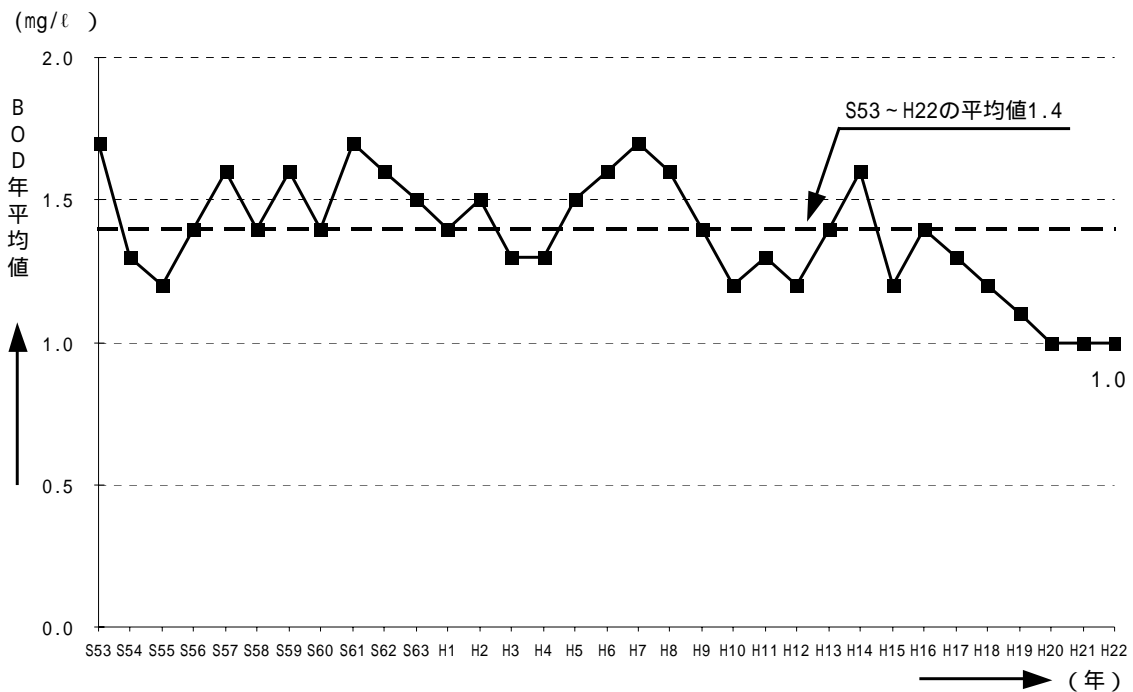


図 - 4.18 名張川の水質経年変化 (BOD年平均値)

木津川

木津川では、BOD年平均值は、平成9年以降において1.0～2.0mg/lの間で推移している。

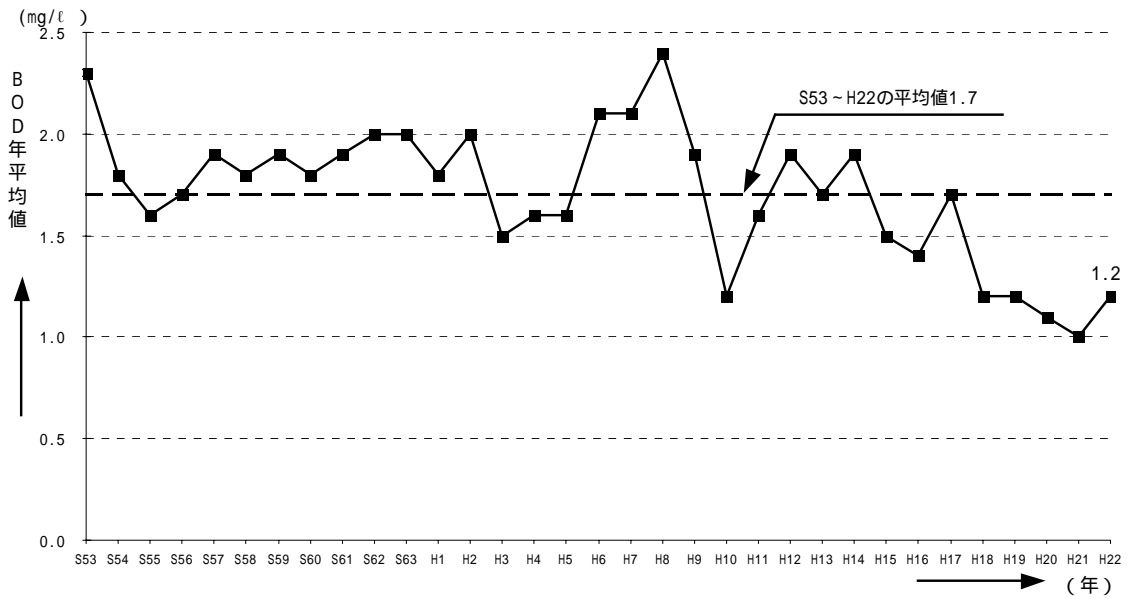


図 - 4.19 木津川の水質経年変化 (BOD年平均值)

猪名川

猪名川では、昭和47年に流域下水道が供用して以降、大幅に水質が改善されてきており、近年のBOD年平均值は3.0mg/l前後で推移している。

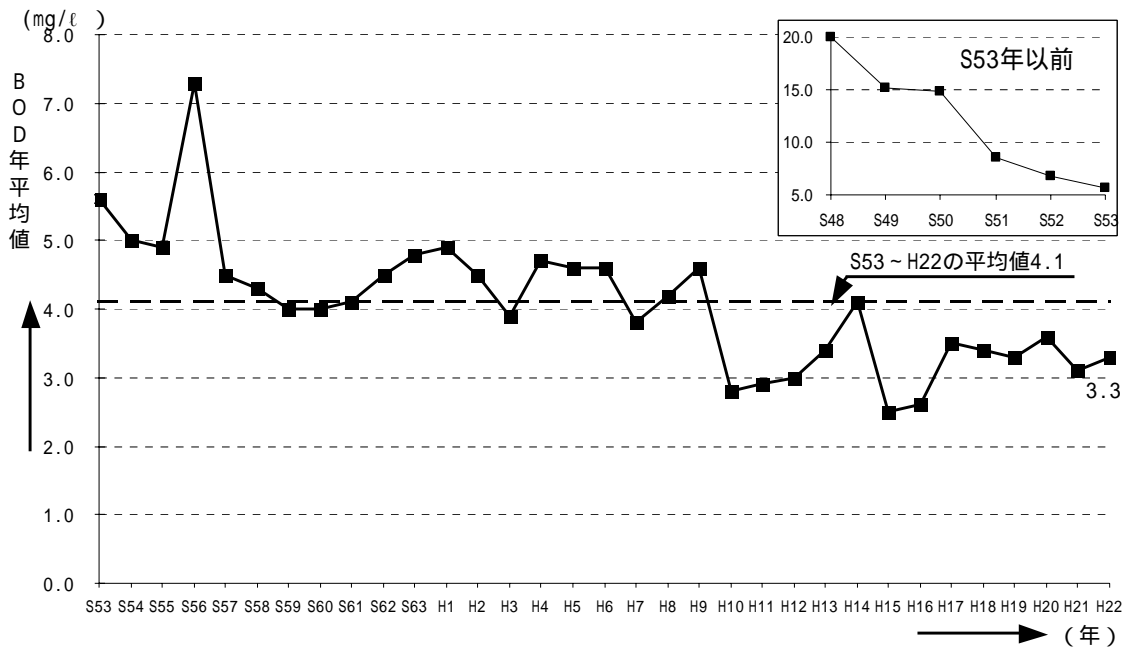


図 - 4.20 猪名川の水質経年変化 (BOD年平均值)

加古川

加古川では、長期的には徐々に水質が改善される傾向にあり、平成7年以降は、BOD年平均値は1.0~2.0mg/lの間で推移している。

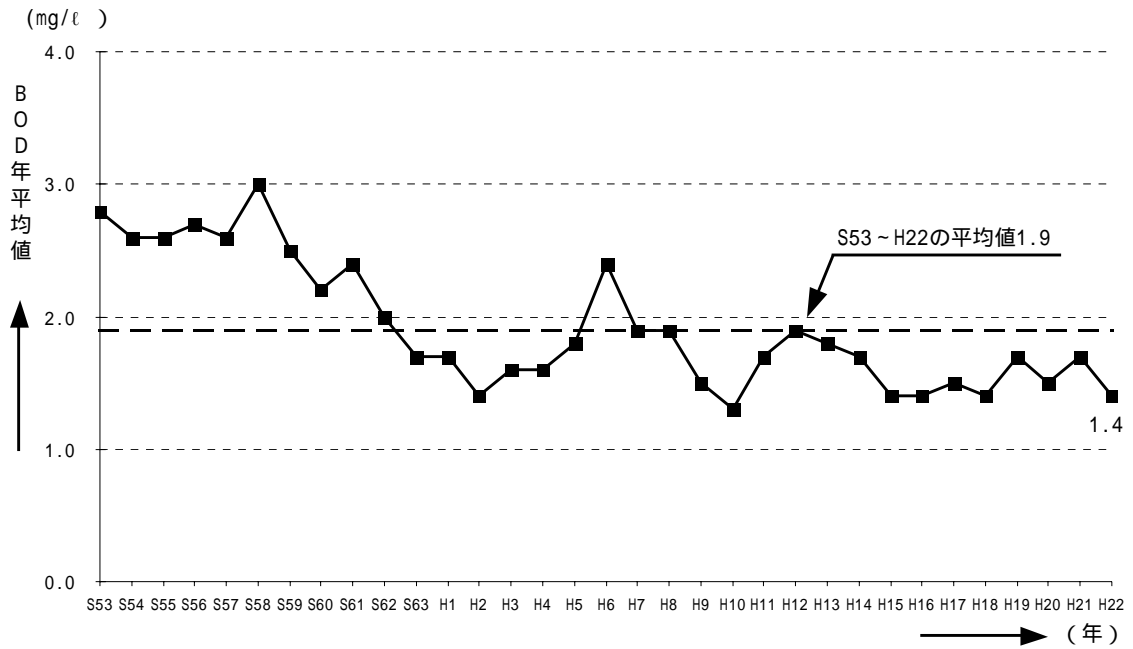


図 - 4.21 加古川の水質経年変化 (B O D年平均値)

揖保川

揖保川では、流域における下水道事業、河川浄化事業（汚泥浚渫等）などにより、平成6年にはBOD年平均値が 1.9mg/ℓと大幅に改善され、平成7年以降は 1.0mg/ℓ以下で推移している。

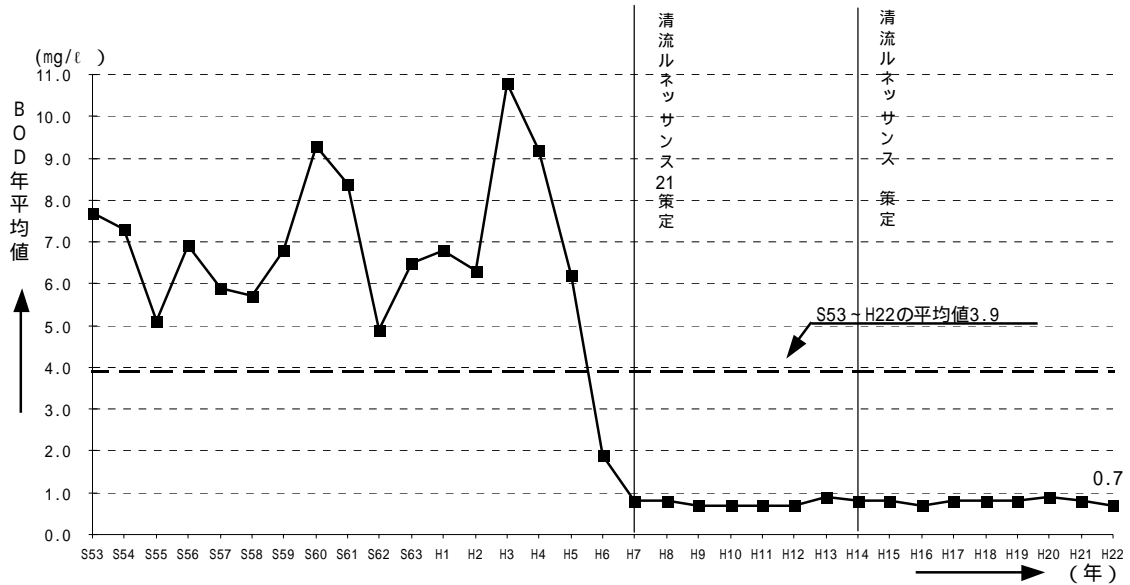


図 - 4.22 揖保川の水質経年変化（BOD年平均値）

☆ 最も汚濁の著しかった支川林田川でも、下水道事業、河川浄化事業（汚泥浚渫等）などにより、^{かまえ}構地点（真砂橋）ではBOD75%値が近年のピークである平成4年の 446mg/ℓより大幅に改善され、平成22年には 1.1mg/ℓとなっている。

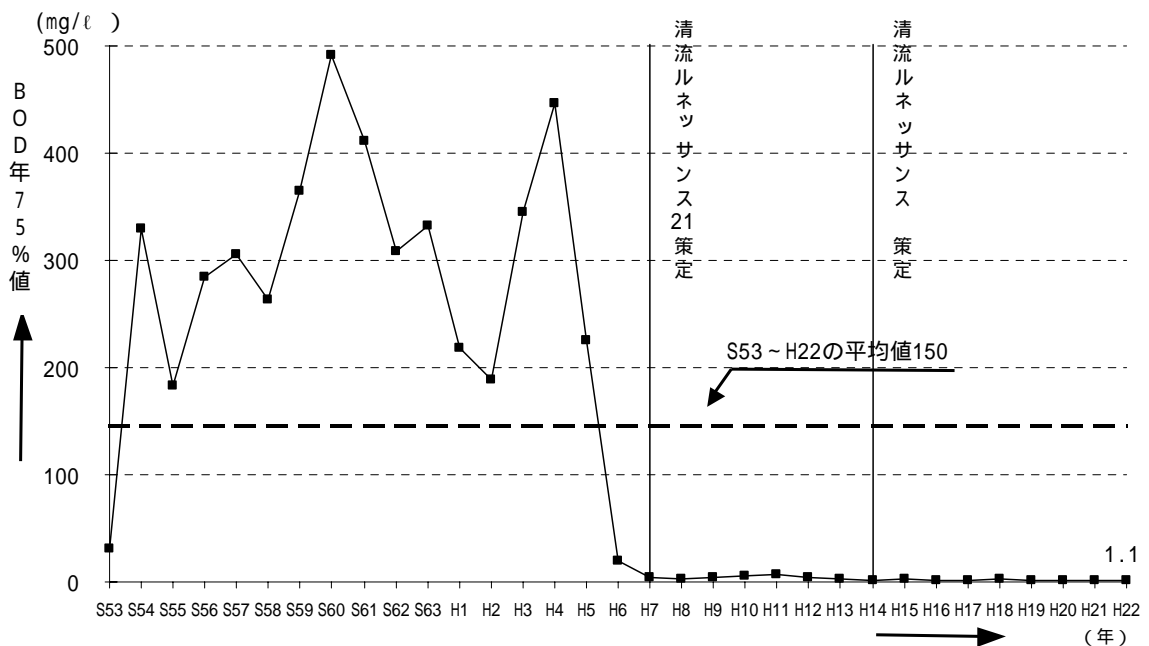


図 - 4.23 揖保川水系林田川 ^{かまえ}構地点（真砂橋）における水質の経年変化

円山川

円山川では、昭和54年～昭和62年は、BOD年平均值 1.0～2.0mg/ℓの間で推移していたが、昭和63年以降は1.0mg/ℓ前後で推移し、平成19年は1.7mg/ℓに上昇したが平成22年は1.0mg/ℓとなっている。

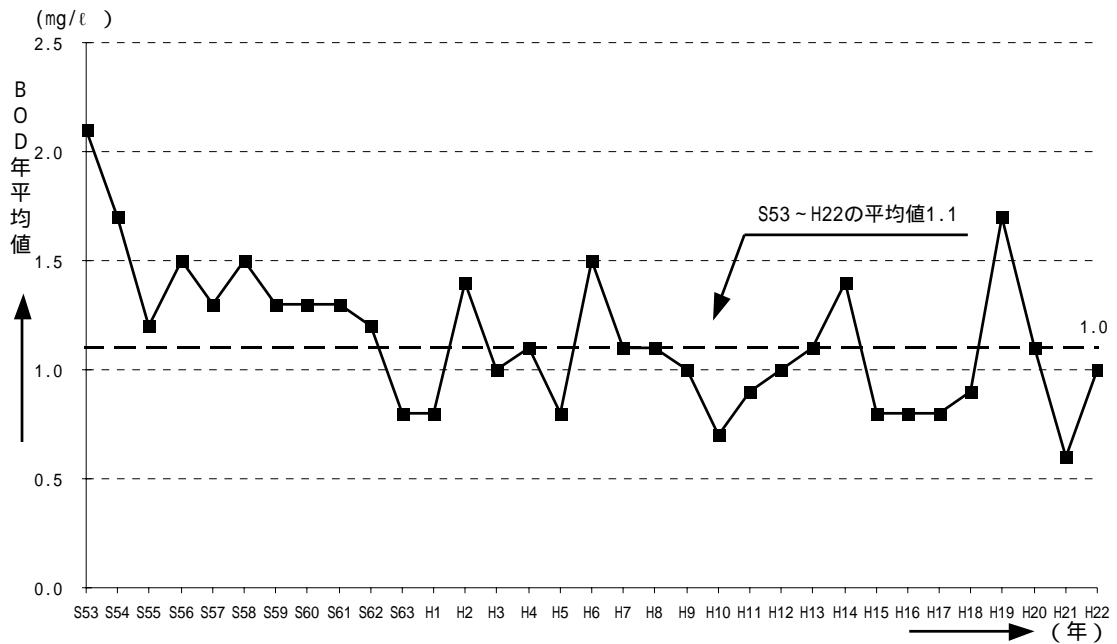


図 - 4.24 円山川の水質経年変化 (B O D年平均值)

由良川

由良川では、昭和56年と平成6年を除き、BOD年平均值 1.0mg/ℓ以下で推移している。

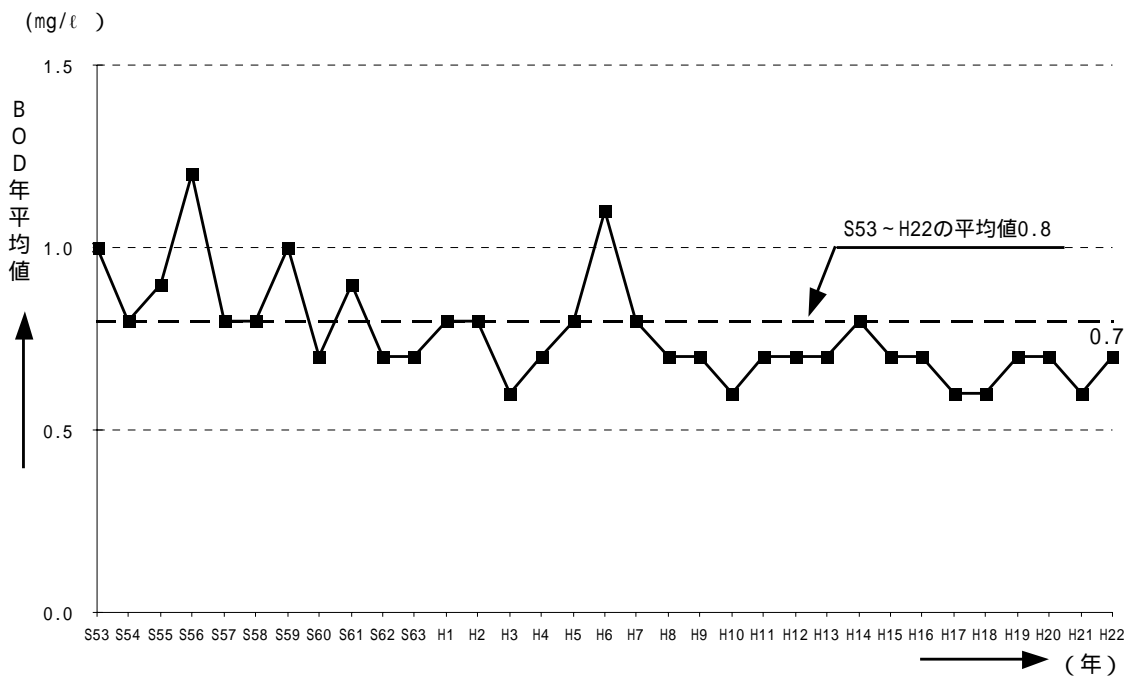


図 - 4.25 由良川の水質経年変化 (B O D年平均值)

北 川

北川では、BOD年平均値 1.0mg/ℓ以下で推移している。

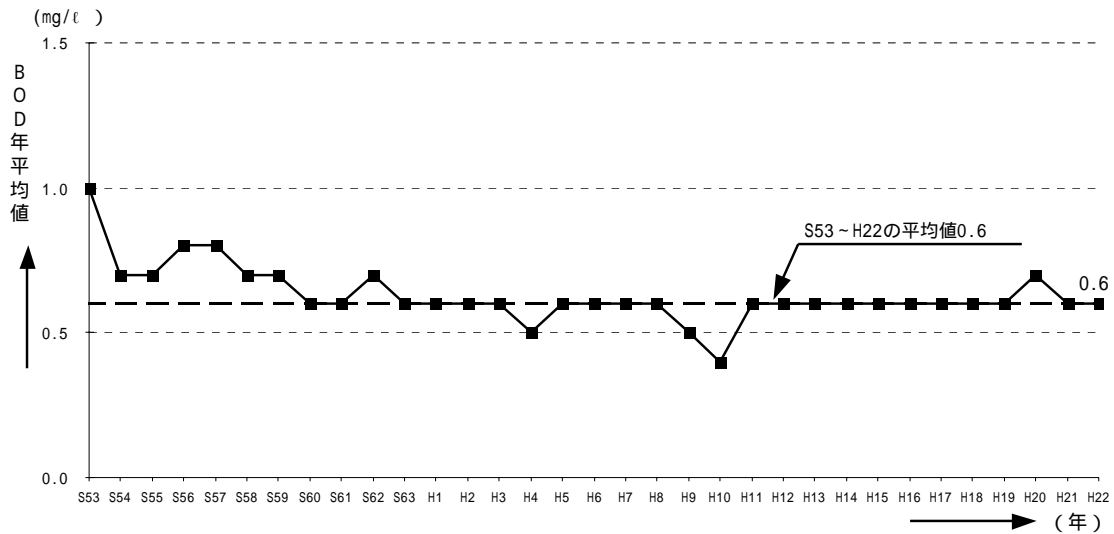


図 - 4.26 北川の水質経年変化 (B O D年平均値)

九 頭 竜 川

九頭竜川では、平成8年までは、BOD年平均値 1.0～1.5mg/ℓ程度で推移し、平成9年以降、平成20年を除き、BOD年平均値 1.0mg/ℓ以下で推移している。

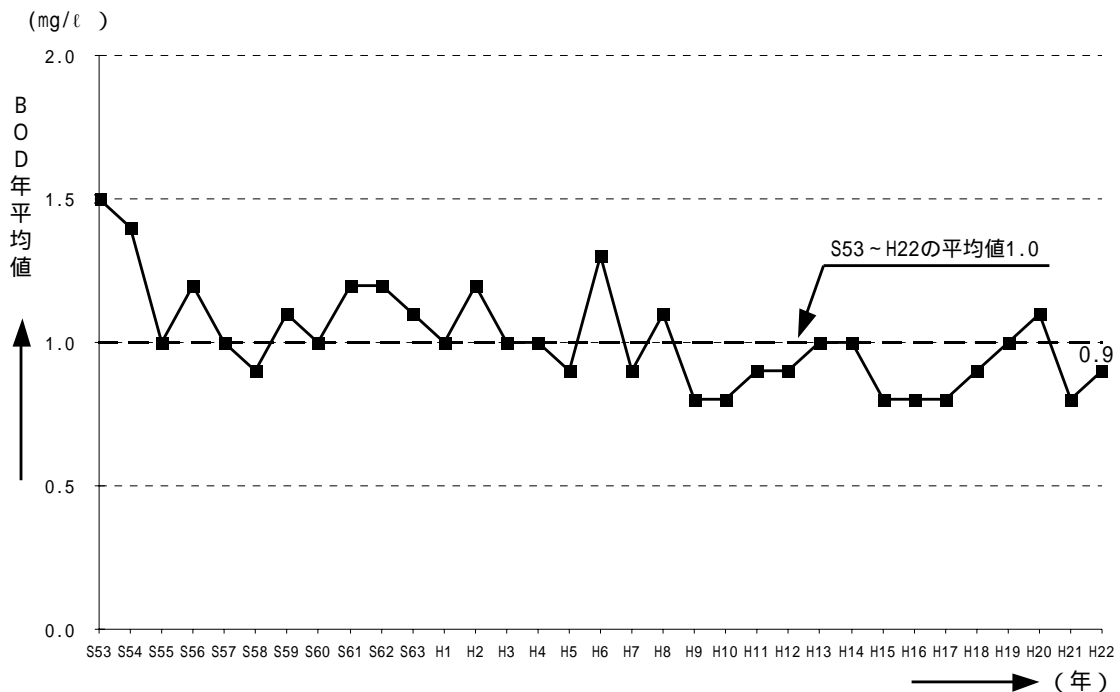


図 - 4.27 九頭竜川の水質経年変化 (B O D年平均値)

日野川（九頭竜川水系）

日野川では、平成6年までは、BOD年平均值 2.0～3.0mg/l程度で推移し、平成9年以降は、平成20年を除き、BOD年平均值 1.0～2.0mg/l程度で推移している。

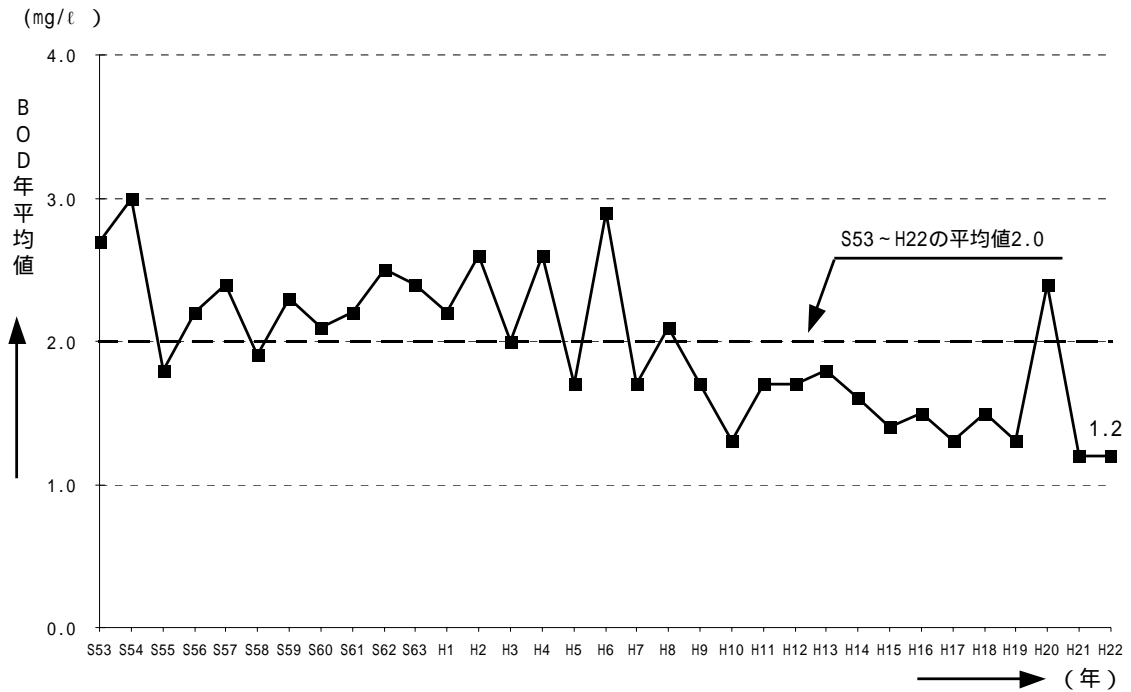


図 - 4.28 日野川の水質経年変化 (BOD年平均值)

4.6 水系別の水質概況

新宮川

熊野大橋地点でみると、平成22年のBOD75%値は 0.7mg/ℓであり、環境基準（A類型:2.0mg/ℓ以下）を満足する水質を維持している。

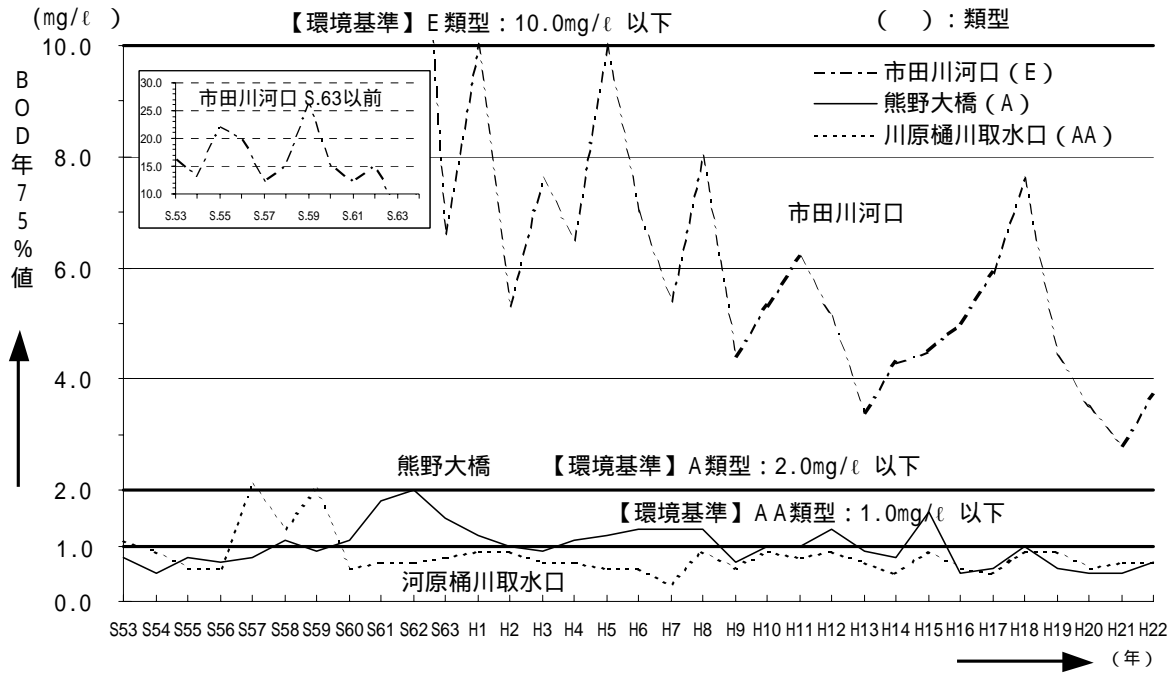


図 - 4.29 新宮川水系の環境基準地点の水質経年変化 (BOD75%値)

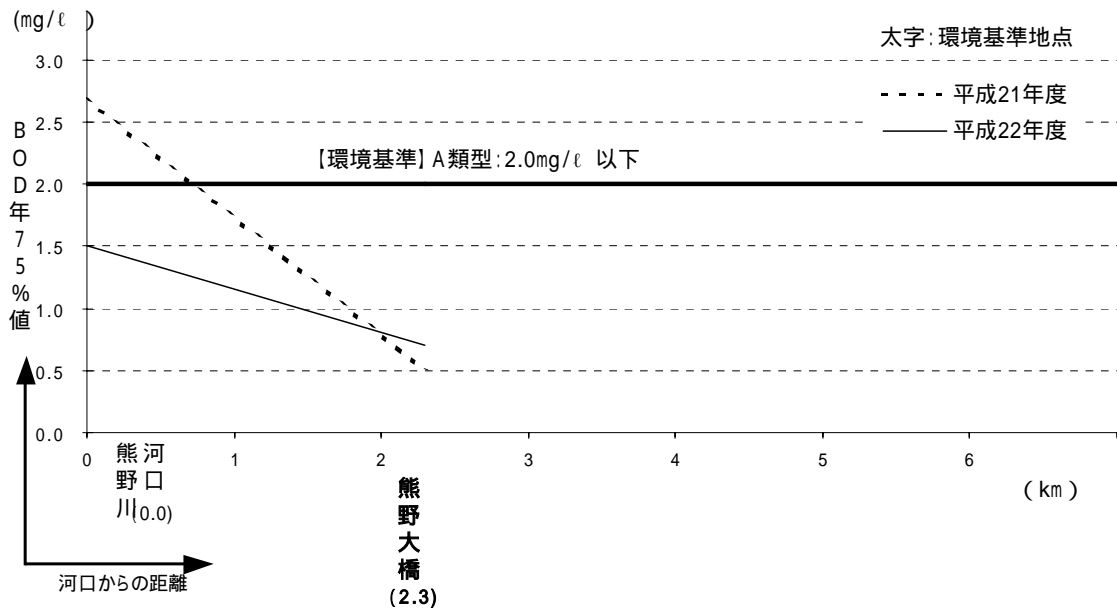


図 - 4.30 熊野川の水質縦断図 (BOD75%値)

紀の川

船戸地点でみると、平成2年より、環境基準（A類型:2.0mg/ℓ以下）を上回る水質となっていたが、平成14年から環境基準を満足する水質を維持しており、平成22年のBOD75%値は 1.2mg/ℓである。

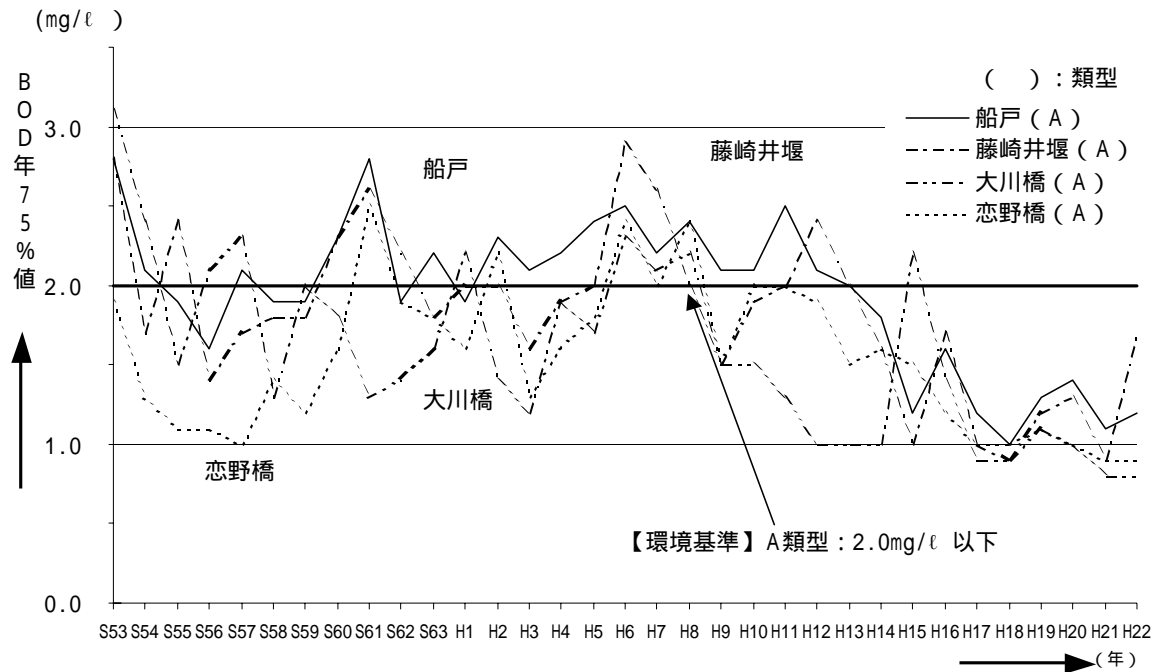


図 - 4.31 紀の川水系の環境基準地点の水質経年変化 (B O D75%値)

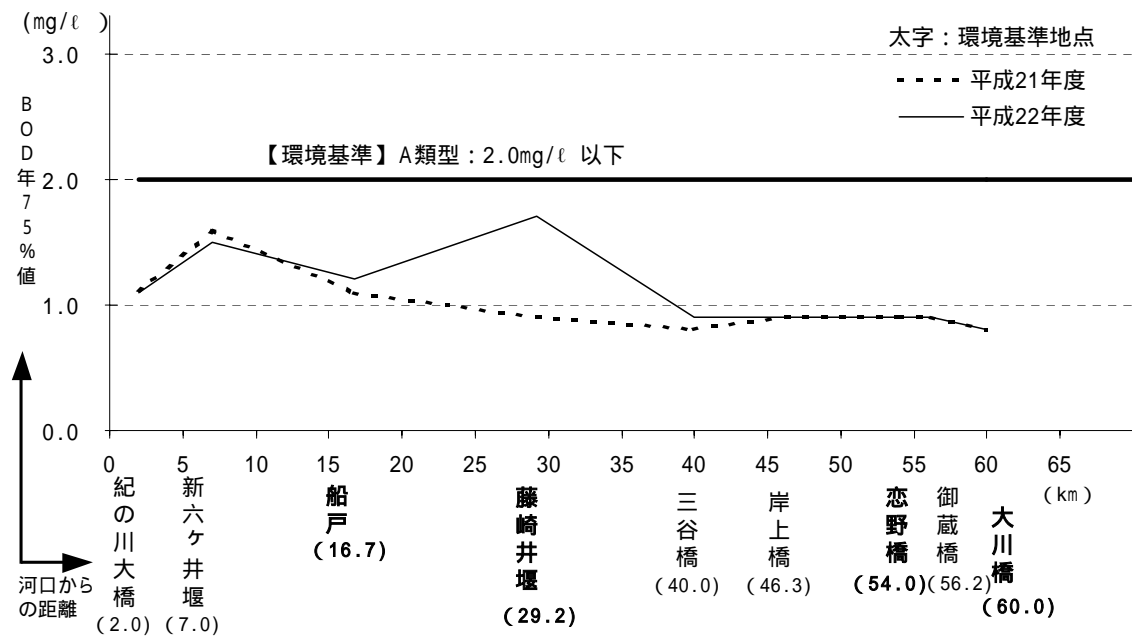


図 - 4.32 紀の川の水質縦断図 (B O D75%値)

大和川

浅香新取水口地点でみると、平成7年以降水質は改善されてきており、平成22年のBOD75%値は2.1mg/ℓとなり、環境基準（C類型:5.0mg/ℓ以下）を下回る水質となった。

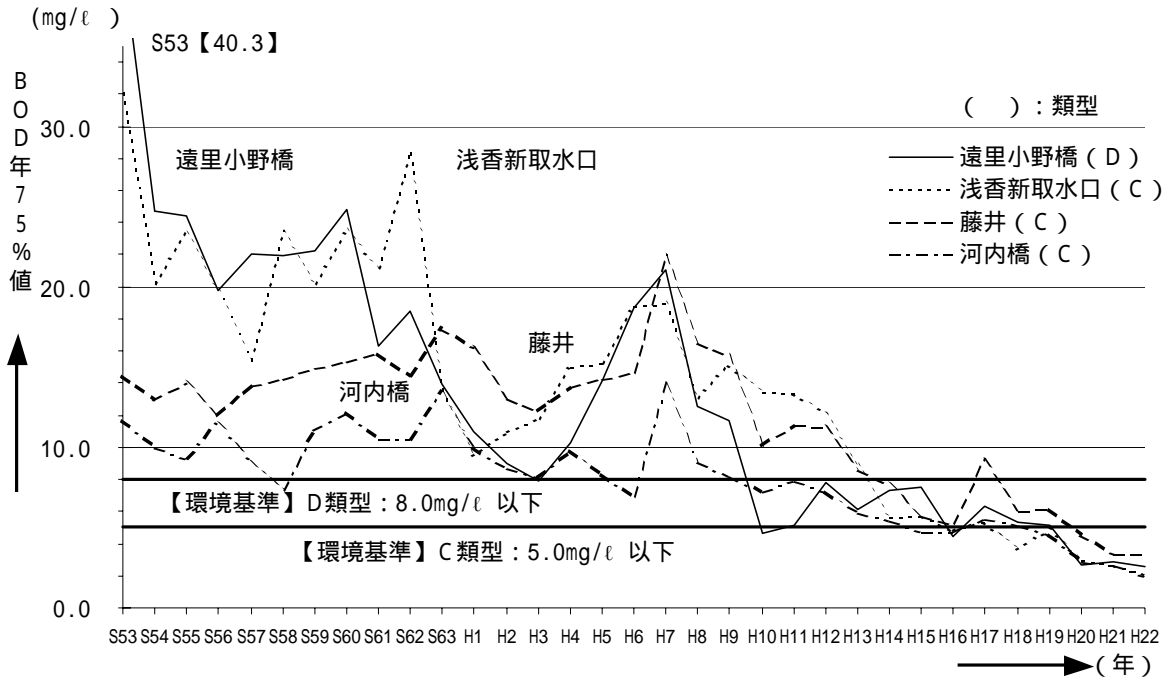


図 - 4.33 大和川水系（大和川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

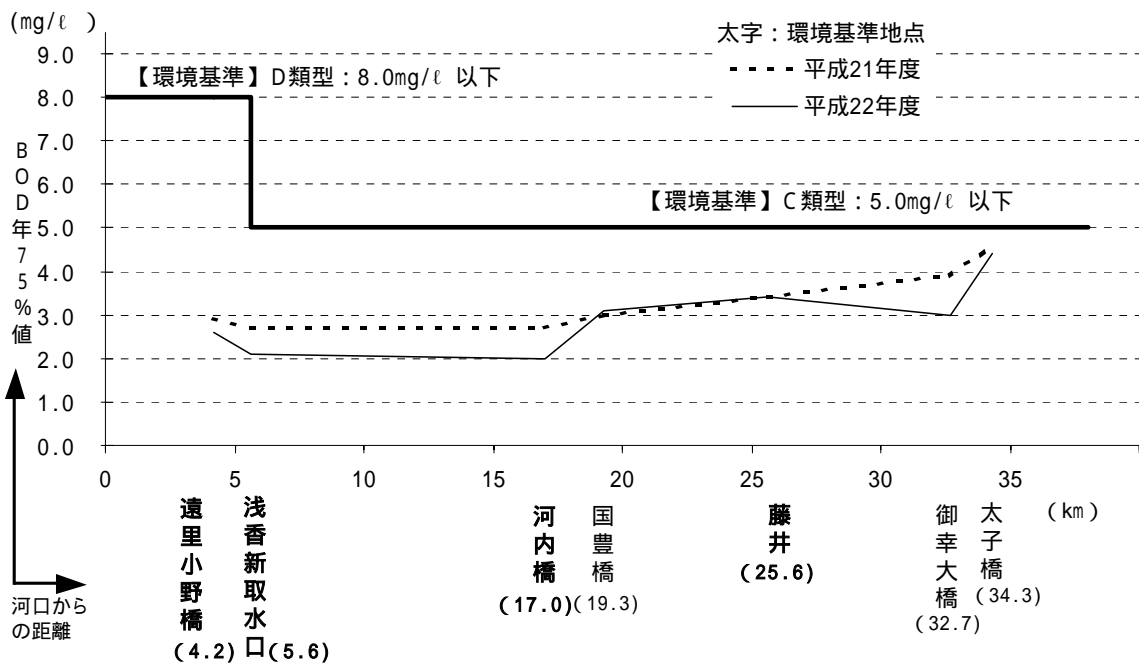


図 - 4.34 大和川の水質縦断図（BOD75%値）

淀川

淀川本川三川合流点下流の枚方大橋地点でみると、平成3年よりBOD75%値は環境基準（B類型：3.0mg/ℓ以下）を満足しており、平成22年は1.1mg/ℓとなっている。

宇治川（三川合流前）の宇治川御幸橋地点でみると、昭和63年よりBOD75%値は環境基準（B類型：3.0mg/ℓ以下）を満足しており、平成22年は1.3mg/ℓとなっている。

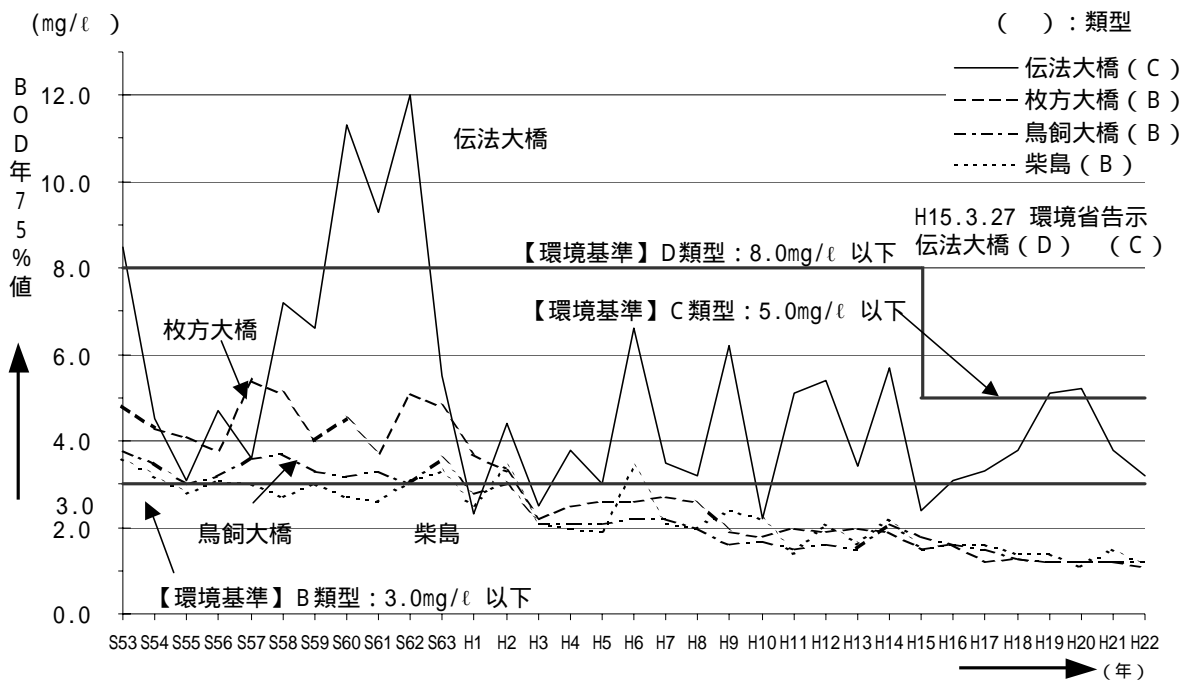


図 - 4.35 淀川水系（三川合流点下流）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

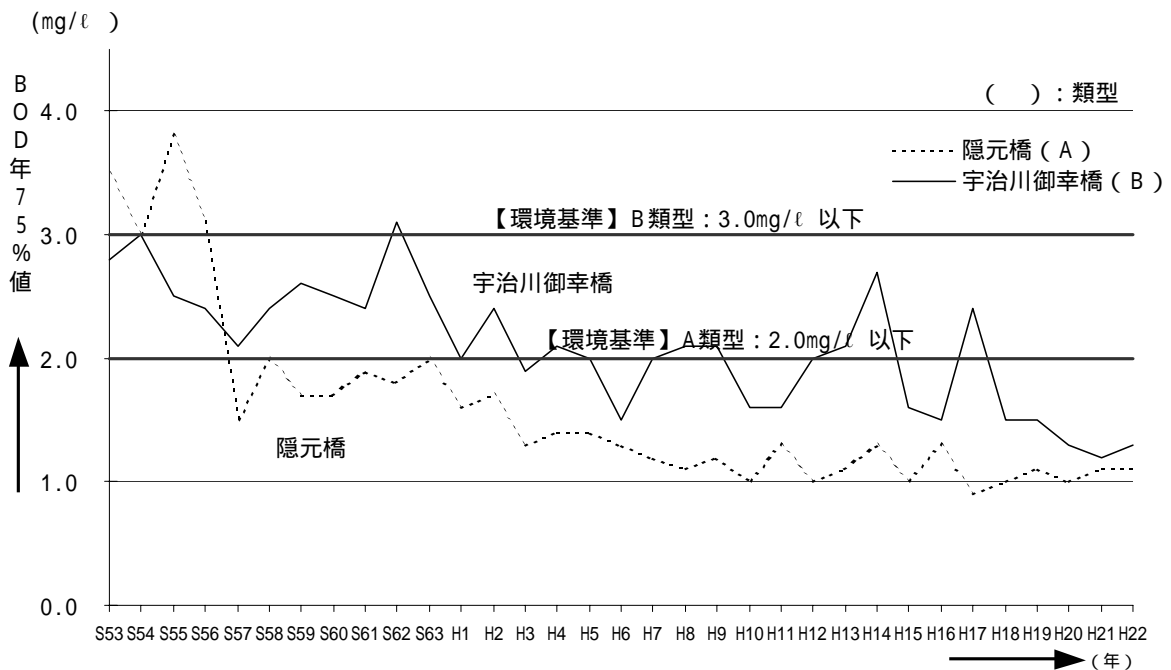


図 - 4.36 淀川水系（宇治川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

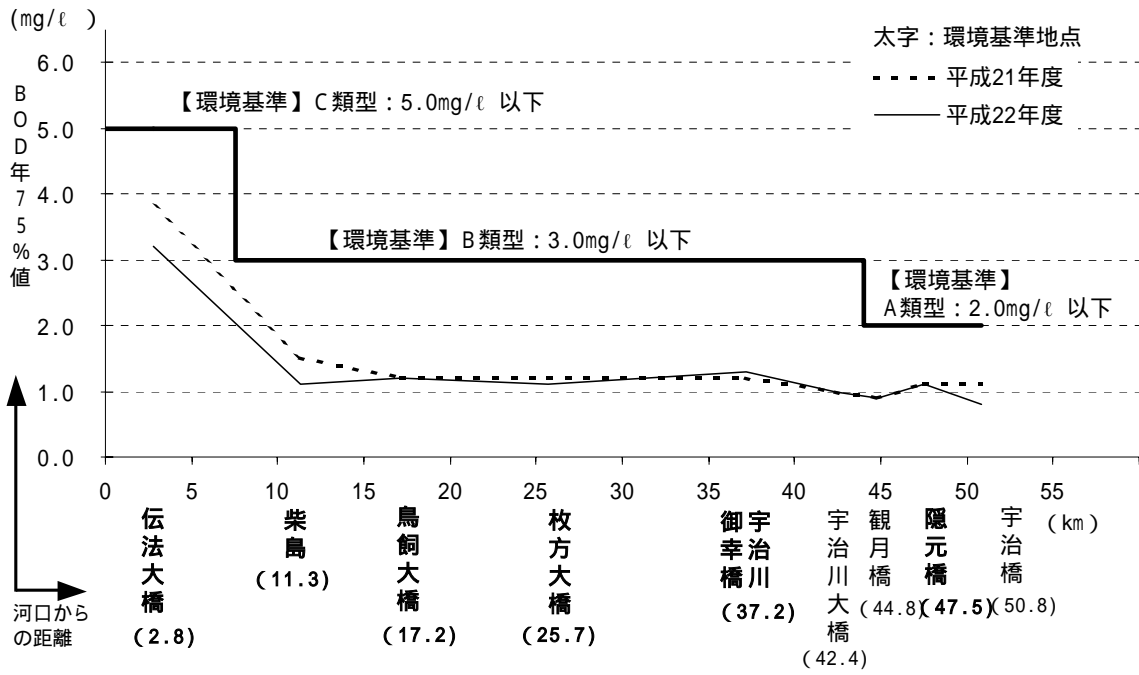


図 - 4.37 淀川（本川、宇治川）の水質縦断図（BOD75%値）

桂川の宮前橋地点でみると、平成22年のBOD75%値は 1.4mg/ℓであり、平成8年より環境基準（B類型:3.0mg/ℓ以下）を満足する水質を維持している。

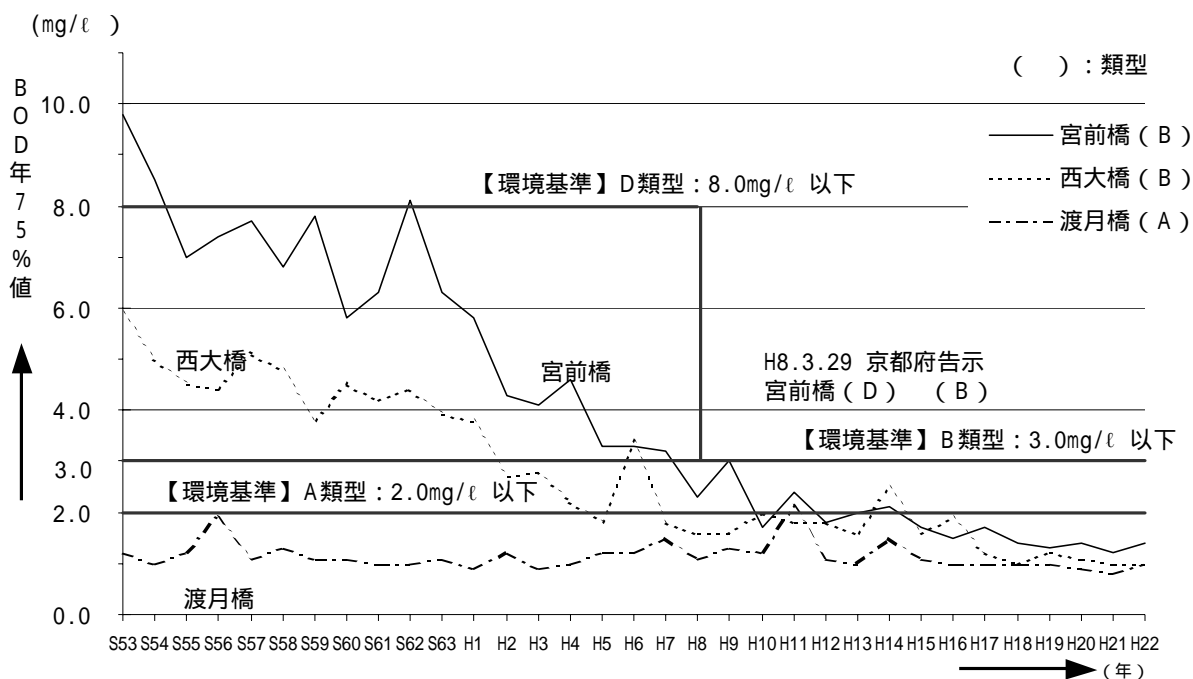


図 - 4.38 淀川水系（桂川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

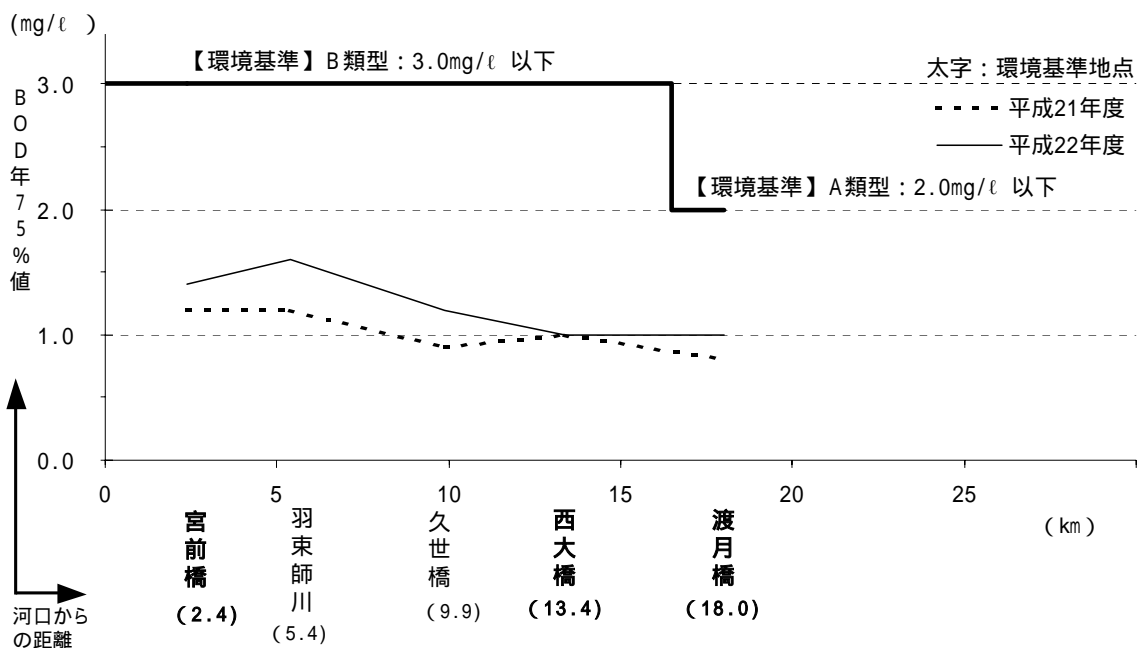


図 - 4.39 桂川の水質縦断図（BOD75%値）

木津川の各調査地点でみると、近年、BOD75%値は2.0mg/ℓ前後で推移し、平成22年は平成21年と同じく全地点で環境基準（A類型:2.0mg/ℓ以下）を満足する水質となった。また、最下流の木津川御幸橋においても、平成22年のBOD75%値は1.1mg/ℓと、環境基準を満足する水質となっている。

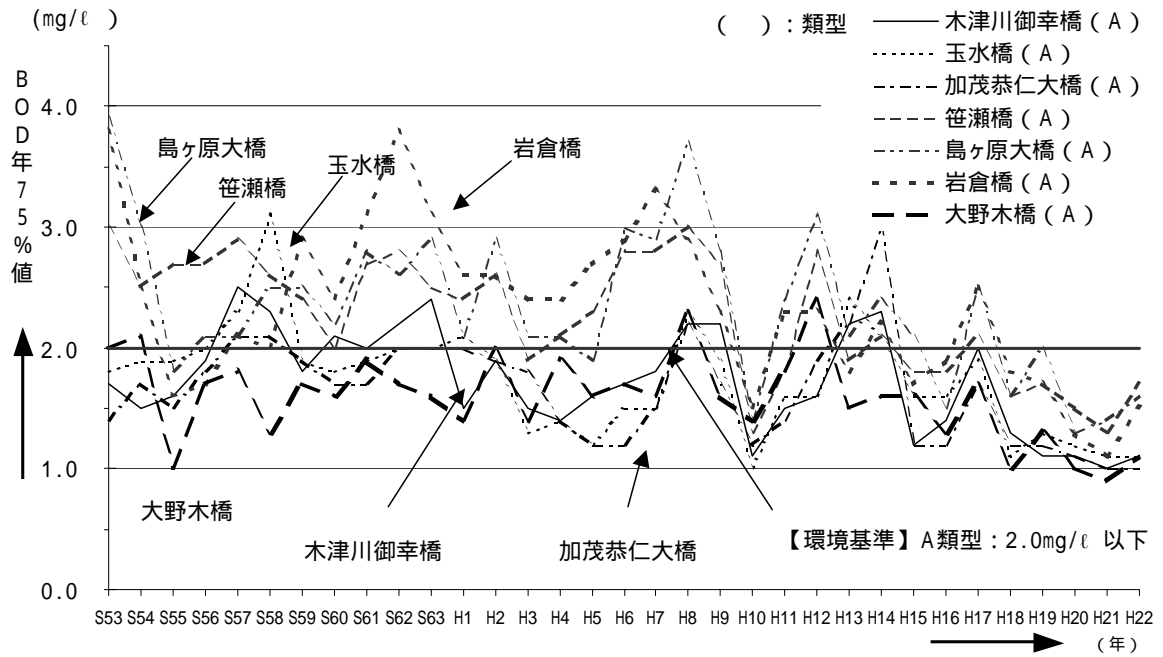


図 - 4.40 淀川水系（木津川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

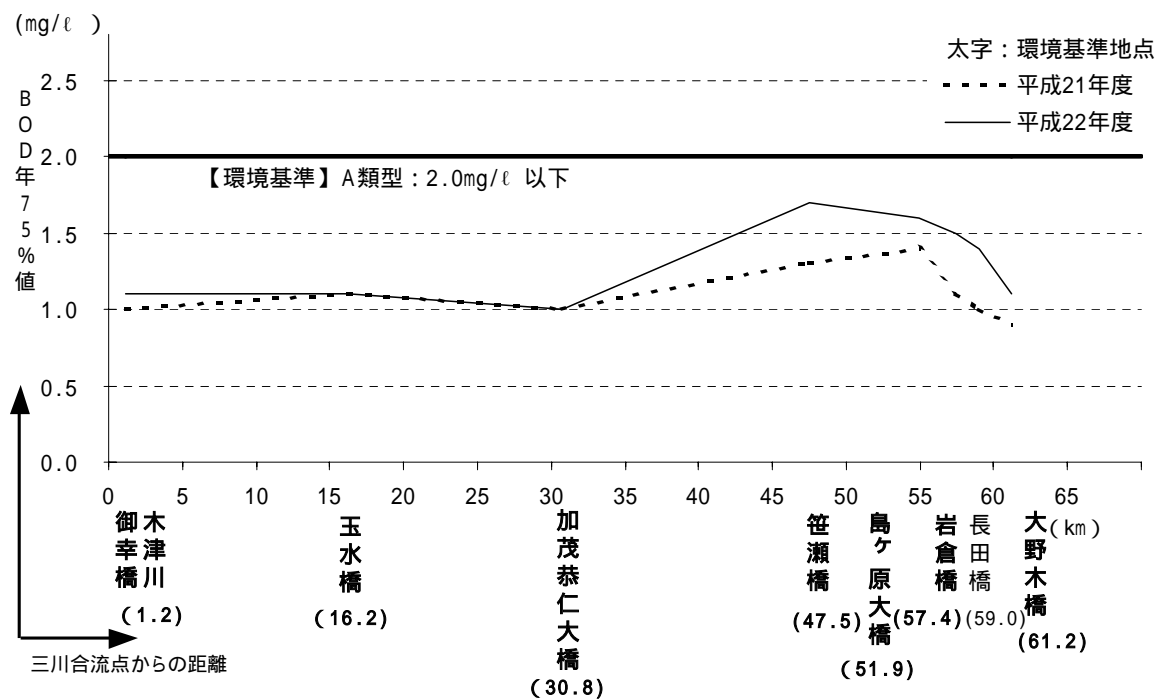


図 - 4.41 木津川の水質縦断図（BOD75%値）

淀川水系の右派川神崎川右支川である猪名川の水質を軍行橋地点でみると、平成22年のBOD75%値は1.0mg/lであり、昭和50年代よりBOD75%値は環境基準（B類型:3.0mg/l以下）を満足する水質を維持し、平成10年以降は1.0mg/l前後の水質となっている。

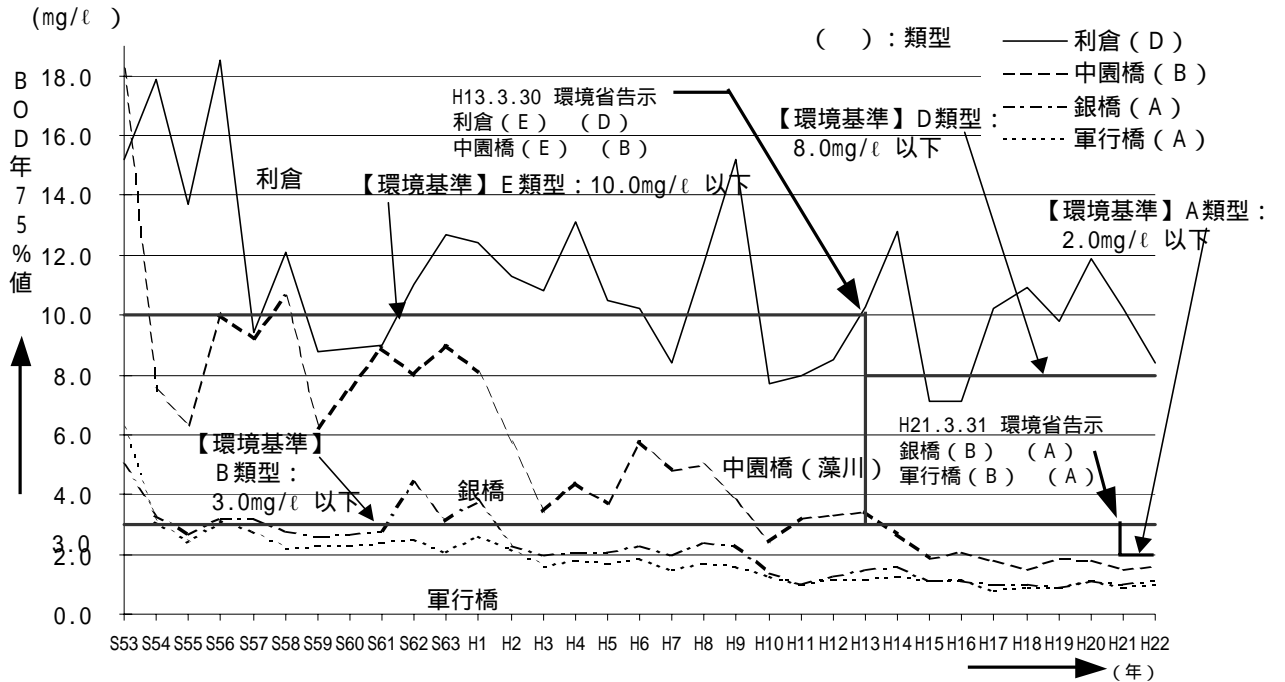


図 - 4.42 淀川水系（猪名川、^{もがわ}藻川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

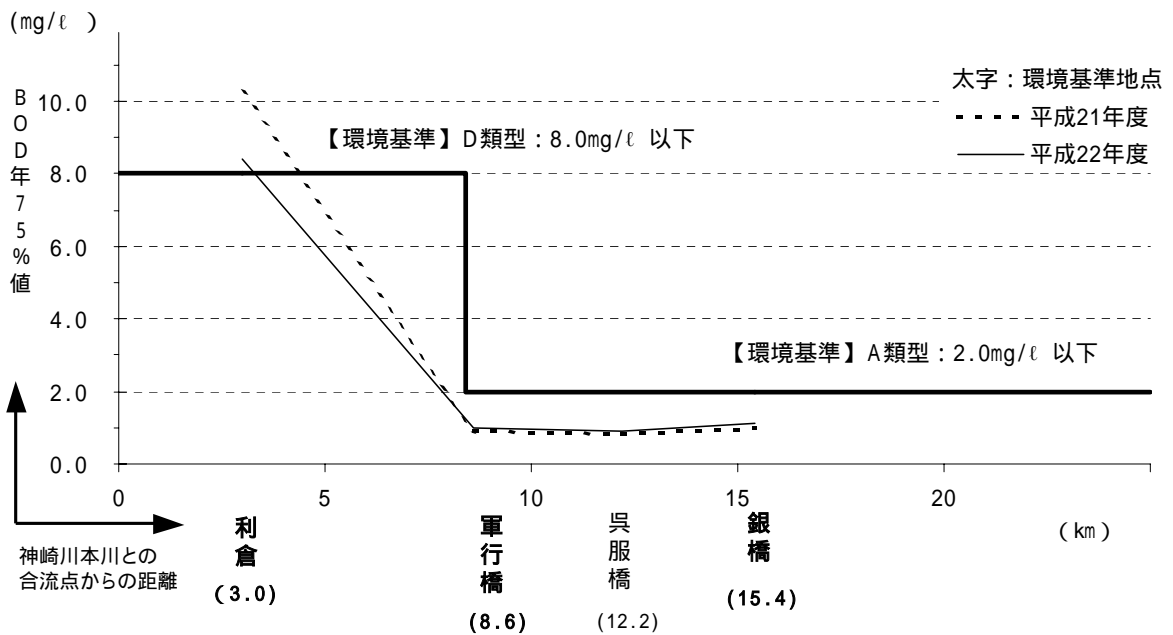


図 - 4.43 猪名川の水質縦断図（BOD75%値）

加古川

いたば
板波地点でみると、平成22年のBOD75%値は 1.0mg/ℓであり、平成13年より環境基準（B類型:3.0mg/ℓ以下）を満足する水質を維持している。

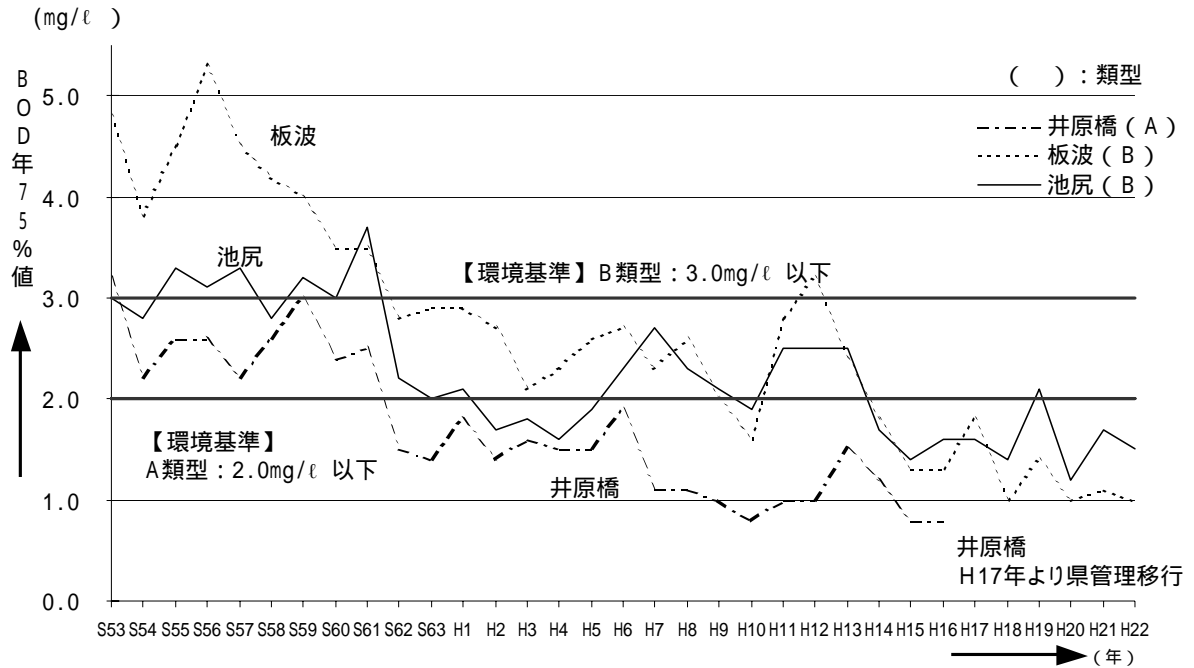


図 - 4.44 加古川水系の環境基準地点の水質経年変化 (B O D 7 5 % 値)

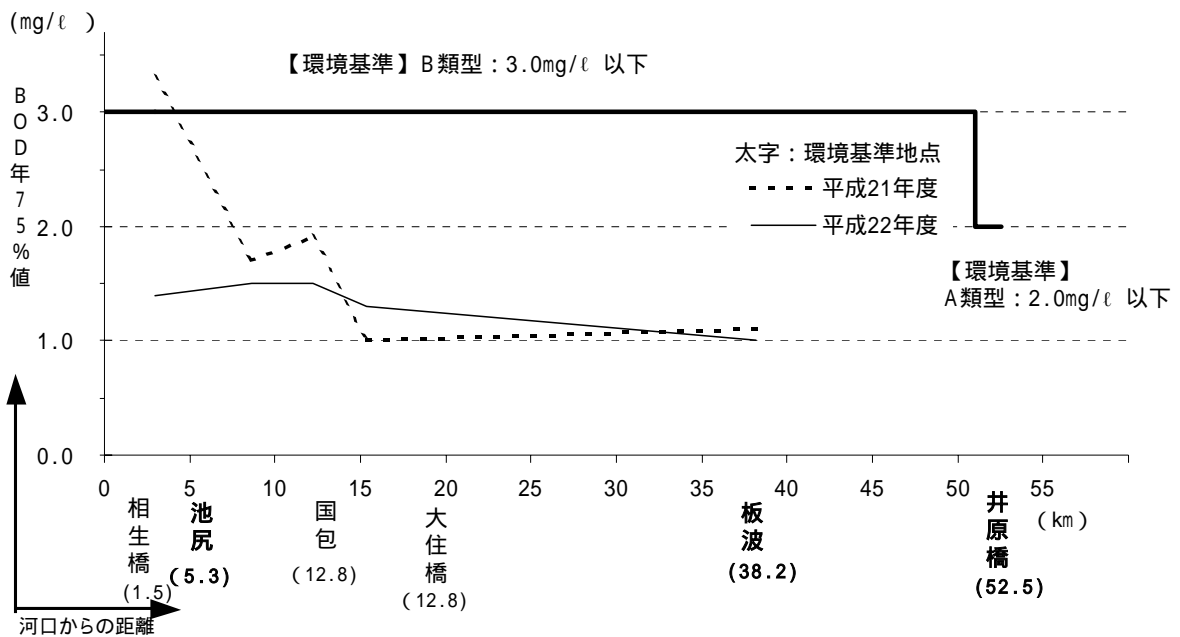


図 - 4.45 加古川の水質縦断図 (B O D 7 5 % 値)

揖保川

龍野地点でみると、平成22年のBOD75%値は 0.7mg/ℓであり、環境基準（A類型:2.0mg/ℓ以下）を満足する水質である。また、林田川合流後の上川原地点でみると、平成22年のBOD75%値が 0.8mg/ℓとなり、平成7年より環境基準（B類型:3.0mg/ℓ以下）を満足する水質を維持している。

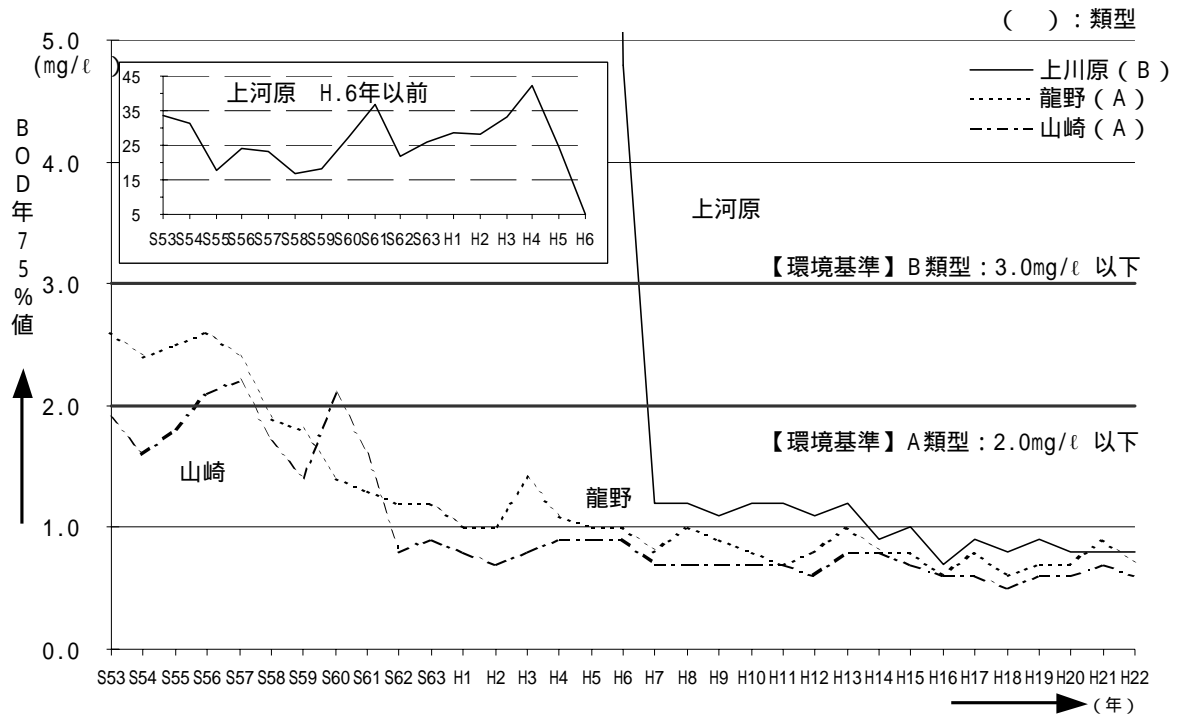


図 - 4.46 揖保川水系の環境基準地点の水質経年変化 (BOD75%値)

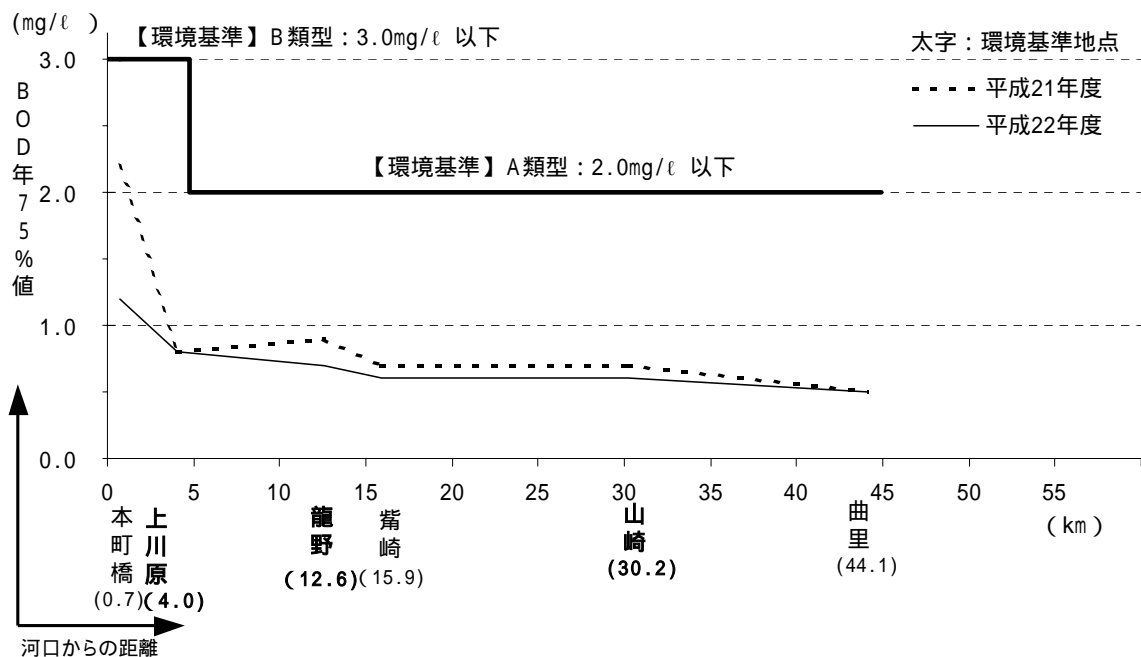


図 - 4.47 揖保川の水質縦断図 (BOD75%値)

九頭竜川

なかつの
 中角地点でみると、平成22年のBOD75%値は 0.8mg/ℓであり、ここ数年概ね横ばい傾向で、環境基準（A類型:2.0mg/ℓ以下）を満足する水質を維持している。

支川日野川下流の深谷地点でみると、平成22年のBOD75%値が 1.3mg/ℓであり、平成7年以降は環境基準（B類型:3.0mg/ℓ以下）を満足する水質を維持している。

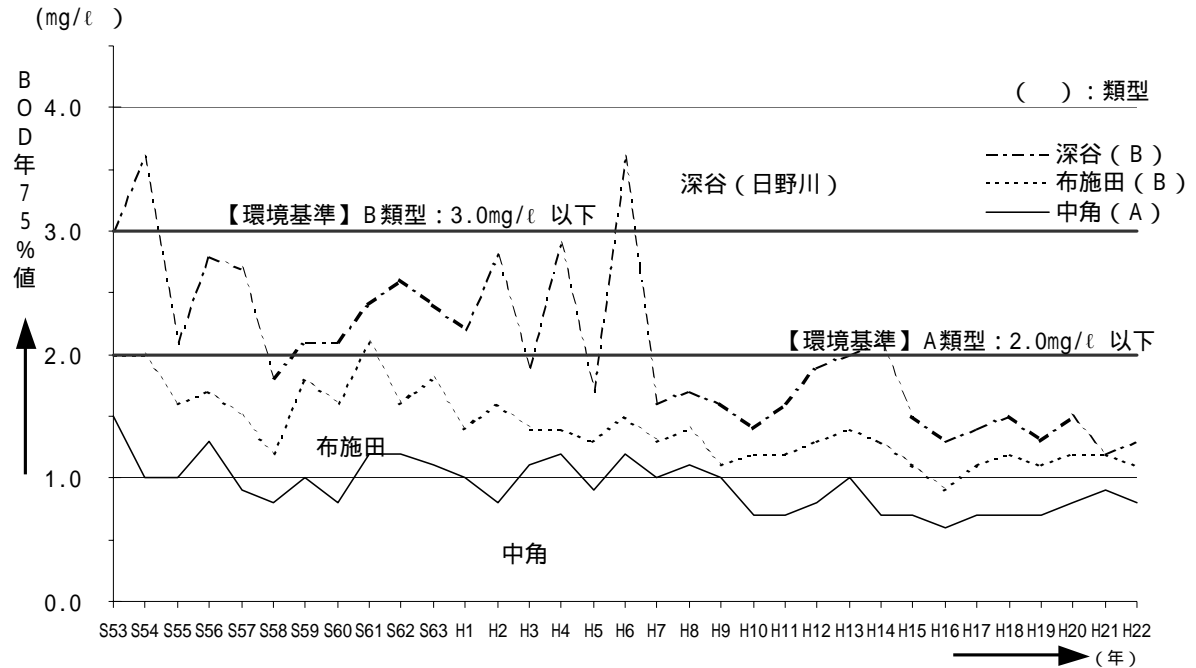


図 - 4.48 九頭竜川水系の環境基準地点の水質経年変化 (BOD75%値)

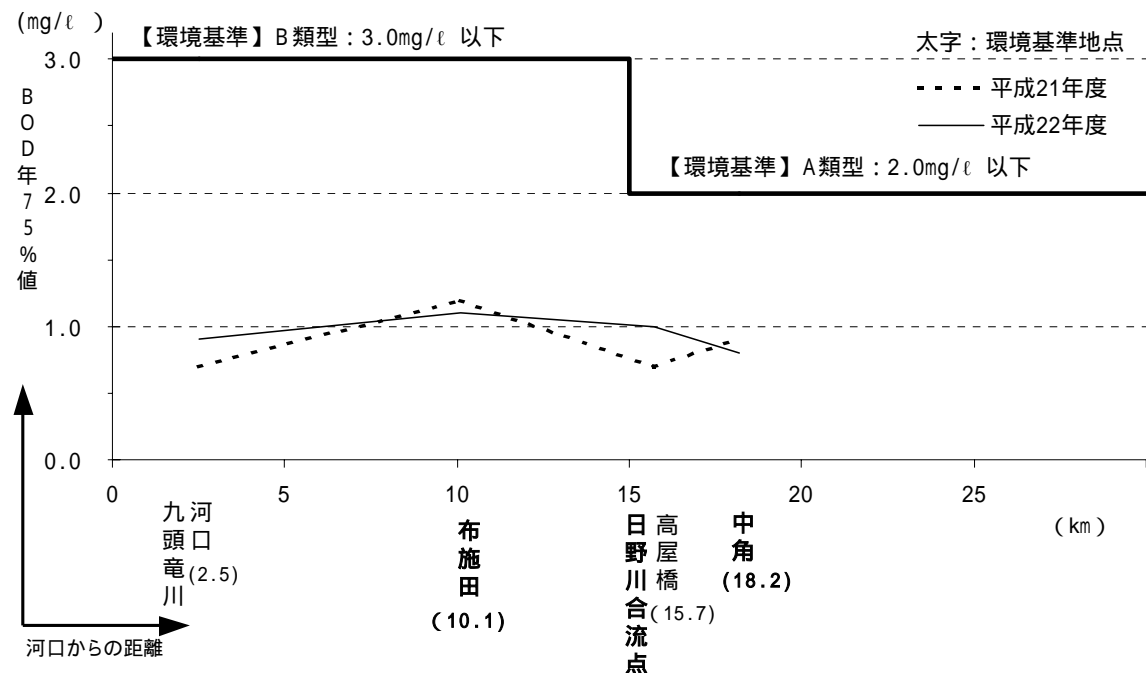


図 - 4.49 九頭竜川の水質縦断図 (BOD75%値)

北 川

たかつか
高塚地点でみると、平成22年のBOD75%値は 0.5mg/ℓであり、環境基準（A類型:2.0mg/ℓ以下）を満足する水質を維持している。

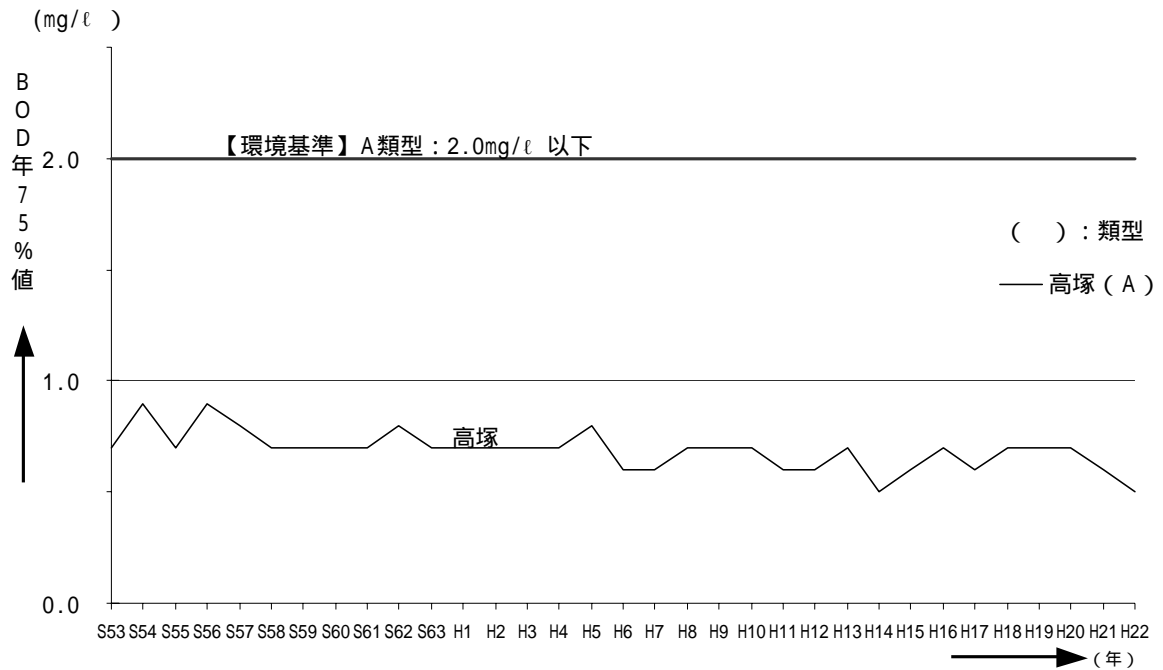


図 - 4.50 北川水系の環境基準地点の水質経年変化 (B O D75%値)

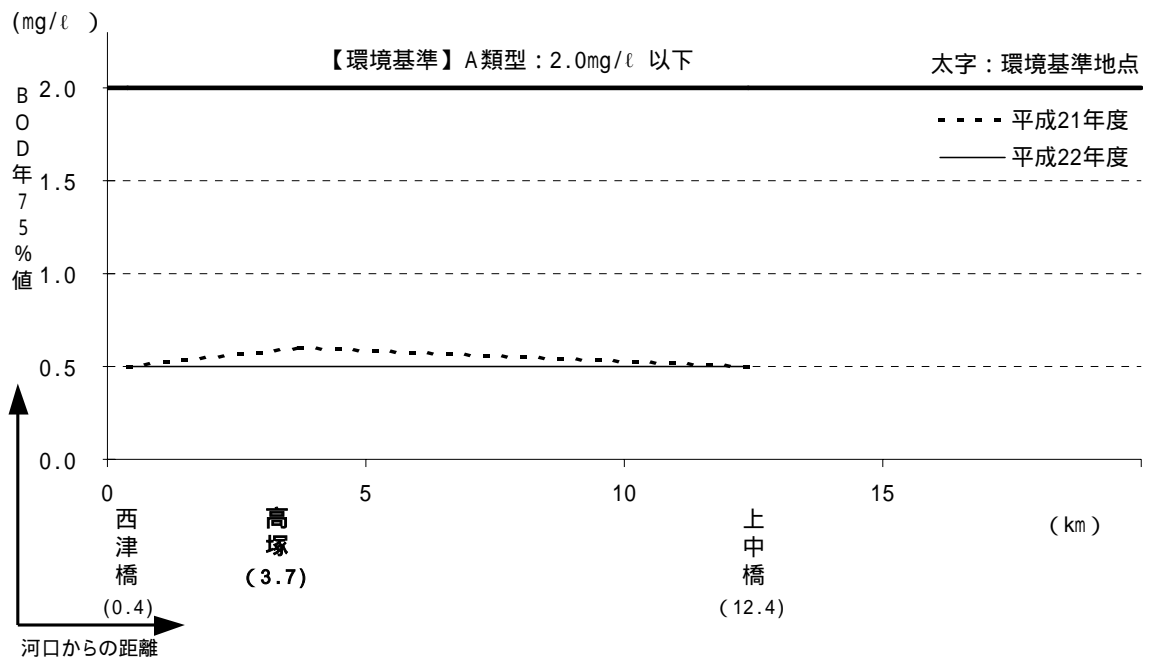


図 - 4.51 北川の水質縦断図 (B O D75%値)

由良川

波美橋地点でみると、平成22年のBOD75%値は 0.8mg/ℓ であり、環境基準（A類型：2.0mg/ℓ以下）を満足する水質を維持している。

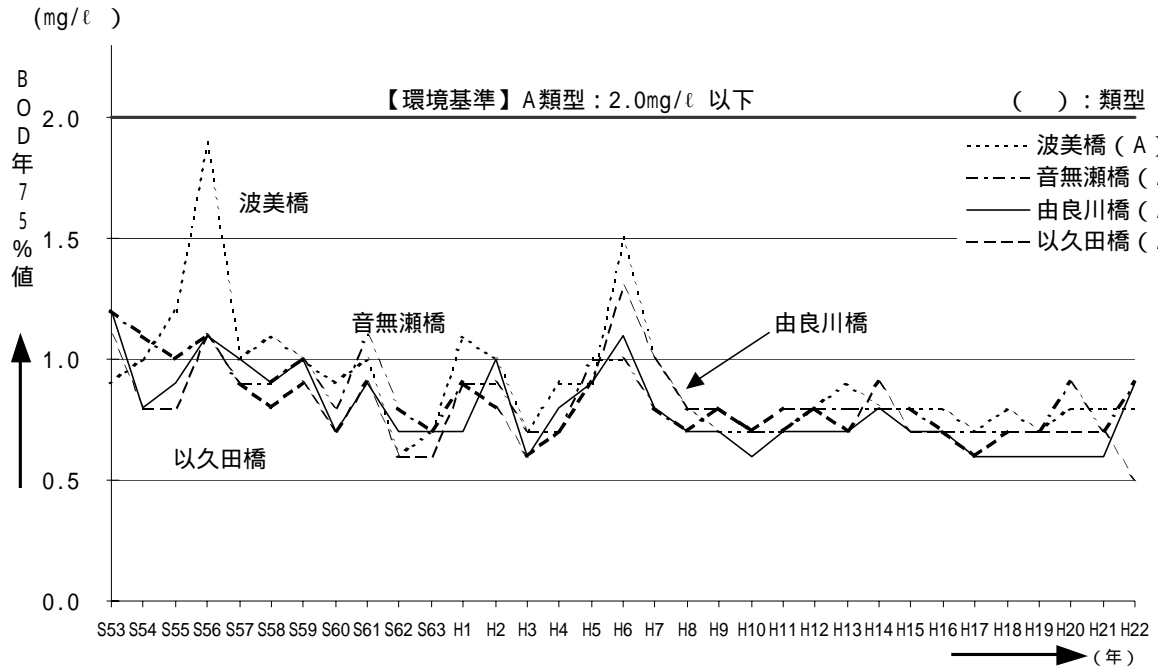


図 - 4.52 由良川水系（由良川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

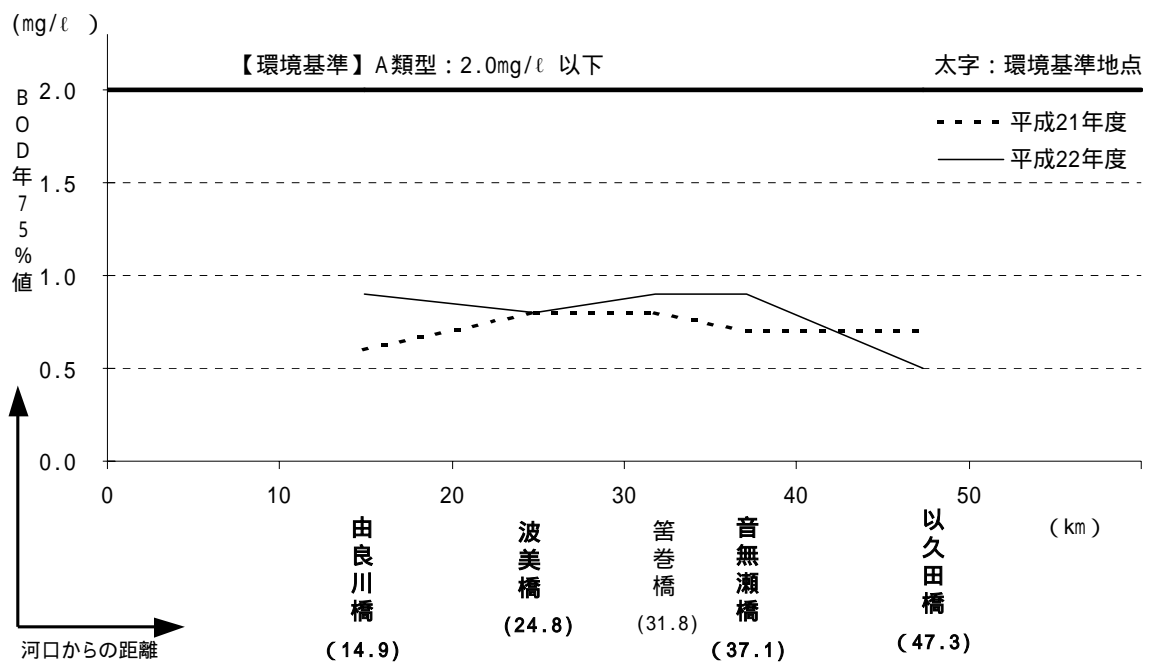


図 - 4.53 由良川の水質縦断図（BOD75%値）

円山川

立野地点でみると、平成22年のBOD75%値は 0.6mg/ℓであり、環境基準（B類型:3.0 mg/ℓ以下）を満足する水質を維持している。

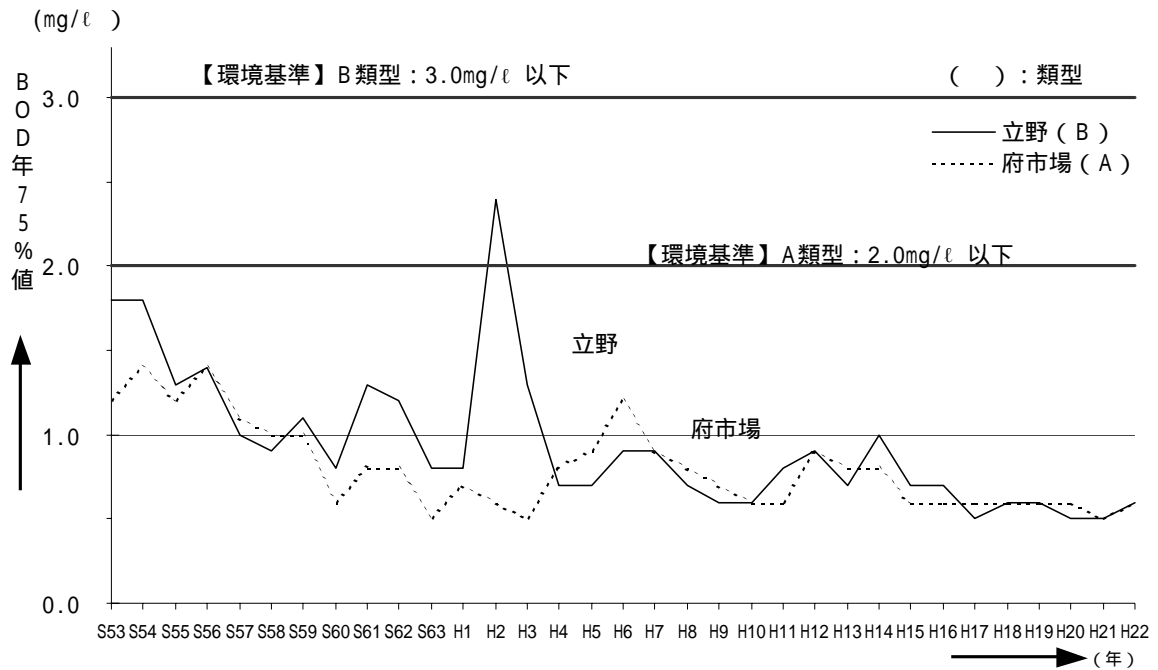


図 - 4.54 円山川水系の水質経年変化 (BOD75%値)

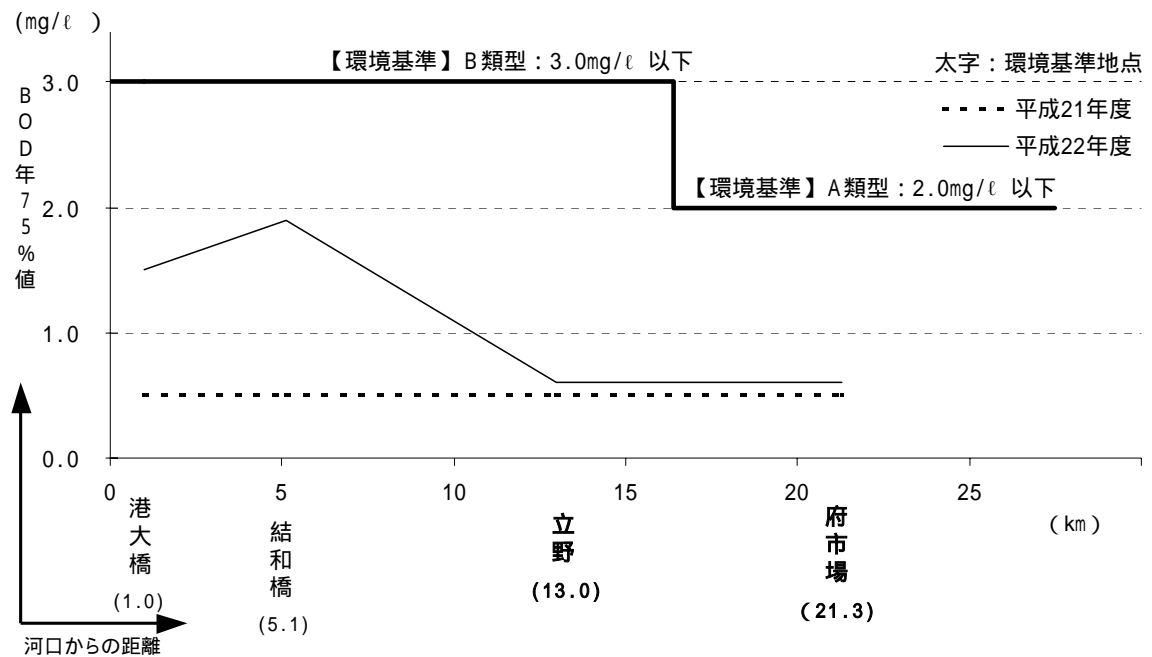


図 - 4.55 円山川の水質縦断図 (BOD75%値)

5. 新しい水質指標について

5.1 新しい水質指標の概要

新しい水質指標は、①人と河川の豊かなふれあいの確保、②豊かな生態系の確保、③利用しやすい水質の確保、④下流域や滞留域への影響の少ない水質の確保、の4つの視点からなり、河川水質の確保すべき機能に関連する指標項目を表-5.1のとおり設定している。

表-5.1 今後の河川水質管理の指標項目

河川の水質管理の視点	今後の河川水質管理の指標項目【案】	
	住民との協働による測定項目	河川管理者による測定項目
人と河川の豊かなふれあいの確保	ゴミの量、透視度、川底の感触、水の臭い , DO(※1), COD(※1)	糞便性大腸菌群数 , SS, BOD, DO, 濁度, T-N, T-P, 河床付着物のクロロフィルa
豊かな生態系の確保	水生生物の生息 , 水温, pH(※1), DO(※1), COD(※1), NH4-N(※1)	DO, NH4-N , 水生生物の生息, pH, BOD, SS, T-N, T-P
利用しやすい水質の確保	-	トリハロメタン生成能, 2-MIB, ジオスミン, NH4-N , pH, SS, 濁度, TOC, 糞便性大腸菌群数
下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保	PO4(※1)	T-N, T-P

太字は水質管理上重点的に評価を行う項目を示す。

(※1)パック方式などの簡易な方法による測定を行う項目。

5.2 近畿地方整備局管内の調査地点について

近畿地方整備局管内では、10水系53地点において調査を実施し、このうち、20地点において住民との協働により調査を実施している。各水系別の調査地点数を表-5.2に示す。

表-5.2 水系別調査地点数

	新宮川水系	紀の川水系	大和川水系	淀川水系	加古川水系	揖保川水系	円山川水系	由良川水系	北川水系	九頭竜川水系	計
人と河川の豊かなふれあいの確保	1 (1)	2 (2)	4 (4)	12 (5)	1 (1)	1 (1)	2 (0)	1 (1)	3 (3)	2 (2)	29 (20)
豊かな生態系の確保	1 (1)	2 (2)	4 (4)	8 (5)	1 (1)	1 (1)	5 (0)	1 (1)	3 (3)	2 (2)	28 (20)
利用しやすい水質の確保	0 -	7 -	0 -	15 -	2 -	2 -	1 -	1 -	0 -	0 -	28 -

※下段()書きは、調査地点数のうち、住民との協働調査実施地点数。

5.3 平成22年調査結果

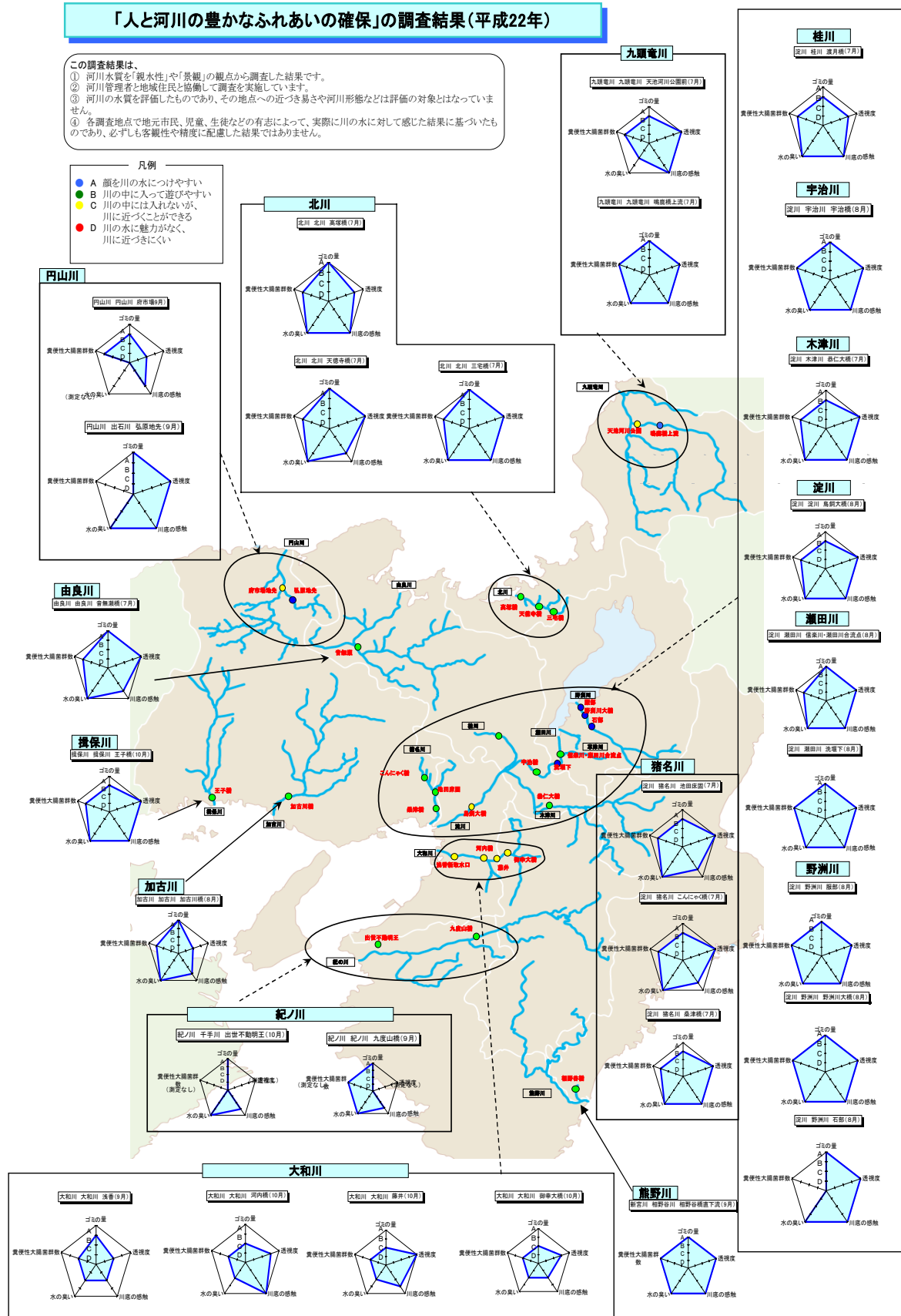


図-5.1 「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点による調査結果

表-5.3 「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点による評価結果一覧

地点番号	水系名	河川名	調査地点名	調査日	水質管理上重点的に評価を行う項目							地点評価	地点の年間評価
					糞便性大腸菌群数		住民との協働による測定						
					測定値 (個/100mL)	評価	ゴミの量	透視度		川底の 感触	水の におい		
								測定値 (cm)	評価				
1	新宮川	相野谷川	相野谷橋下流	H22.9.25	65	A	A	>100	A	A	A	A	A
2	紀の川	紀の川	九度山橋	H22.9.4	29	A	A			B	A	B	B
3	紀の川	千手川	出世不動明王	H22.10.2			A			B	A	B	B
4	大和川	大和川	浅香	H22.9.9	2100	C	B	64	C	C	C	C	C
5	大和川	大和川	河内橋	H22.10.15	9800	C	C	85	B	A	C	C	C
6	大和川	大和川	藤井	H22.10.22	6600	C	C	>100	A	B	C	C	C
7	大和川	大和川	御幸大橋	H22.10.8	9600	C	C	99	B	C	C	C	C
8	淀川	淀川	鳥飼大橋	H22.8.26	1000	B	B	>100	A	A	A	B	B
9	淀川	宇治川	宇治橋	H22.8.20	14	A	A	>100	A	A	A	A	A
10	淀川	瀬田川	信楽川・瀬田川合流点	H22.5.13	80	A	A	>100	A	A	A	A	B
				H22.8.5	560	B	A	>100	A	A	A	B	
				H22.11.11	400	B	A	>100	A	A	A	B	
11	淀川	瀬田川	洗堰下	H22.5.13	24	A	A	>100	A	A	A	A	A
				H22.8.5	32	A	A	>100	A	A	A	A	
				H22.11.11	9	A	A	>100	A	A	A	A	
12	淀川	野洲川	服部	H22.5.18	10	A	A	>100	A	A	A	A	A
				H22.8.5	77	A	A	>100	A	A	A	A	
				H22.11.11	6	A	A	>100	A	A	A	A	
13	淀川	野洲川	野洲川大橋	H22.5.18	13	A	A	>100	A	A	A	A	A
				H22.8.5	23	A	A	>100	A	A	A	A	
				H22.11.11	25	A	A	>100	A	A	A	A	
14	淀川	野洲川	石部	H22.5.18			A	>100	A	A	A	A	A
				H22.8.5			A	>100	A	A	A	A	
				H22.11.11			A	>100	A	A	A	A	
15	淀川	桂川	渡月橋	H22.7.23	820	B	B	88.5	B	A	A	B	B
16	淀川	木津川	加茂恭仁大橋	H22.7.29	180	B	B	>100	A	A	A	B	B
17	淀川	猪名川	桑津橋	H22.7.25	110	B	B	>100	A	A	A	B	B
18	淀川	猪名川	池田床固	H22.7.25	360	B	B	>100	A	B	A	B	B
19	淀川	猪名川	こんにやく橋	H22.7.25	280	B	B	>100	A	B	A	B	B
20	加古川	加古川	加古川橋	H22.8.19	120	B	A	65	C	B	A	C	C
21	揖保川	揖保川	王子橋	H22.10.6	240	B	B	>100	A	A	A	B	B
22	円山川	円山川	府市場地先	H22.9.15	460	B	B	63	C	B		C	C
23	円山川	出石川	弘原地先	H22.9.15			A	>100	A	A	A	A	A
24	由良川	由良川	音無瀬	H22.7.21	130	B	A	>100	A	B	A	B	B
25	北川	北川	高塚橋	H22.7.30	300	B	A	92	B	A	A	B	B
26	北川	北川	天徳寺橋	H22.7.30	210	B	A	>100	A	B	A	B	B
27	北川	北川	三宅橋	H22.7.30	210	B	A	>100	A	A	A	B	B
28	九頭竜川	九頭竜川	天池河川公園前	H22.7.28	600	B	B	>100	A	A	C	C	C
29	九頭竜川	九頭竜川	鳴鹿橋上流	H22.7.28	69	A	A	>100	A	A	A	A	A

表-5.4 「豊かな生態系の確保」の視点による評価結果一覧

地点番号	水系名	河川名	調査地点名	調査日	水質管理上重点的に評価を行う項目						地点評価	地点の年間評価
					DO		NH4-N		住民との協働による測定			
					測定値 (mg/L)	評価	測定値 (mg/L)	評価	測定値	評価		
1	新宮川	相野谷川	相野谷橋下流	H22.9.25	8.8	A	<0.02	A	I	A	A	A
2	紀の川	紀の川	九度山橋	H22.9.4	6	B	0.01	A	II	B	B	B
3	紀の川	千手川	出世不動明王	H22.10.2	8	A			I	A	A	A
4	大和川	大和川	浅香	H22.9.9	8.9	A	<0.10	A	II	B	B	B
5	大和川	大和川	河内橋	H22.10.15	8.2	A	0.06	A	II	B	B	B
6	大和川	大和川	藤井	H22.10.22	8.1	A	0.08	A	III	C	C	C
7	大和川	大和川	御幸大橋	H22.10.8	8.3	A	0.05	A	III	C	C	C
8	淀川	淀川	鳥飼大橋	H22.8.26	7.3	A	0.03	A	III	C	C	C
9	淀川	宇治川	宇治橋	H22.8.20	7.5	A	0.03	A	II	B	B	B
10	淀川	宇治川	大峰橋	H22.1.6	12	A	<0.01	A			A	A
				H22.2.17	11.8	A	0.03	A			A	
				H22.3.19	11.9	A	0.02	A			A	
				H22.4.26	10.7	A	<0.01	A			A	
				H22.5.14	9.3	A	0.04	A			A	
				H22.6.4	10.6	A	<0.01	A			A	
				H22.7.23	8.1	A	0.02	A			A	
				H22.8.4	7.5	A	0.01	A			A	
				H22.9.15	7.2	A	0.04	A			A	
				H22.10.20	8.1	A	0.02	A			A	
H22.11.10	9.2	A	<0.01	A			A					
H22.12.8	9.3	A	0.04	A			A					
11	淀川	桂川	渡月橋	H22.7.23	8.5	A	0.02	A	II	B	B	B
12	淀川	木津川	加茂恭仁大橋	H22.7.29	8.5	A	<0.01	A	II	B	B	B
13	淀川	猪名川	桑津橋	H22.7.25	7.2	A	<0.01	A	II	B	B	B
14	淀川	猪名川	池田床固	H22.7.25	7.3	A	<0.01	A	II	B	B	B
15	淀川	猪名川	こんにやく橋	H22.7.25	8.4	A	<0.01	A	II	B	B	B
16	加古川	加古川	加古川橋	H22.8.19	7.4	A	0.01	A	II	B	B	B
17	揖保川	揖保川	王子橋	H22.10.6	8	A	0.02	A	II	B	B	B
18	円山川	円山川	港大橋地先	H22.5.12	7.8	A	0.05	A			A	A
				H22.8.4	7.3	A	<0.01	A			A	
19	円山川	円山川	結和橋地先	H22.5.12	9	A	0.24	B			B	B
				H22.8.4	6.9	B	0.02	A			B	
20	円山川	円山川	立野地先	H22.5.12	9	A	0.05	A			A	B
				H22.8.4	6.2	B	0.04	A			B	
21	円山川	円山川	府市場地先	H22.9.15	8.3	A			I	A	A	A
22	円山川	出石川	弘原地先	H22.9.15					I	A	A	A
23	由良川	由良川	音無瀬	H22.7.21	8.5	A			I	A	A	A
24	北川	北川	高塚橋	H22.7.30	8.1	A	0.02	A	II	B	B	B
25	北川	北川	天徳寺橋	H22.7.30					II	B	B	B
26	北川	北川	三宅橋	H22.7.30					I	A	A	A
27	九頭竜川	九頭竜川	天池河川公園前	H22.7.28	8.4	A	0.02	A	I	A	A	A
28	九頭竜川	九頭竜川	鳴鹿橋上流	H22.7.28	8.9	A	0.02	A	II	B	B	B

「利用しやすい水質の確保」の調査結果（平成22年）

この調査結果は、
 ① 河川水質を「上水利用」などの観点から河川管理者が行った水質調査の結果です。
 ② 河川の水質を評価したものであり、その地点の水量や河川形態などは評価の対象とはなっていません。

凡例
 地点の年間評価
 ● A より利用しやすい
 ● B 利用しやすい
 ● C 利用するためには高度な処理が必要

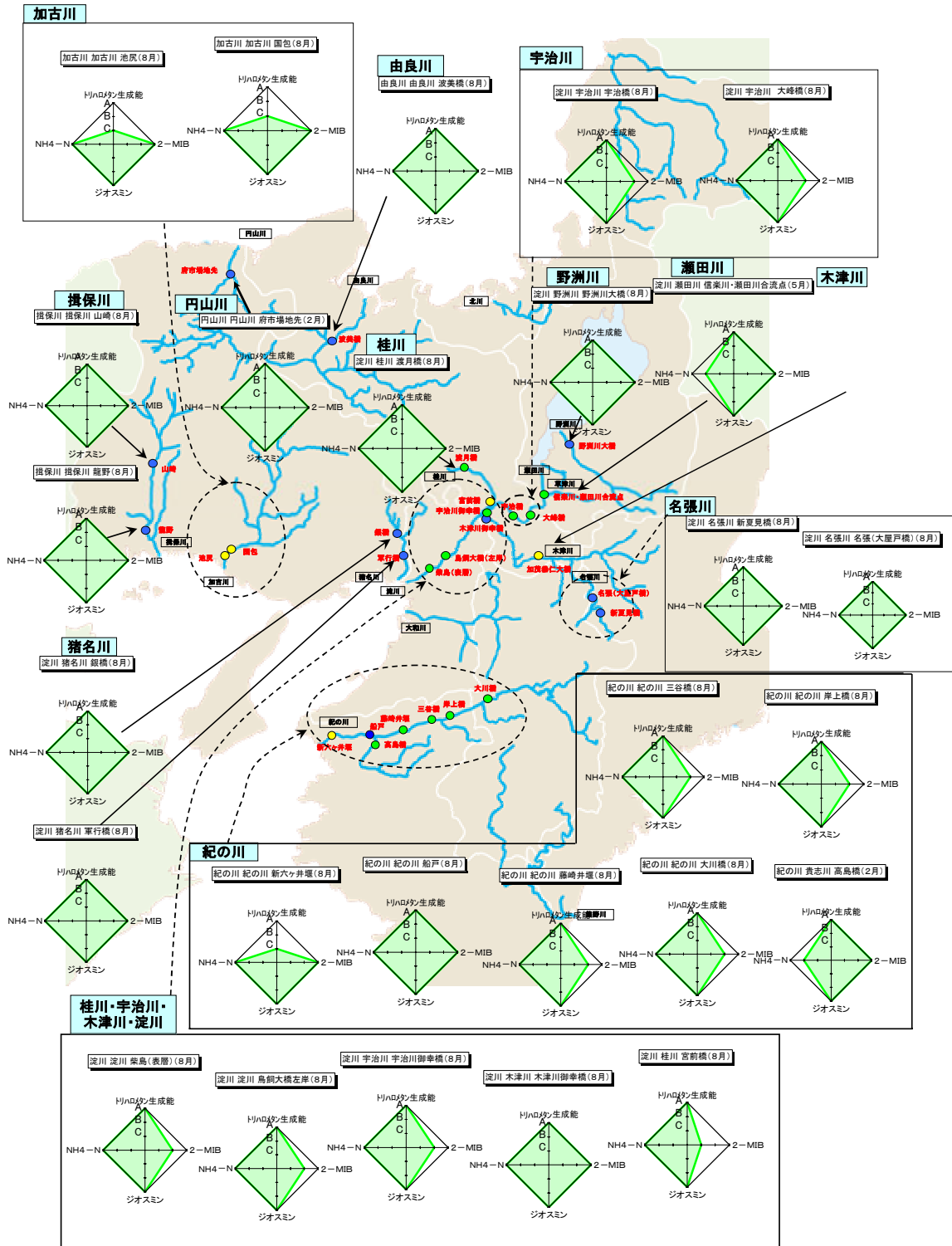


図-5.3 「利用しやすい水質の確保」の視点による調査結果

表-5.5.1 「利用しやすい水質の確保」の視点による評価結果一覧

地点番号	水系名	河川名	調査地点名	調査日	調査結果データ								地点評価	地点の年間評価
					河川管理者による測定									
					水質管理上重点的に評価を行う項目									
					トリハロメタン生成能		2-MIB		ジオスミン		NH4-N			
測定値(μg/L)	評価	測定値(μg/L)	評価	測定値(μg/L)	評価	測定値(μg/L)	評価							
1	紀の川	紀の川	新六ヶ井堰	H22.2.17	39	A	<1	A	2	A	0.07	A	C	
				H22.5.12	56	A	2	A	<1	A	0.12	B		
				H22.8.4	112	C	4	A	5	A	0.05	A		
				H22.11.10	35	A	<1	A	<1	A	0.03	A		
2	紀の川	紀の川	船戸	H22.2.17	43	A	<1	A	2	A	0.04	A	A	
				H22.5.12	47	A	2	A	<1	A	0.04	A		
				H22.8.4	67	A	4	A	4	A	0.05	A		
				H22.11.10	38	A	<1	A	<1	A	<0.01	A		
3	紀の川	紀の川	藤崎井堰	H22.2.17	34	A	<1	A	2	A	0.02	A	B	
				H22.5.12	43	A	3	A	<1	A	0.02	A		
				H22.8.4	50	A	7	B	<1	A	0.02	A		
				H22.11.10	39	A	<1	A	<1	A	0.02	A		
4	紀の川	紀の川	三谷橋	H22.2.17	33	A	<1	A	1	A	0.02	A	B	
				H22.5.12	45	A	3	A	<1	A	0.01	A		
				H22.8.4	47	A	7	B	<1	A	0.01	A		
				H22.11.10	26	A	<1	A	<1	A	<0.01	A		
5	紀の川	紀の川	岸上橋	H22.2.17	34	A	1	A	2	A	0.03	A	B	
				H22.5.12	48	A	4	A	<1	A	0.02	A		
				H22.8.4	46	A	11	B	<1	A	0.01	A		
				H22.11.10	33	A	<1	A	<1	A	<0.01	A		
6	紀の川	紀の川	大川橋	H22.2.17	25	A	2	A	2	A	0.02	A	B	
				H22.5.12	40	A	6	B	<1	A	0.01	A		
				H22.8.4	39	A	20	B	<1	A	0.01	A		
				H22.11.10	24	A	1	A	1	A	<0.01	A		
7	紀の川	貴志川	高島橋	H22.2.17	43	A	<1	A	2	A	0.15	B	B	
				H22.5.12	65	A	1	A	<1	A	0.03	A		
				H22.8.4	91	A	3	A	7	A	0.07	A		
				H22.11.10	54	A	<1	A	<1	A	0.05	A		
8	淀川	淀川	柴島(表層)	H22.2.17	50	A		A		A	0.10	A	B	
				H22.5.12	56	A		A		A	0.08	A		
				H22.8.4	76	A	9	B	6	A	0.02	A		
9	淀川	淀川	鳥飼大橋(左岸)	H22.2.17	50	A		A		A	0.08	A	B	
				H22.5.12	56	A		A		A	0.06	A		
				H22.8.4	62	A	11	B	6	A	0.03	A		
10	淀川	宇治川	宇治川御幸橋	H22.2.16	43	A		A		A	0.05	A	B	
				H22.5.11	47	A		A		A	0.05	A		
				H22.8.3	55	A	8	B	6	A	0.03	A		
11	淀川	宇治川	宇治橋	H22.2.16	38	A		A		A	0.03	A	B	
				H22.5.11	41	A		A		A	0.03	A		
				H22.8.3	45	A	7	B	6	A	0.03	A		
12	淀川	宇治川	大峰橋	H22.8.4	67	A	7	B	5	A	0.01	A	B	
13	淀川	瀬田川	信楽川・瀬田川合流点	H22.5.13	41	A	<1	A	<1	A	0.12	B	B	
				H22.8.5	58	A	<1	A	<1	A	0.03	A		
				H22.11.11	35	A	<1	A	<1	A	<0.01	A		
14	淀川	野洲川	野洲川大橋	H22.5.18	69	A	<1	A	<1	A	<0.01	A	A	
				H22.11.11	38	A	<1	A	<1	A	<0.01	A		

表-5.5.2 「利用しやすい水質の確保」の視点による評価結果一覧

地点番号	水系名	河川名	調査地点名	調査日	調査結果データ								地点評価	地点の年間評価
					河川管理者による測定									
					水質管理上重点的に評価を行う項目									
					トリハロメタン生成能		2-MIB		ジオスミン		NH4-N			
測定値 ($\mu\text{g/L}$)	評価	測定値 ($\mu\text{g/L}$)	評価	測定値 ($\mu\text{g/L}$)	評価	測定値 ($\mu\text{g/L}$)	評価							
15	淀川	桂川	宮前橋	H22.2.16	52	A		A		A	0.11	B	B	C
				H22.5.11	47	A		A		A	0.09	A	A	
				H22.8.3	85	A	35	C	9	A	0.06	A	C	
16	淀川	桂川	渡月橋	H22.2.16	45	A		A		A	0.11	B	B	B
				H22.5.11	36	A		A		A	0.04	A	A	
				H22.8.3	53	A	<1	A	3	A	0.02	A	A	
17	淀川	木津川	木津川御幸橋	H22.2.16	67	A		A		A	0.09	A	A	A
				H22.5.11	76	A		A		A	0.01	A	A	
				H22.8.3	85	A	2	A	<1	A	<0.01	A	A	
18	淀川	木津川	加茂恭仁大橋	H22.2.16	67	A		A		A	0.11	B	B	C
				H22.5.11	85	A		A		A	0.05	A	A	
				H22.8.3	119	C	4	A	3	A	<0.01	A	C	
19	淀川	名張川	名張(大屋戸橋)	H22.2.3	35	A	<1	A	1	A	0.04	A	A	A
				H22.5.19	59	A	<1	A	<1	A	0.03	A	A	
				H22.8.4	69	A	4	A	4	A	0.03	A	A	
				H22.11.10	58	A	<1	A	1	A	0.01	A	A	
20	淀川	名張川	新夏見橋	H22.2.3	31	A	<1	A	<1	A	0.02	A	A	A
				H22.5.19	51	A	<1	A	<1	A	<0.01	A	A	
				H22.8.4	60	A	4	A	3	A	0.02	A	A	
				H22.11.10	62	A	<1	A	2	A	<0.01	A	A	
21	淀川	猪名川	軍行橋	H22.2.4	57	A	<1	A	1	A	<0.01	A	A	A
				H22.5.11	62	A	<1	A	<1	A	0.01	A	A	
				H22.8.3	81	A	<1	A	2	A	0.01	A	A	
				H22.11.9	60	A	<1	A	<1	A	<0.01	A	A	
22	淀川	猪名川	銀橋	H22.2.4	48	A		A		A	0.01	A	A	A
				H22.5.11	66	A		A		A	<0.01	A	A	
				H22.8.3	87	A		A		A	<0.01	A	A	
				H22.11.9	66	A		A		A	<0.01	A	A	
23	加古川	加古川	池尻	H22.2.3	78	A		A		A	0.02	A	A	C
				H22.5.12	77	A		A		A	<0.01	A	A	
				H22.8.4	137	C		A		A	0.02	A	C	
				H22.11.10	79	A		A		A	<0.01	A	A	
24	加古川	加古川	国包	H22.2.3	86	A		A		A	0.03	A	A	C
				H22.5.12	72	A		A		A	0.02	A	A	
				H22.8.4	144	C		A		A	0.08	A	C	
				H22.11.10	82	A		A		A	<0.01	A	A	
25	揖保川	揖保川	龍野	H22.2.3	17	A		A		A	0.02	A	A	A
				H22.5.12	32	A		A		A	<0.01	A	A	
				H22.8.4	38	A		A		A	0.04	A	A	
				H22.11.10	26	A		A		A	<0.01	A	A	
26	揖保川	揖保川	山崎	H22.2.3	16	A		A		A	<0.01	A	A	A
				H22.5.12	28	A		A		A	<0.01	A	A	
				H22.8.4	34	A		A		A	0.02	A	A	
				H22.11.10	27	A		A		A	<0.01	A	A	
27	円山川	円山川	府市場地先	H22.02.03	31	A		A		A	0.04	A	A	A
28	由良川	由良川	波美橋	H22.2.3	28	A		A		A	0.04	A	A	A
				H22.5.12	57	A		A		A	0.05	A	A	
				H22.8.4	61	A		A		A	0.01	A	A	
				H22.11.10	37	A		A		A	<0.01	A	A	

6. 平成22年度ダイオキシン類及び内分泌かく乱物質実態調査結果

6.1 ダイオキシン類の調査地点

平成11年度以降、ダイオキシン類について継続的に調査を実施してきており、近畿地方整備局管内では10水系54地点において実施している。水系ごとの調査地点数を表-6.1示す。

基準監視地点・・・水系の順流最下流地点の環境基準点や流域の特性等を考慮して設定している地点

補助監視地点・・・基準監視地点での調査を補完することを目的とし、過去の調査経緯や濃度が比較的高濃度となる可能性が高い地点

表-6.1 水系別の調査地点数

水系名 地点の種別	新宮川水系	紀の川水系	大和川水系	淀川水系	加古川水系	揖保川水系	円山川水系	由良川水系	北川水系	九頭竜川水系	計
基準監視地点	1 (1)	1 (1)	1 (1)	4 (4)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	13 (13)
補助監視地点	2 (2)	2 (3)	4 (7)	1 (19)	2 (2)	0 (1)	1 (1)	1 (2)	0 (1)	0 (3)	13 (41)
水系計	3 (3)	3 (4)	5 (8)	5 (23)	3 (3)	1 (2)	2 (2)	2 (3)	1 (2)	1 (4)	26 (54)

上段：平成22年度調査地点数
(下段)：各水系における調査地点数

6.2 ダイオキシン類の調査頻度

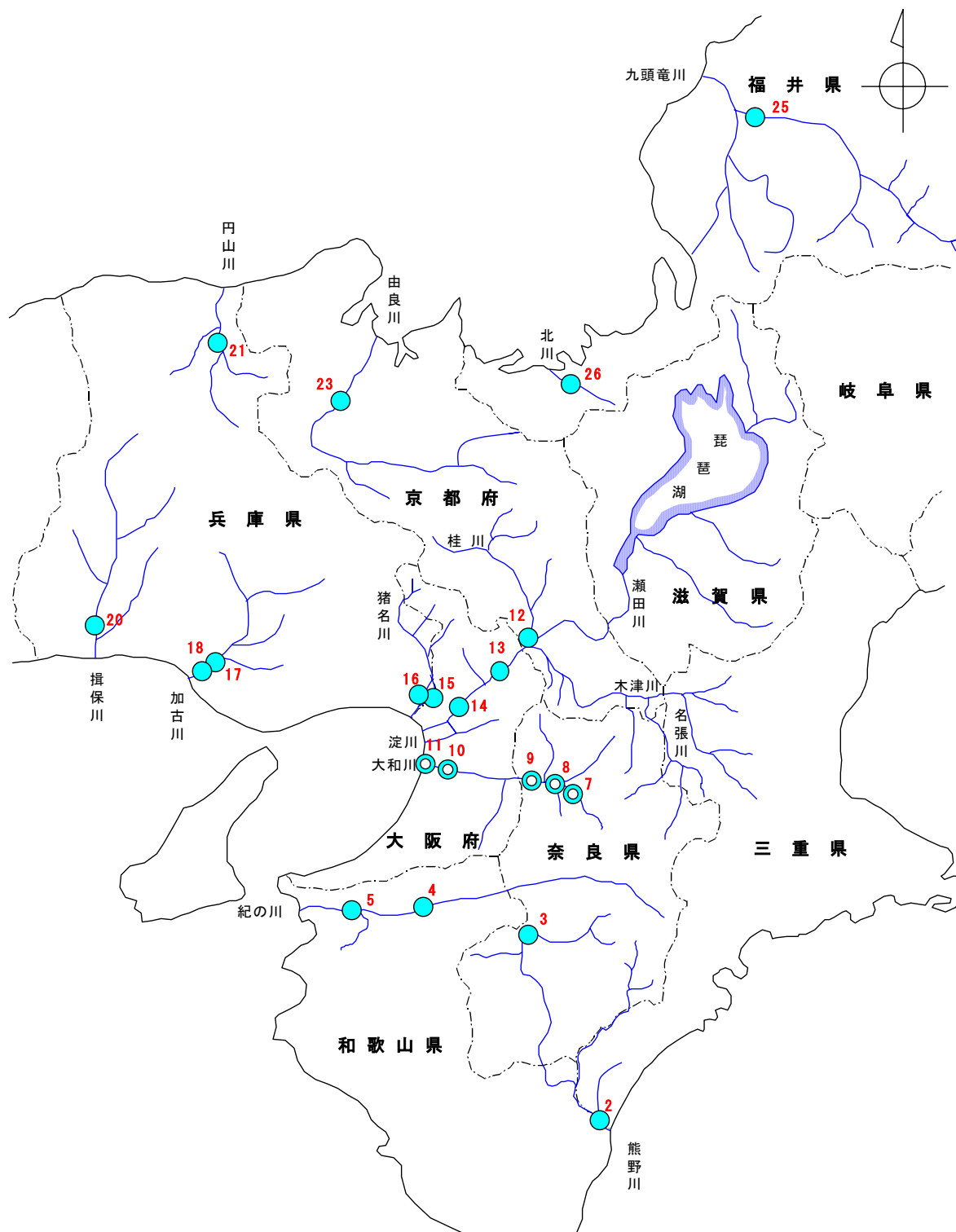
各地点における調査については、原則として年1回水質と底質を同時に調査している。また、要監視濃度(環境基準値の1/2)を超過する地点については重点監視状態にある地点(重点監視地点)として重点的に調査を行うこととしている。調査頻度の考え方は表-6.2のとおりである。また、平成22年度当初時点における各水系における重点監視地点の内訳を表-6.3に示す。

表-6.2 地点の種別による調査頻度

地点の種別	調査頻度	備考
基準監視地点	1回/年	—
補助監視地点	1回/3年	—
重点監視地点	4回/年	過去の調査において要監視濃度を超過し、その後の調査で8回連続して要監視濃度を下回っていない地点。

表-6.3 各水系における重点監視地点(平成22年度当初時点)

水系名 地点の種別	新宮川水系	紀の川水系	大和川水系	淀川水系	加古川水系	揖保川水系	円山川水系	由良川水系	北川水系	九頭竜川水系	計
重点監視地点数	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5
調査地点数	3	3	5	5	3	1	2	2	1	1	26



凡例	
環境基準値を超える地点	●
要監視濃度（環境基準値の1/2）を超える地点	●
要監視濃度（環境基準値の1/2）以下の地点	●
重点監視地点（重点調査地点）	◎

複数回の調査を実施した地点は年平均値で作成

図-6.1 平成22年度ダイオキシン類（水質）調査結果

表-6.4 平成22年度ダイオキシン類調査結果一覧表

地点番号	水系名	河川名	調査地点名	地点の種別		調査時期	ダイオキシン類(水質)				ダイオキシン類(底質)							
				基準監視地点 補助監視地点の別	重点監視地点 (※1)		PCDDs + PCDFs	Co-PCB	TOTAL	評価値 (平均値)	PCDDs + PCDFs	Co-PCB	TOTAL	評価値 (最大値)				
					水質										底質	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L	pg-TEQ/g
1	新宮川	熊野川	熊野川河口	補助		秋期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	新宮川	熊野川	熊野大橋	基準		秋期	0.066	0.0046	0.070	0.070	0.81	0.016	0.82	0.82	0.82	0.82	0.82	0.82
3	新宮川	熊野川	猿谷ダム湖中央	補助		秋期	0.063	0.0046	0.067	0.067	6.8	0.59	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4
4	紀の川	紀の川	藤崎井堰	補助		秋期	0.075	0.0047	0.080	0.080	0.30	0.025	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32
5	紀の川	紀の川	船戸	基準		秋期	0.12	0.0048	0.13	0.13	0.25	0.014	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26
6	紀の川	紀の川	紀の川大橋	補助		秋期	—	—	—	—	3.7	0.51	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
7	大和川	大和川	上吐田	補助	○	春期	0.32	0.018	0.34	0.29	1.1	0.056	1.1	1.1				
						夏期	0.42	0.012	0.43		0.30	0.014	0.32					
						秋期	0.12	0.0049	0.12		0.98	0.045	1.0					
						冬期	0.24	0.013	0.26		0.51	0.034	0.54					
8	大和川	大和川	太子橋	補助	○	春期	0.19	0.013	0.20	0.35	0.24	0.014	0.26	0.49				
						夏期	0.55	0.018	0.57		0.46	0.036	0.49					
						秋期	0.48	0.019	0.50		0.25	0.014	0.26					
						冬期	0.11	0.012	0.12		0.39	0.015	0.41					
9	大和川	大和川	藤井	補助	○	春期	0.23	0.025	0.25	0.44	0.22	0.013	0.23	0.38				
						夏期	1.0	0.070	1.1		0.23	0.013	0.24					
						秋期	0.25	0.022	0.27		0.22	0.013	0.23					
						冬期	0.12	0.014	0.13		0.33	0.044	0.38					
10	大和川	大和川	遠里小野橋 中	基準	○	春期	0.17	0.017	0.19	0.25	0.21	0.014	0.23	0.32				
						夏期	0.58	0.052	0.63		0.31	0.014	0.32					
						秋期	0.085	0.0095	0.095		0.23	0.014	0.25					
						冬期	0.080	0.0050	0.085		0.25	0.017	0.26					
11	大和川	大和川	河口部 中	補助	○	春期	0.14	0.015	0.16	0.28	0.23	0.014	0.24	0.28				
						夏期	0.67	0.064	0.73		0.26	0.024	0.28					
						秋期	0.11	0.0095	0.12		0.24	0.014	0.25					
						冬期	0.092	0.0051	0.098		0.25	0.015	0.27					
12	淀川	桂川	宮前橋	補助		秋期	0.071	0.020	0.091	0.091	1.4	0.53	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
13	淀川	淀川	枚方大橋中央	基準		秋期	0.071	0.012	0.083	0.083	0.22	0.014	0.23	0.23	0.23	0.23		
14	淀川	淀川	柴島	基準		秋期	0.13	0.016	0.15	0.15	1.0	0.10	1.1	1.1	1.1	1.1		
15	淀川	猪名川	利倉	基準		秋期	0.070	0.011	0.081	0.081	0.36	0.085	0.44	0.44	0.44	0.44		
16	淀川	濠川	中園橋	基準		秋期	0.086	0.013	0.099	0.099	0.37	0.11	0.48	0.48	0.48			
17	加古川	加古川	国包	補助		秋期	0.072	0.0047	0.076	0.076	1.4	0.045	1.5	1.5	1.5			
18	加古川	加古川	池尻(加古川橋)	基準		秋期	0.077	0.0048	0.082	0.082	0.35	0.013	0.36	0.36	0.36			
19	加古川	加古川	相生橋	補助		秋期	—	—	—	—	2.3	0.18	2.5	2.5	2.5			
20	攝保川	攝保川	上川原(王子橋)	基準		秋期	0.078	0.0085	0.087	0.087	0.51	0.083	0.60	0.60	0.60			
21	円山川	円山川	立野	基準		秋期	0.071	0.0047	0.076	0.076	0.34	0.025	0.36	0.36	0.36			
22	円山川	円山川	港大橋	補助		秋期	—	—	—	—	0.83	0.035	0.87	0.87	0.87			
23	由良川	由良川	波美橋	基準		秋期	0.071	0.0047	0.076	0.076	0.21	0.014	0.23	0.23	0.23			
24	由良川	由良川	由良川橋	補助		秋期	—	—	—	—	0.21	0.013	0.22	0.22	0.22			
25	九頭竜川	九頭竜川	中角	基準		秋期	0.071	0.0047	0.076	0.076	0.21	0.017	0.23	0.23	0.23			
26	北川	北川	高塚	基準		秋期	0.091	0.0046	0.096	0.096	0.21	0.017	0.23	0.23	0.23			

注1: 四捨五入により、(PCDDs+PCDFs)とCo-PCBの和が、Totalと一致しないことがある。
 注2: 黄色のセルは、要監視濃度(環境基準値の1/2(水質:0.50pg-TEQ/L、底質:75pg-TEQ/g))を超えた値を表す。
 赤色のセルは、環境基準値(水質:1pg-TEQ/L、底質:150pg-TEQ/g)を超えた値を表す。
 注3: 水質基準の達成状況は、測定地点ごとに年間平均値により評価する。また、底質基準の達成状況は測定結果ごとに、また測定地点ごとに評価する。
 (※1 重点監視地点とは、過年度の調査で要監視濃度を超えた地点のうち、その後の調査で8回連続して要監視濃度を下回っていない地点。)

表-6.5 平成22年度当初時点における重点監視地点(5地点)の検出濃度の推移(水質)

府県名	水系名	河川名	調査地点	(単位:pg-TEQ/L)															
				平成15年度				平成16年度				平成17年度				平成18年度			
				春期	夏期	秋期	冬期	春期	夏期	秋期	冬期	春期	夏期	秋期	冬期	春期	夏期	秋期	冬期
奈良県	大和川	大和川	上吐田	0.74	0.49	0.75	0.26	0.38	0.61	0.28	0.35	0.48	0.31	0.30	0.68	0.64	0.47	0.87	0.52
奈良県	大和川	大和川	太子橋	0.37	0.60	0.40	0.24	0.29	0.49	0.33	0.28	0.31	0.32	0.53	0.21	0.54	0.37	0.41	0.31
奈良県	大和川	大和川	藤井	0.47	1.1	0.37	0.27	0.42	1.1	0.44	0.26	1.0	0.71	0.35	0.27	0.55	0.47	0.40	0.35
大阪府	大和川	大和川	遠里小野橋 中	0.31	0.52	0.24	0.25	0.39	0.94	0.41	0.36	0.36	0.41	0.29	0.27	0.38	0.26	0.40	0.17
大阪府	大和川	大和川	河口部 中	—	—	—	—	0.53	0.89	0.47	0.54	0.37	0.31	0.18	0.30	0.39	0.33	0.41	0.13
府県名	水系名	河川名	調査地点	平成19年度				平成20年度				平成21年度				平成22年度			
				春期	夏期	秋期	冬期	春期	夏期	秋期	冬期	春期	夏期	秋期	冬期	春期	夏期	秋期	冬期
				奈良県	大和川	大和川	上吐田	0.52	0.36	0.52	0.33	0.60	0.88	0.59	1.40	0.31	0.30	0.41	0.44
奈良県	大和川	大和川	太子橋	0.43	0.50	0.44	0.19	0.49	—	0.67	0.47	1.0	0.38	0.37	0.37	0.20	0.57	0.50	0.12
奈良県	大和川	大和川	藤井	0.54	0.49	0.39	0.20	0.48	0.95	0.57	0.42	0.44	0.42	0.30	0.26	0.25	1.1	0.27	0.13
大阪府	大和川	大和川	遠里小野橋 中	0.56	0.48	0.36	0.17	0.30	0.73	0.47	0.35	0.32	0.28	0.25	0.16	0.19	0.63	0.095	0.085
大阪府	大和川	大和川	河口部 中	0.82	0.30	0.33	0.13	0.28	0.71	0.48	0.31	0.40	0.37	0.21	0.13	0.16	0.73	0.12	0.098

注2: 黄色のセルは、要監視濃度(環境基準値の1/2(水質:0.50pg-TEQ/L、底質:75pg-TEQ/g))を超えた値を表す。
 赤色のセルは、環境基準値(水質:1pg-TEQ/L、底質:150pg-TEQ/g)を超えた値を表す。

6.3 内分泌かく乱物質の調査地点

平成10年度以降（一部は平成12年度以降）、内分泌かく乱物質について調査を実施してきており、近畿地方整備局管内では、10水系18地点について調査を実施している。各水系ごとの調査地点数を表-6.6に示す。

表-6.6 水系別の調査地点数

水系名	新宮川水系	紀の川水系	大和川水系	淀川水系	加古川水系	揖保川水系	円山川水系	由良川水系	北川水系	九頭竜川水系	計
地点数	1 (1)	1 (1)	1 (1)	6 (9)	0 (1)	1 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	10 (18)

上段：平成22年度調査地点数
 (下段)：各水系における調査地点数

6.4 内分泌かく乱物質の調査結果

各項目ごとに調査頻度については、表-6.7に示すとおりである。また、過去の調査において国土交通省河川局が定めている重点調査濃度を超過した項目については、重点的に調査を行うこととしている。また、平成22年度当初時点における項目別の重点調査地点の一覧を表-6.8に示す。

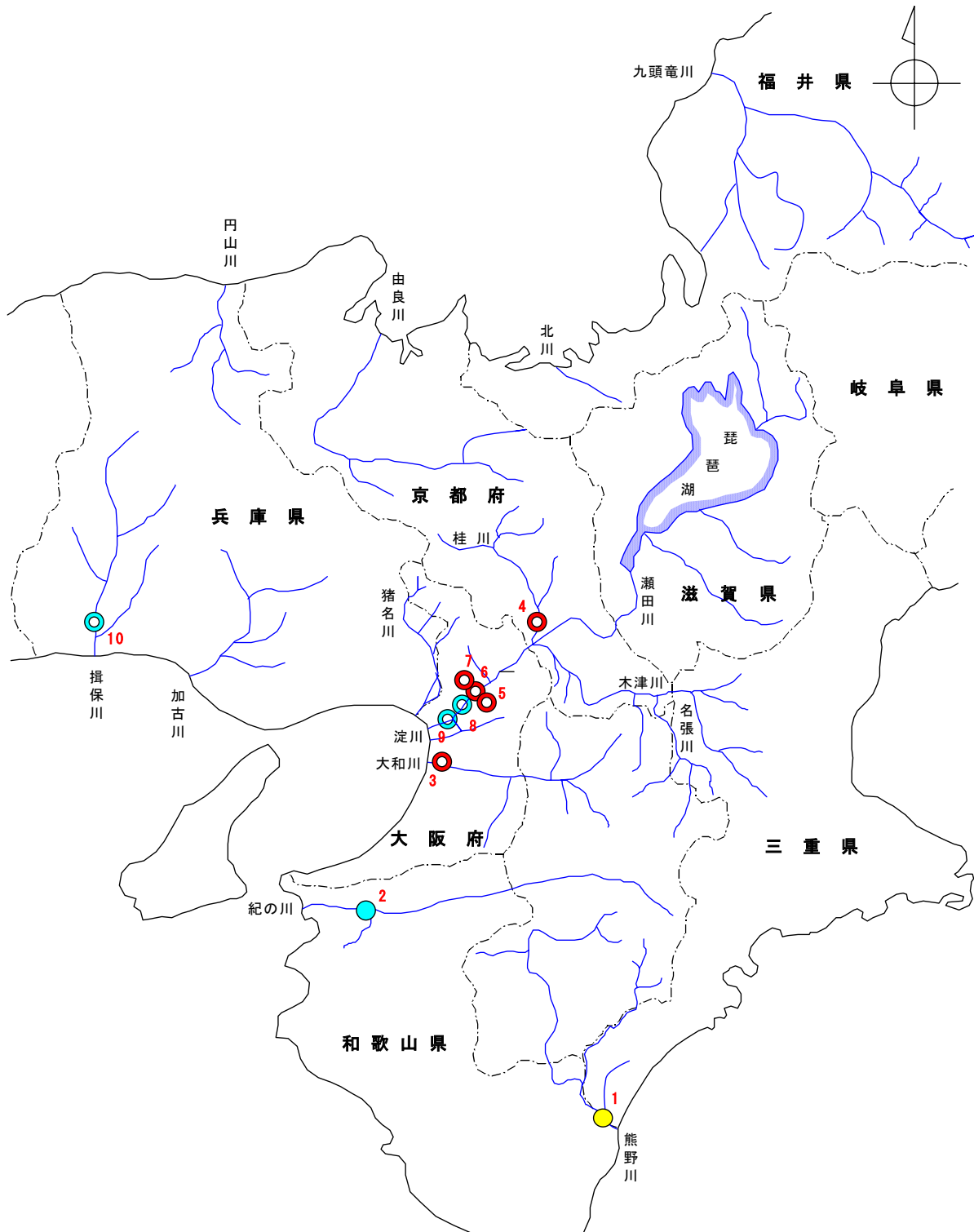
表-6.7 項目別調査頻度と重点調査濃度

	物質名	調査頻度	重点調査濃度	選定理由
水質	4-t-オクチルフェノール ノニルフェノール	1回/6年	0.496 μg/L	環境省のリスク評価において、内分泌かく乱作用が確認されている。
	0.304 μg/L			
	ビスフェノールA		0.4 μg/L	環境省のリスク評価において、内分泌かく乱作用が確認された上に、文献等において、内分泌かく乱作用が確認され、かつ過去の調査において検出率が高い。
	エストロン		0.0005 μg/L	文献等において、内分泌かく乱作用が確認され、かつ過去の調査において検出率が高い。
	17β-エストラジオール		0.0005 μg/L	
	o,p-DDT		0.00725 μg/L	環境省のリスク評価において、明らかな内分泌かく乱作用は確認されなかったが、魚類に対しては内分泌攪乱作用を有することが推測される。

表-6.8 項目別重点調査地点（平成22年度当初時点）

項目	水系名	河川名	地点名
ノニルフェノール(重点調査濃度:0.304 μg/L)			
	揖保川	揖保川	上川原(王子橋)
エストロン(重点調査濃度:0.0005 μg/L)			
	大和川	大和川	遠里小野橋(中)
	淀川	桂川	宮前橋
	淀川	淀川	枚方大橋左岸
	淀川	淀川	枚方大橋中央
	淀川	淀川	枚方大橋右岸
	淀川	淀川	柴島
	淀川	淀川	淀川大堰
17β-エストラジオール(重点調査濃度:0.0005 μg/L)			
	大和川	大和川	遠里小野橋(中)

) 内分泌かく乱物質の調査は、6年に1回実施するものとしているが、重点調査濃度を超過した場合は、次年度より重点調査地点とし、年1回調査を行うこととしている。



凡例	
重点調査濃度を超える物質のあった地点	●
検出されたが重点調査濃度以下であった地点	●
未検出の地点	●
重点調査地点(平成22年度当初時点)	◎

図-6.3 平成22年度内分泌かく乱物質調査結果

表-6.9 平成 22 年度内分泌かく乱物質調査結果一覧

地点番号	水系名	河川名	調査地点名	重点地点対象項目	水質							
					流量 (m ³ /s)	SS (mg/L)	4-tert-Octylフェノール (μg/L)	ノニルフェノール (μg/L)	ビスフェノールA (μg/L)	エストロン LC/MS/MS法 (μg/L)	17β-エストラジオール LC/MS/MS法 (μg/L)	o,p'-DDT (μg/L)
1	新宮川	熊野川	熊野大橋	—	—	0.9	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.00000682
2	紀の川	紀の川	船戸	—	36.62	2.1	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
3	大和川	大和川	遠里小野橋(中)	17β-エストラジオール	—	5.1	N.D.	N.D.	N.D.	0.00177	N.D.	0.00000732
4	淀川	桂川	宮前橋	エストロン	17.62	1.8				0.00193		
5	淀川	淀川	枚方大橋左岸	エストロン	334.27	2.8				0.00077		
6	淀川	淀川	枚方大橋中央	エストロン	334.27	2.3				0.00079		
7	淀川	淀川	枚方大橋右岸	エストロン	334.27	1.8				0.00095		
8	淀川	淀川	柴島	エストロン	334.27	2.5				N.D.		
9	淀川	淀川	淀川大堰	エストロン	334.27	2.6				N.D.		
10	揖保川	揖保川	上川原(王子橋)	ノニルフェノール	1.14	1.7		N.D.				
重点調査濃度					—	0.496	0.304	0.4	0.0005	0.0005	0.00725	
検出下限値(未満ND)					0.1	0.01	0.1	0.01	0.0005	0.0005	0.0000010	

1. 表中のN. D. は、不検出(検出下限値未満)を示す。
 2. 黄色のセルは、重点調査濃度を越えた値を表す。

表-6.10 重点調査地点における重点調査項目の検出濃度の推移

水系名	河川名	調査地点名	調査結果 (μg/L)									
			H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
ノニルフェノール												
揖保川	揖保川	上川原(王子橋)	N. D.	N. D.	0.14	N. D.	N. D.	0.10	N. D.	0.41	0.06	N. D.
エストロン (LC/MS/MS法)												
淀川	桂川	宮前橋	—	—	—	0.00130	0.00179	0.00219	0.00176	0.00269	N. D.	0.00193
		枚方大橋左岸	N. D.	—	—	0.00060	0.00119	0.00098	0.00064	0.00087	N. D.	0.00077
		枚方大橋中央	N. D.	—	—	N. D.	—	—	0.00078	0.00099	N. D.	0.00079
		枚方大橋右岸	N. D.	—	—	N. D.	—	—	0.00077	0.00079	N. D.	0.00095
		柴島	—	—	—	N. D.	—	—	0.00078	0.00079	0.00055	N. D.
		淀川大堰	N. D.	—	—	N. D.	—	—	0.00072	0.00069	N. D.	N. D.
大和川	大和川	遠里小野橋(中)	0.00120	0.00170	0.00810	0.00540	0.00268	0.00594	0.00377	0.00266	0.00059	0.00177
17β-エストラジオール (LC/MS/MS法)												
大和川	大和川	遠里小野橋(中)	N. D.	—	0.00068	—	N. D.	0.00075	0.00051	0.00070	N. D.	N. D.

備考

1. 表中のN. D. は、不検出(検出下限値未満)を示す。
 2. 黄色のセルは、重点調査濃度を越えた値を表す。

7. 近畿地方整備局管内における水生生物調査の状況

7.1 平成22年調査結果

平成22年度は60箇所で開催を実施し、16地点(29%)が「きれいな水」と判定された。平成21年度は17地点(29%)であり、「きれいな水」の地点数(割合)はほぼ横ばい状態である。

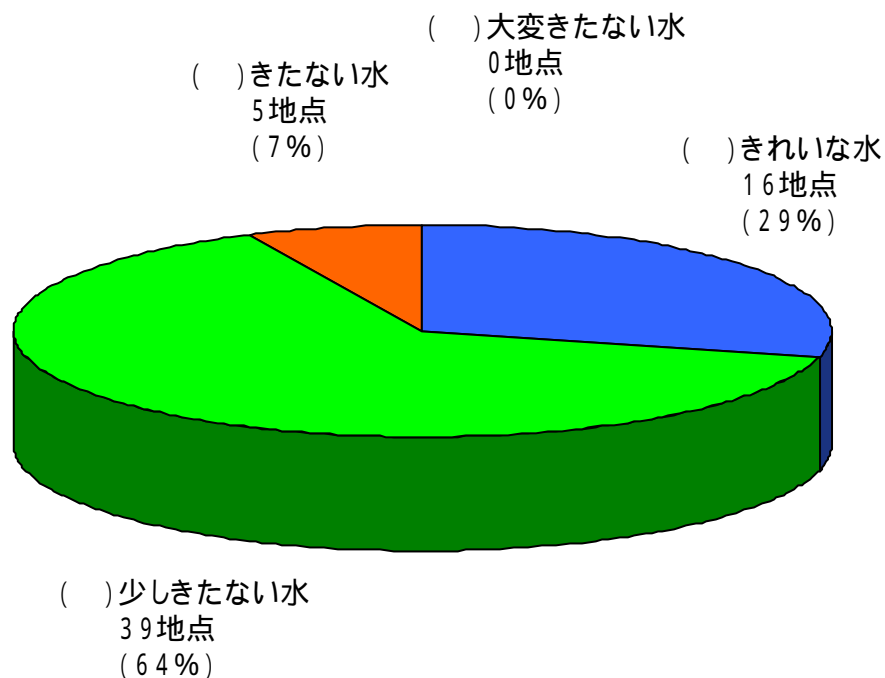


図 - 7.1 水生生物による水質階級の地点数(割合)

表 - 7.1 水質階級ごとの指標生物

水質階級	環境	指標生物
(I) きれいな水	上流域の溪流環境	カワゲラ、ナガレトビケラ、ヤマトビケラ、ヒラタカゲロウ、ヘビトンボ、ブユ、アミカ、ウズムシ、サワガニ
(II) 少しきたない水	栄養塩の流入がある中流域の環境	コガタシマトビケラ、オオシマトビケラ、ヒラタドロムシ、ゲンジボタル、コオニヤンマ、カワニナ、スジエビ、◎ヤマトシジミ、◎イシマキガイ
(III) きたない水	河口域の汽水域、または周辺に豊かな自然が残る田園環境、川の水位変動により本流とつながったり、取り残されて溜まり水(池)になる環境	ミズムシ、ミズカマキリ、タイコウチ、ヒル、タニシ、◎イソコツブムシ、◎ニホンドロソコビエ
(IV) 大変きたない水	大変汚れた水	セスジユスリカ、チョウバエ、エラミミズ、サカマキガイ、アメリカザリガニ

注) ◎は汽水域の生物である。

平成22年度 全国水生生物調査地点位置図<近畿>

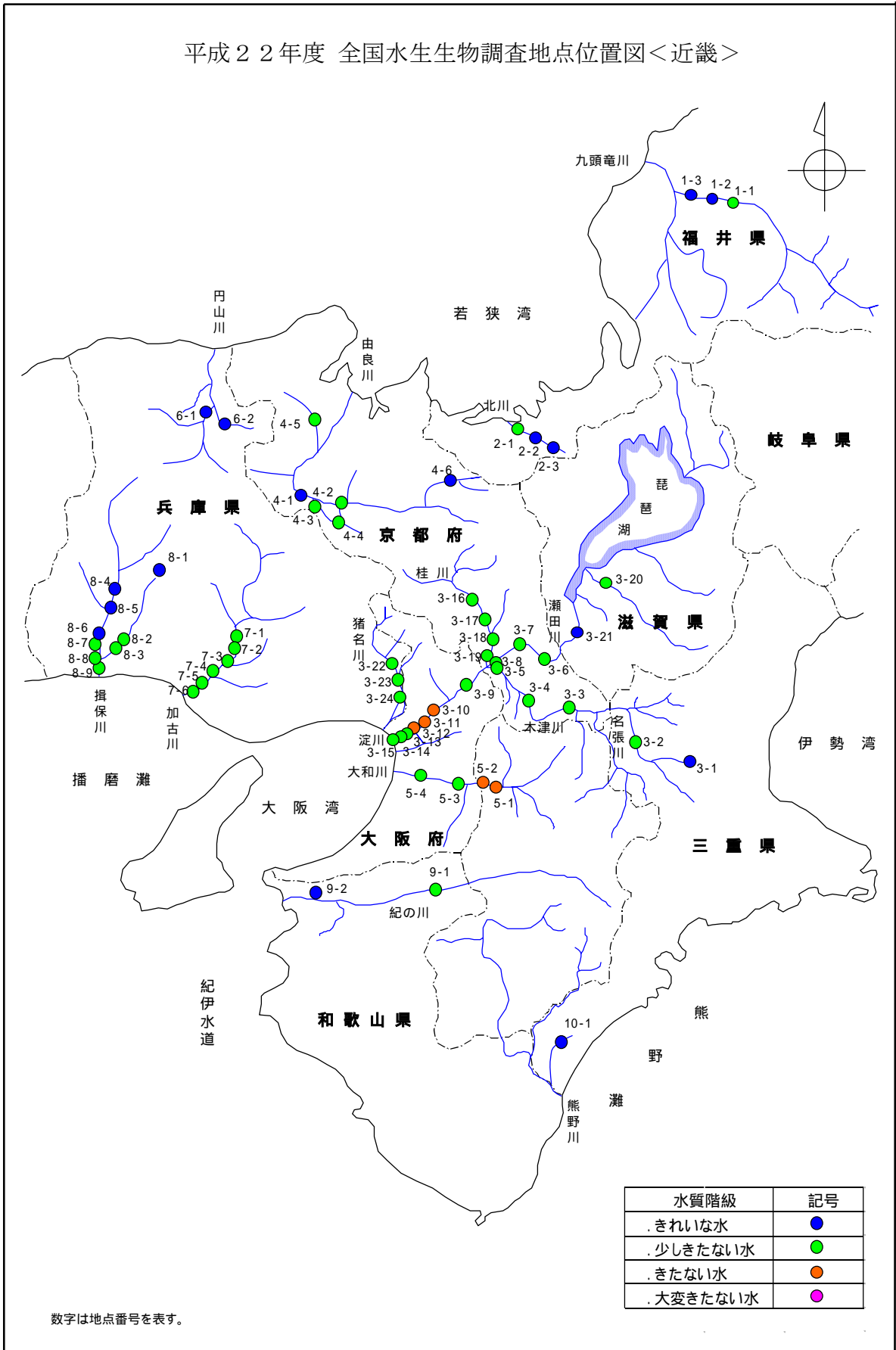


図 - 7.2 水生生物調査結果

表 - 7.2 水生生物調査地点別水質判定一覧表

水系名	河川名	地点番号	地点名	H 2 2 水質階級	参考	
					H 2 1 水質階級	参考 (定期水質調査) 水質調査地点 BOD75%値 (H21)
九頭竜川	九頭竜川	1-1	鳴鹿橋上流	II		
九頭竜川	九頭竜川	1-2	福井大橋下流	I		
九頭竜川	九頭竜川	1-3	天池河川公園前	I		中角 0.9
北川	北川	2-1	高塚橋	II		高塚 0.6
北川	北川	2-2	天徳寺橋	I		
北川	北川	2-3	三宅橋	I		
淀川	木津川	3-1	稲広橋	I		
淀川	木津川	3-2	依那古橋	II		
淀川	木津川	3-3	恭仁大橋	II	II	加茂恭仁大橋 1.0
淀川	木津川	3-4	玉水橋	II	II	玉水橋 1.1
淀川	木津川	3-5	木津川御幸橋	II	II	木津川御幸橋 1.0
淀川	淀川 (宇治川)	3-6	宇治橋	II	II	宇治橋 1.1
淀川	淀川 (宇治川)	3-7	東高瀬川合流部	II	II	
淀川	淀川 (宇治川)	3-8	宇治川御幸橋	II	III	宇治川御幸橋 1.2
淀川	淀川	3-9	枚方 (穂谷川合流点)	II	II	枚方 (穂谷川合流点) 1.2
淀川	淀川	3-10	鳥飼大橋	III	III	鳥飼大橋 1.2
淀川	淀川	3-11	城北	III	III	
淀川	淀川	3-12	柴島水管橋	III	III	柴島水管橋 1.5
淀川	淀川	3-13	淀川大堰下流	II	II	
淀川	淀川	3-14	西中島干潟	II	II	
淀川	淀川	3-15	伝法大橋	II	II	伝法大橋 3.8
淀川	桂川	3-16	渡月橋	II	II	渡月橋 0.8
淀川	桂川	3-17	西大橋	II	II	西大橋 1.0
淀川	桂川	3-18	羽束師橋	II	II	羽束師橋 1.2
淀川	桂川	3-19	宮前橋	II	II	宮前橋 1.2
淀川	野洲川	3-20	落差工上流付近	II		
淀川	瀬田川	3-21	瀬田川・信楽川合流点	I		
淀川	猪名川	3-22	こんにやく橋	II		
淀川	猪名川	3-23	池田床固	II		
淀川	猪名川	3-24	桑津橋	II		
由良川	由良川	4-1	音無瀬橋	I		
由良川	由良川	4-2	新小貝橋	II		
由良川	土師川	4-3	新土師川橋	II		
由良川	土師川	4-4	新橋サントル公園	II		
由良川	宮川	4-5	猿田彦公園	II		
由良川	上林川	4-6	有安橋	I		
大和川	大和川	5-1	御幸大橋	III		御幸大橋 3.9
大和川	大和川	5-2	藤井	III		藤井 3.4
大和川	大和川	5-3	河内橋	II		河内橋 2.7
大和川	大和川	5-4	浅香	II		浅香新取水口 2.7
円山川	円山川	6-1	府市場	I		
円山川	円山川	6-2	弘原	I		
加古川	加古川	7-1	板波橋	II		板波 1.1
加古川	加古川	7-2	加東市野村～上田	II		
加古川	加古川	7-3	大住橋	II		大住橋 1.0
加古川	加古川	7-4	池尻橋	II		池尻 1.7
加古川	加古川	7-5	加古川堰堤	II		
加古川	加古川	7-6	加古川橋	II		池尻 1.7
揖保川	林田川	8-1	鹿ヶ壺	I	I	
揖保川	林田川	8-2	阿曾井堰	II		
揖保川	林田川	8-3	新幹線橋梁下流	II		
揖保川	揖保川	8-4	清姫橋	I	I	
揖保川	揖保川	8-5	山崎大橋	I	I	山崎 0.7
揖保川	揖保川	8-6	薨崎橋	I		薨崎 0.7
揖保川	揖保川	8-7	龍野橋	II		龍野 0.9
揖保川	揖保川	8-8	千鳥ヶ浜	II		
揖保川	揖保川	8-9	王子橋	II		上川原 0.8
紀の川	紀の川	9-1	九度山橋	II		岸上橋 0.9
紀の川	千手川	9-2	出世不動明王	I		
新宮川	相野谷川	10-1	相野谷橋下流	I		

7.2 水質階級構成比の年次推移

平成12年度からの平成22年度の水質階級構成比について、近畿全体と近畿の各河川については次のとおりである。近畿全体では、平成21年度よりも（Ⅱ）少きたない水と（Ⅲ）きたない水の割合が増加し、（Ⅰ）きれいな水の割合が減少している。

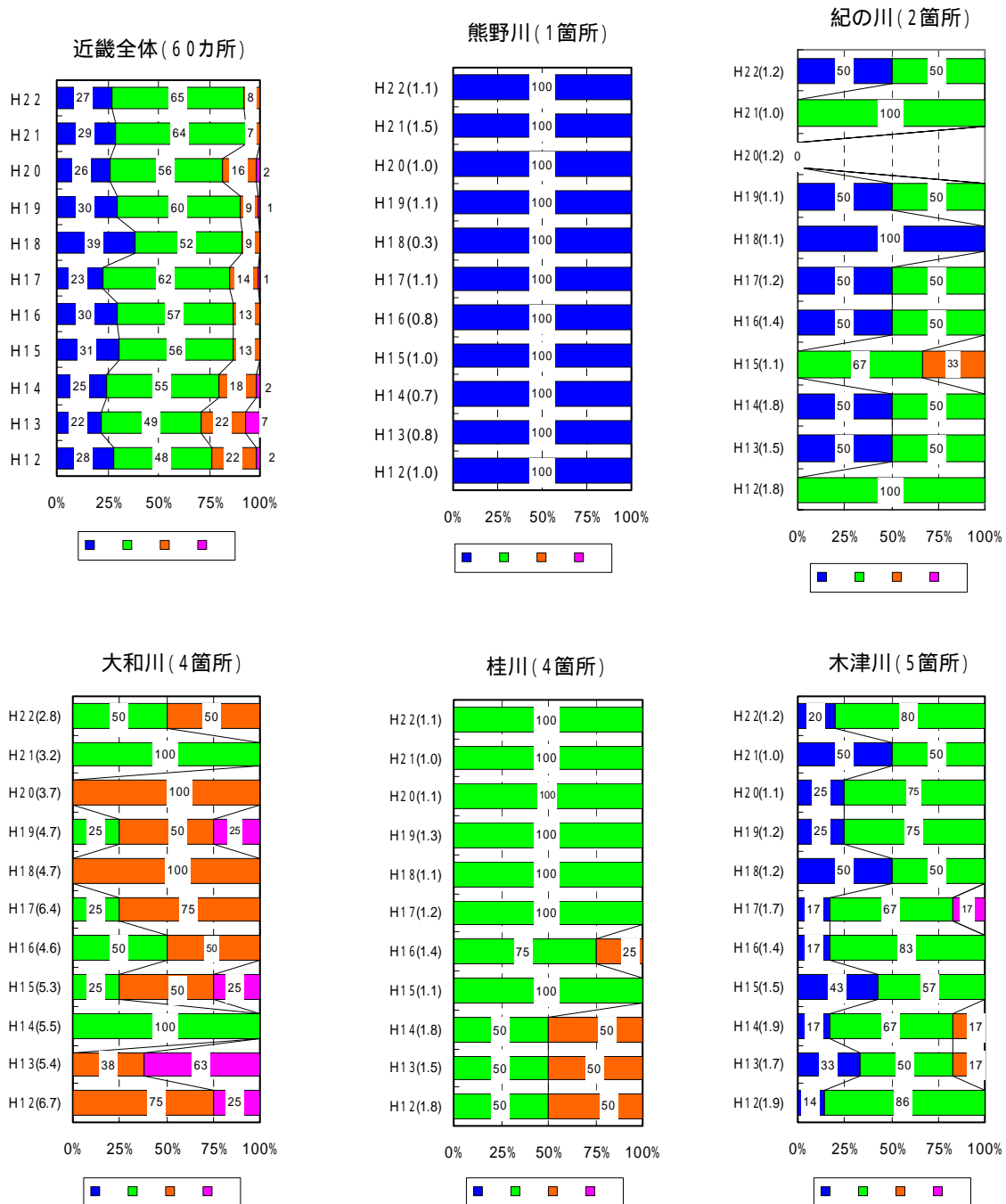


図 - 7.3 水質階級構成比の年次推移

(近畿全体、熊野川、紀の川、大和川、桂川、木津川)

箇所数は、H22年の調査箇所数。年の()は、BOD年平均値 (mg/l)

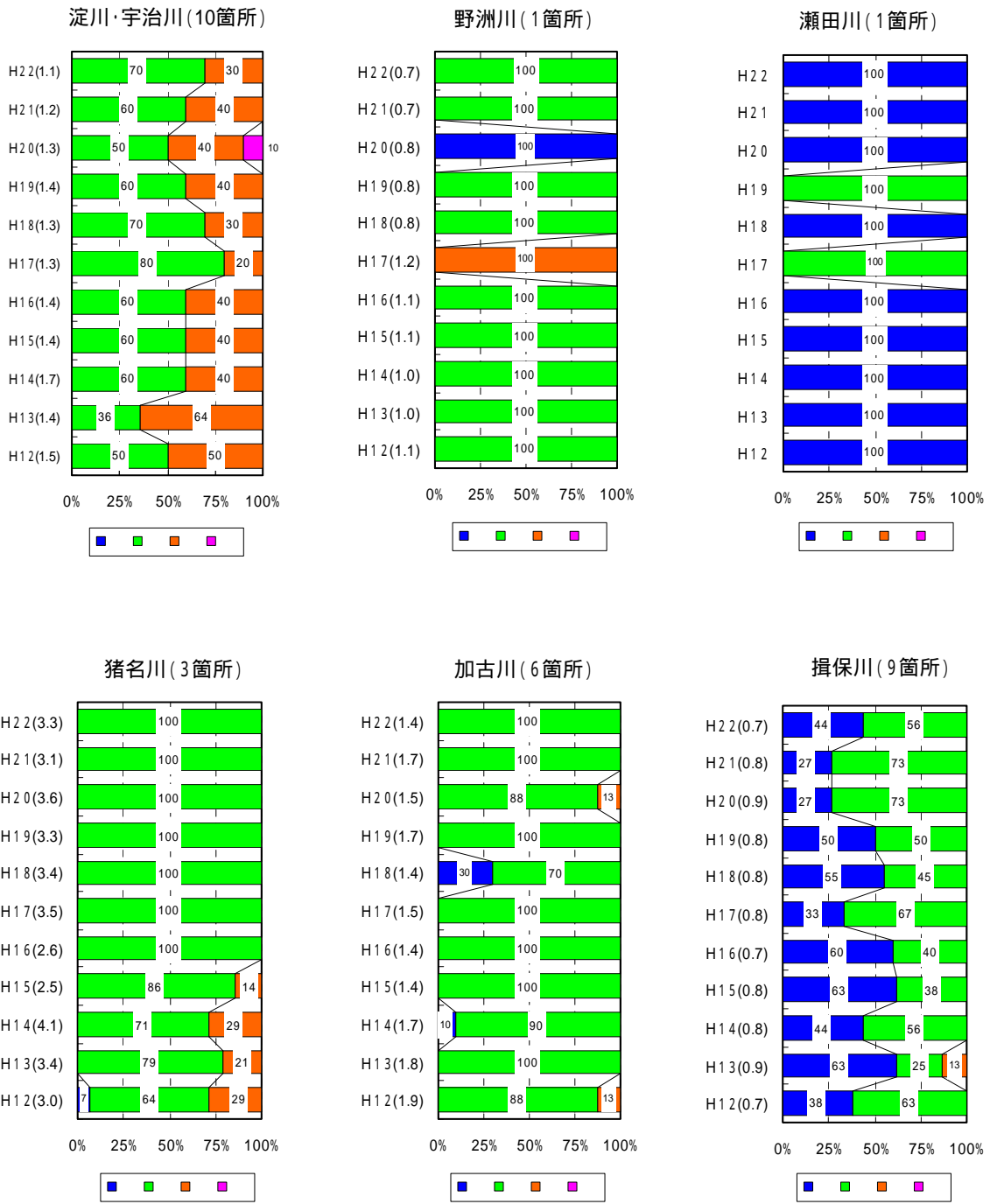


図 - 7.4 水質階級構成比の年次推移

(淀川・宇治川、野洲川、瀬田川、猪名川、加古川、揖保川)

※箇所数は、H22年の調査箇所数。年の()は、BOD年平均値(mg/ℓ)

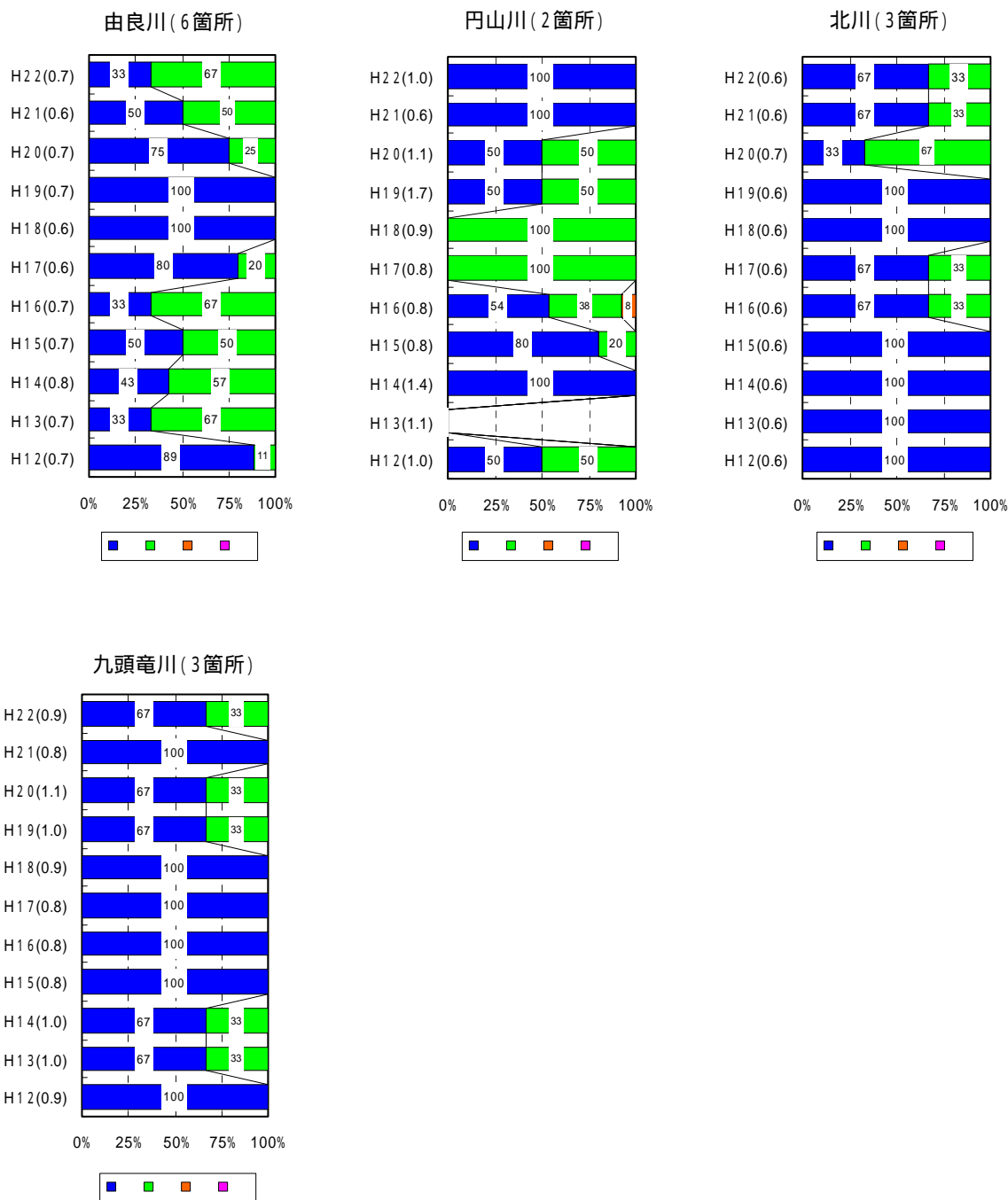


図-7.5 水質階級構成比の年次推移

(由良川、円山川、北川、九頭竜川)

※箇所数は、H22年の調査箇所数。年の()は、BOD年平均値(mg/l)

7.3 参加者数

平成 22 年度の水生生物調査の参加者は 1691 人（前年度 1348 人）となった。府県別参加者数、団体別参加者数及び参加人数の推移については次のとおりである。

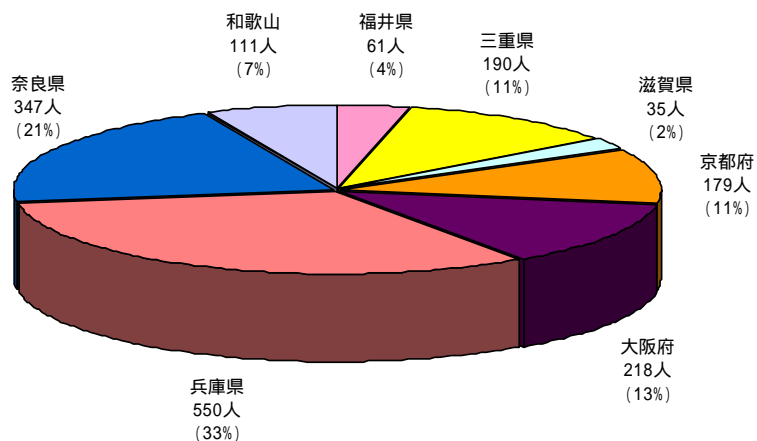


図 - 7.6 府県別の水生生物調査参加者数

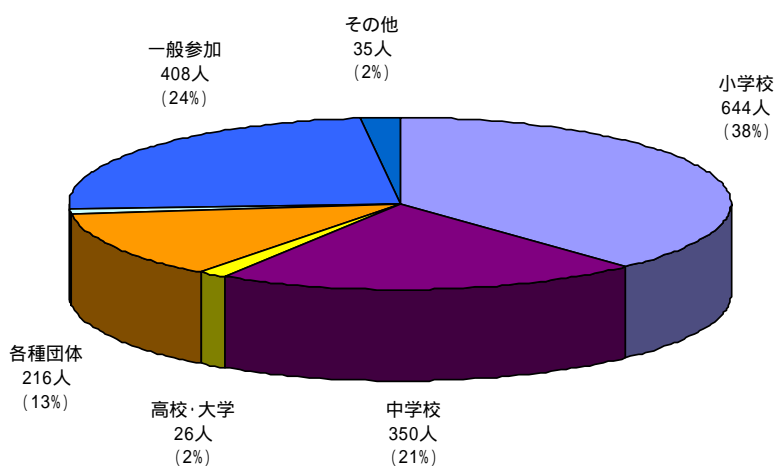


図 - 7.7 団体別の水生生物調査参加者数

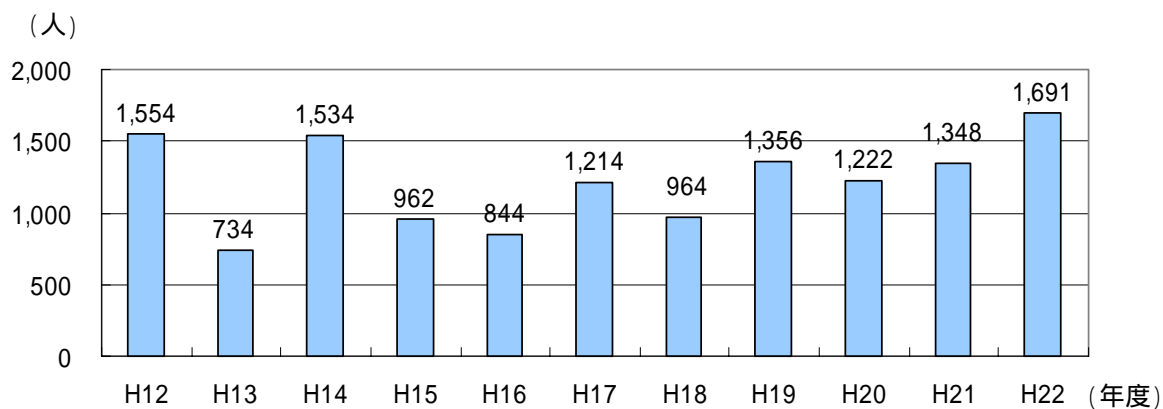


図 - 7.8 参加人数の推移

8 . 水質事故の発生状況

平成 22 年における近畿地方整備局管内（指定区間等を含む）の年間水質事故発生件数は 117 件であった。このうち、80 件（68%）が油類の流出事故であった。また、上水道の取水停止に至る水質事故は 3 件であった。

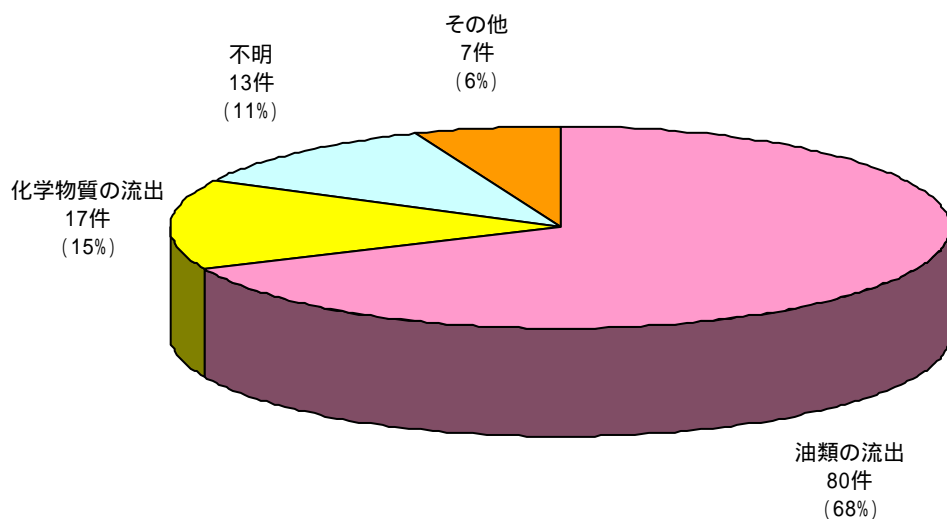


図 - 8.1 種類別発生件数

水系別では淀川水系が 57 件と全体の 49%を占め、次いで九頭竜川水系の 12 件となる。

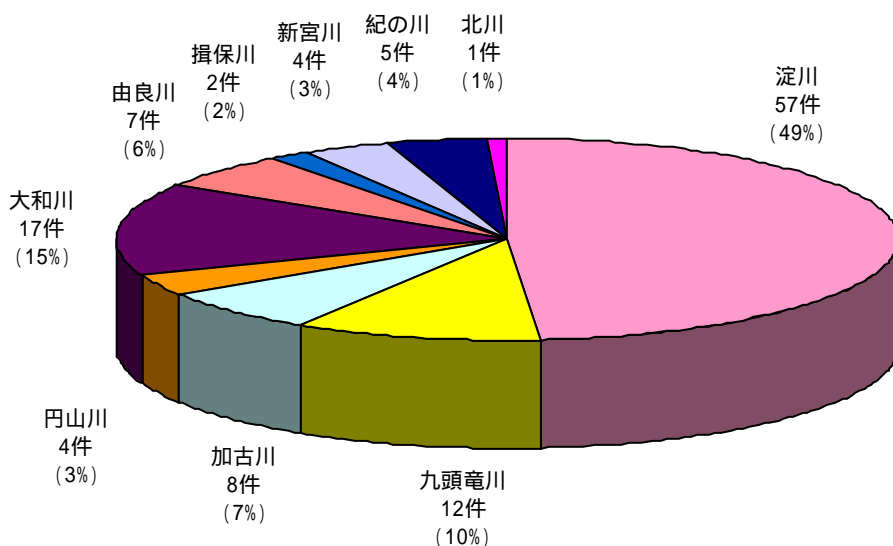


図 - 8.2 水系別発生件数

事故原因別では、原因不明が45件(38%)、工場等での操作ミスが37件(32%)、機械の故障が13件(11%)、交通事故が12件(10%)となる。

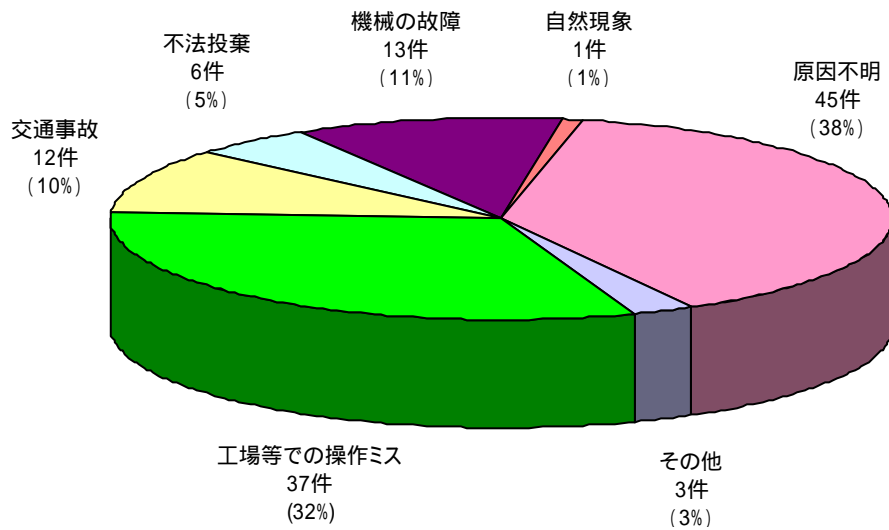


図 - 8.3 事故原因別発生件数

これらの水質事故については、各水系に設置されている水質汚濁防止連絡協議会（国土交通省、府県、市町村等の土木部局・環境部局・水道部局等により構成）等により速やかに関係機関等に通報・連絡するとともに、発生源の調査、及び原因物質特定、河川への拡散防止等の対策を講じている。